

213348

14  
17

THE  
**NORTH AMERICAN TIMES**  
YEAR BOOK



**NO. 4**

**1913**

SEATTLE,

WASHINGTON.











# 模範的設備

## 愛光寫真館の特徴

- △大なるダブルスカイライト寫場設備を有し緩和なる天然光線を應用して最新式の各種機械と現代最優等の有ゆるレンズを以て撮影し且つ新進の機具は遺憾なく設備有之
- △愛光館好として東部専門家に特に振選せしめたる數十種の自然的背景と適合したる數十種の家具は眞に諸賢が御嗜好を恣にせらるべく
- △東部各種専門大學校を卒へて以來幾多の経験を有する撮影修整印刷等各部類を分ちたる數多の専門技師が
- △一息新思想と新技術を揮ひ寫真界に於ける有ゆる特技と各種肖像畫の有ゆる美術を參酌應用し現代美術の神髓を極めたる
- △自然的表情に豊富なる諸賢の品位をして一層の崇高を増さん事を之れ努め現はるべき活氣あり品位あり麗麗なる御容姿は如何に充分の御満足を得らるべきまは後に贅言せず
- △差紙は米國製優等品なるのみならず更に佛國四獨乙等諸會社に特製せしめ最新優秀のものを経へず輸入して夥多取揃へあれば諸賢が御選擇を恣にせらるべく
- △小兒撮影に就ては軟縮新案として休重器及身長器を備へて後日の記念及參考として寫真に記録仕可し
- △夜間撮影は七千五百燭光のアーケライトを應用して絶不御用命に應可申
- △出張撮影は晝夜遠近を不御一報次第早速技師參室仕可候

シアトル市ジャクソン街  
南第六街角  
電話 エリオット 一二八二二ジニ

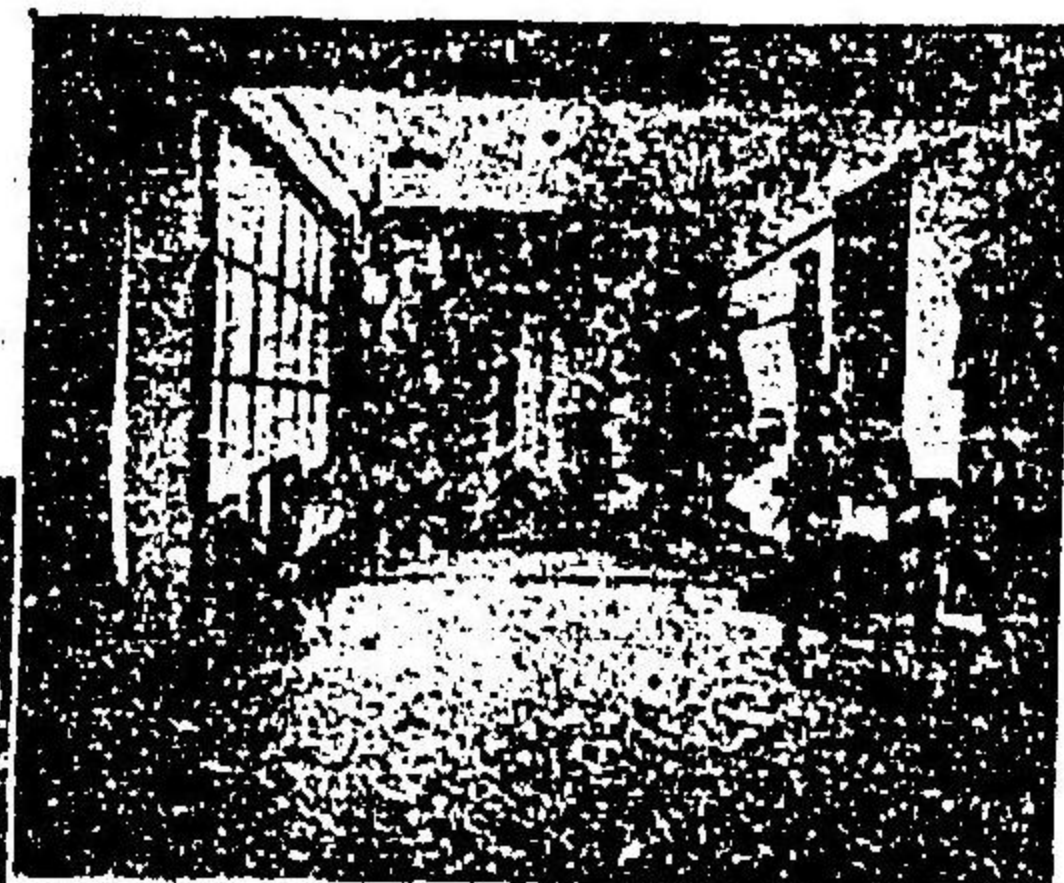
# 愛光寫真館



室 憩 休



室 粧 化



場 寫

AIKO PHOTO STUDIO  
COR. 6TH SO. JACKSON ST.,  
SEATTLE, WASH.

シアトル

## 北米時事活版部

▲北米時事印刷部  
は用紙其他材料を精選し價格は比敵する者なき廉價也

## 北米年鑑

▲北米年鑑  
は在留同胞が常に座右に供へて欠くべからざる重要事項を納む

▲北米年鑑  
は西北部に於ける唯一の年鑑也  
定價一部金五十仙郵税二十仙也

五一二街五第南市ルトアシ  
社 事 時 米 北



(3)

告 廣 鑑 年 米 北



R. Okasawa Co.

408 Main St.,

Seattle, Wash.

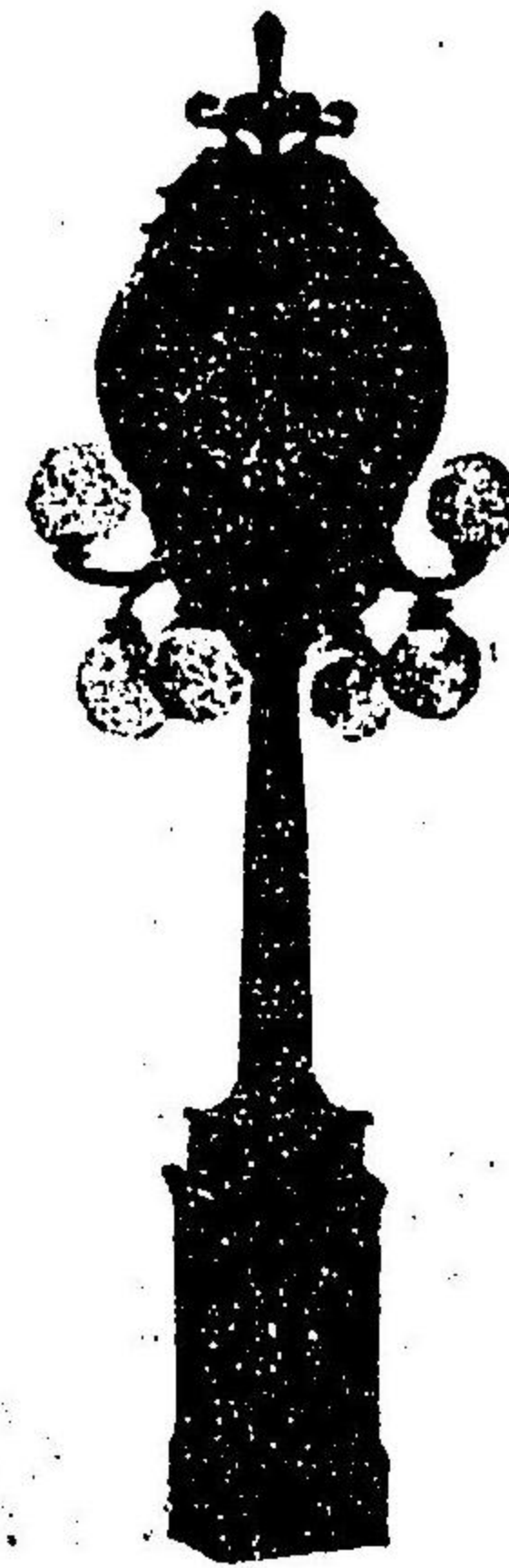
貴金屬時計  
寶石、蓄音機  
和洋製レコード  
室内活動寫真機

其他樂器一切

シアトル市メイン街四〇八番

岡澤美術商會

電話 エリオット 五〇四九



シ  
ア  
ト  
ル

三

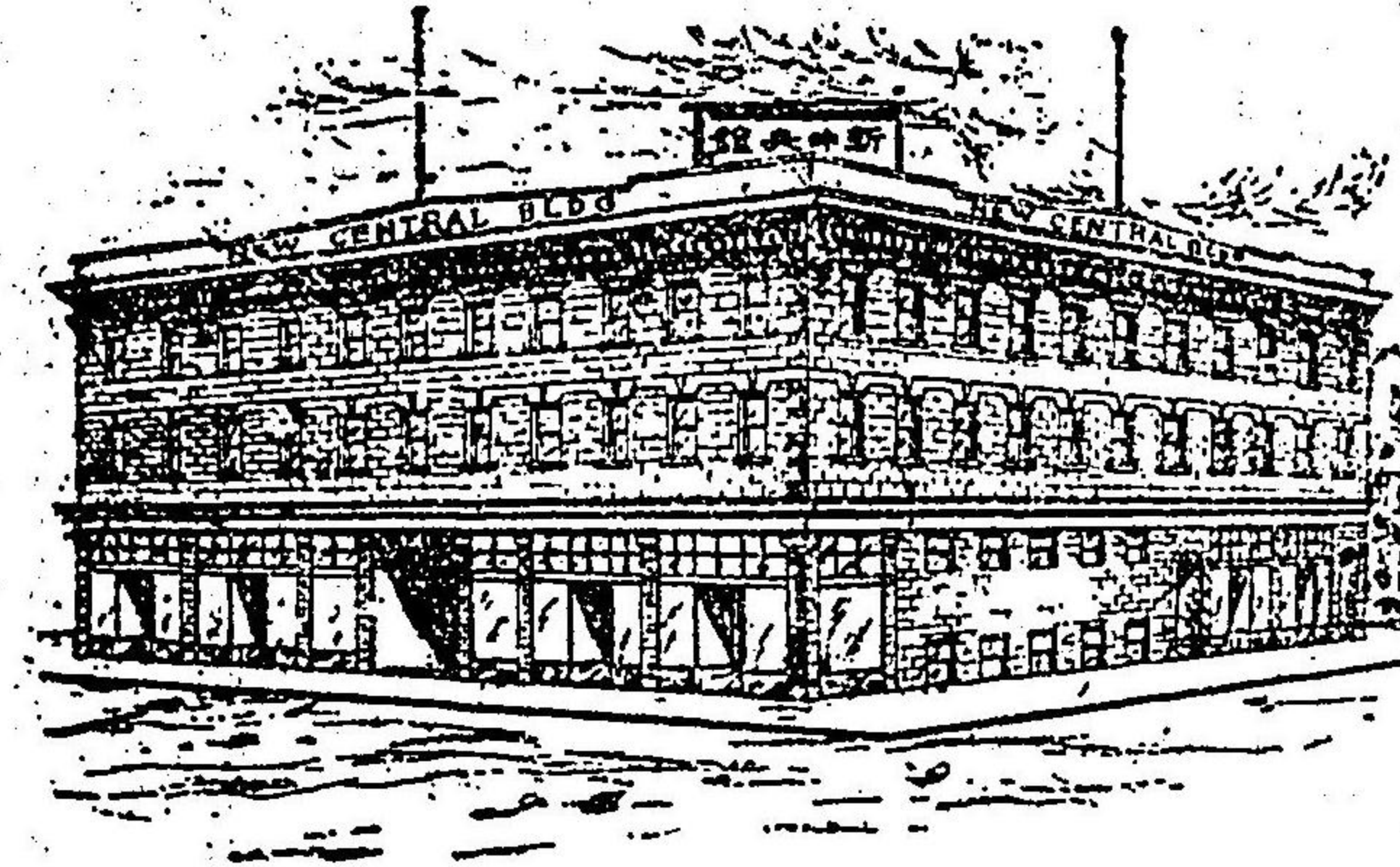
告 廣 鑑 年 米 北

(2)

New Central Hotel

657 Weller St.,

Seattle, Wash.



華州シアトル市

ウエラー街六五七

伊藤直太郎

電話 エリオット 八九二

館主

伊藤直太郎  
伊藤徳次郎

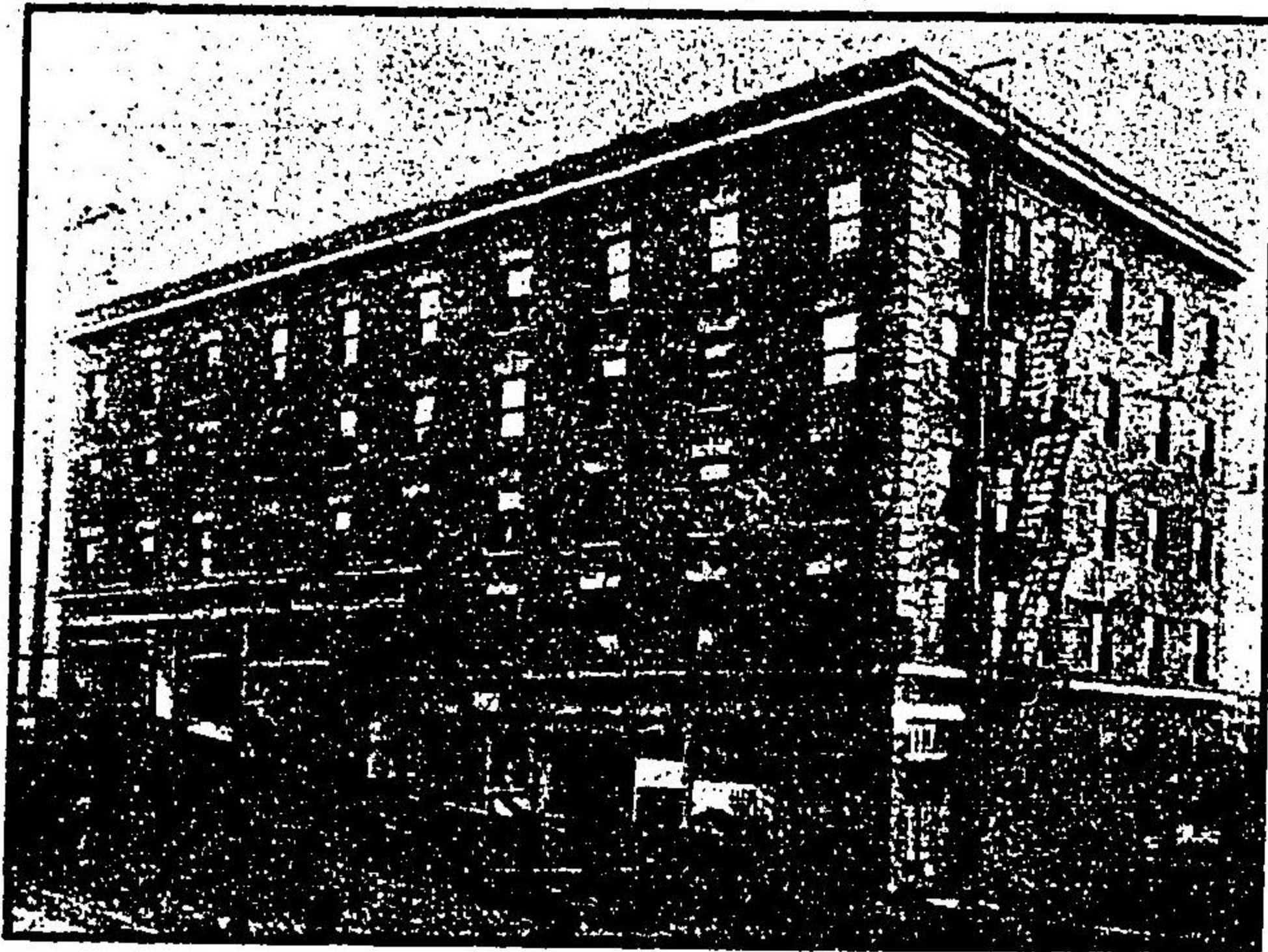
二



# PANAMA HOTEL

Cor. 6th & Main St.,

Seattle, Wash.



日本行切符は特別の割引を以て取扱ぬ

電話 エリオット一八八〇

藤井房藏

パナマホテル

北米合衆國ワシントン州シアトル市メイン街六〇五

パナマホテルは沙港日本人街の中心點に位し停車場に近く市内電車の便利よく常に旅客出入多し  
本館は新式煉瓦造り五層樓の大建物にして各室には總ての設備を有し入浴は晝夜の別なく御自由にするを得べし  
妻子及親族呼び寄せ并に徴兵猶豫其他領事館への諸願書は御一報次第早速手續を可致尙上陸に關しても充分の責任を帯びて最も親切に取扱ひ可申候

シアトル

五

RELIANCE HOSPITAL

Phone Beacon 2882 12th and King St. Seattle

## 徵 特 新 設 備 設

### 日 本 人 病 院

電話(ベークン)二八八二

本院は市の公認を得て設立したる者なり  
本院は華州日本人醫會の賛同に依り新設したる者なれば同會醫師は勿論白人醫師の主治を受くる者も入院する事を得  
本院は白人病院と同様の設備なれば如何なる手術を爲す事を得  
シアトル市第十二街とキング街の角

本院は患者の希望に依り和洋何れの食事をも調進す  
本院は英語會話の不便の患者に對して白人看護婦の外日本人看護婦を聘しあり  
本院の入院料は二人室一週間九弗一人室同十四弗傳染病室同十七弗

Japanese American Commission Co.

## 日 米 仲 商 會

日米食料品雜貨直輸入販賣  
農作品 委託販賣業  
洗濯屋 諸材料卸小賣

田 村 諭  
電話(メーソン)四三七七

郵 函  
電話(メーソン)四三七七  
(七一二)

四



肉 及 魚



RAINIER MEAT & FISH MARKET

シヤトル市 西第九街九百十  
レニヤ商會  
電話 エリオット五五五九  
シヤトル市ジャクソン  
街一〇  
同 支 店

**HOTEL ALKI**

5th Ave. Cor. Wash. St. Seattle Wash.

**ホテルアルカイ**

▲ホテルアルカイは新式煉瓦建築にして  
諸設備完全  
▲ホテルアルカイは最も交通便利の地位  
にあり日イ人街の中心  
▲ホテルアルカイは投宿御客の便利を圖  
り諸証明手續船車切符取次ぎ等懇  
切に取扱ふ  
南第五街とワシントン街の角  
長崎源太郎  
土屋三太郎  
坂崎太三郎

法律上の疑義解決、翻譯通辯  
諸契約書調製、公証登記手續

**片山法律通辯事務所**  
**片山 確 一**

シヤトル市メイン街六〇四半  
東洋銀行館二階二〇六、七號室  
電話事務所エリオット一三二五  
自宅イスト六七六九

高尙優美  
最新流行

七〇六街ソクアジ市ルトアシ

**高津洋服店**

電話エリオット四八四一

シヤトル市メイン街三〇四  
**河野靴店**  
電話エリオット五〇三五

果物、雜貨、シガー、煙草  
シヤトル市南第六街四一  
**荒井島吉**  
電話エリオット一五六七

シヤクソン街五〇四半

**白川 湯**

清潔可嗜は本店の特長です

シヤトル市南第五街二〇二

**田井洋服店**

電話エリオット三一〇五

店主 田井雄吉

バイキ街一ニ〇二(ポレン街角)

**森本洋服店**

電話メイン三三〇八

店主 森本久吉



**U. SHIBATA CO.**  
524 MAIN ST., SEATTLE, WASH.

和洋一切の雜貨類  
男女調度品化粧道具

**柴田商店**

米國華盛頓州シアトル市メイン街  
五百二十四番(電話エリオット六一九)

**相摸屋**

日本御菓子類一切  
特製せんべい罐入羊羹

**T. Fujimoto**  
66 DEARJORN ST., SEATTLE, WASH.

**請負部**

アラスカ及瀬戸内カナリ人夫  
請負其他請負一切

シアトル市デアボン街六六六

**藤本事務所**

電話 エリオット 四二八五ゼー  
藤本虎楠

御旅館  
筑紫舗

シアトル

九

シアトル市メイン街五〇二

**東洋運送社**

電話 エリオット 二三八一

内外貨物運送  
輸出入税關手續  
日本行汽船切符取次

社長 奥田平次

シアトル市ジャクソン街六二三

**中尾玉場**

電話 エリオット 二二八二 W

シアトル市南第九街二〇二(ワシントン街角)

**富士商會**

電話 エリオット 五一五三

高野新太郎先生著

實用 西洋料理書

總クローリス  
金文字入  
六百頁  
定價五十冊

中村清先生著

實用 西班牙語會話

總クローリス  
三百頁  
定價五十冊

文林堂編

同胞 南加寫真帖

總クローリス  
金文字入  
頗る美本  
定價 貳冊

須々木幽谷著

米西 俗曲手風琴樂譜

紙數百頁  
定價五十冊

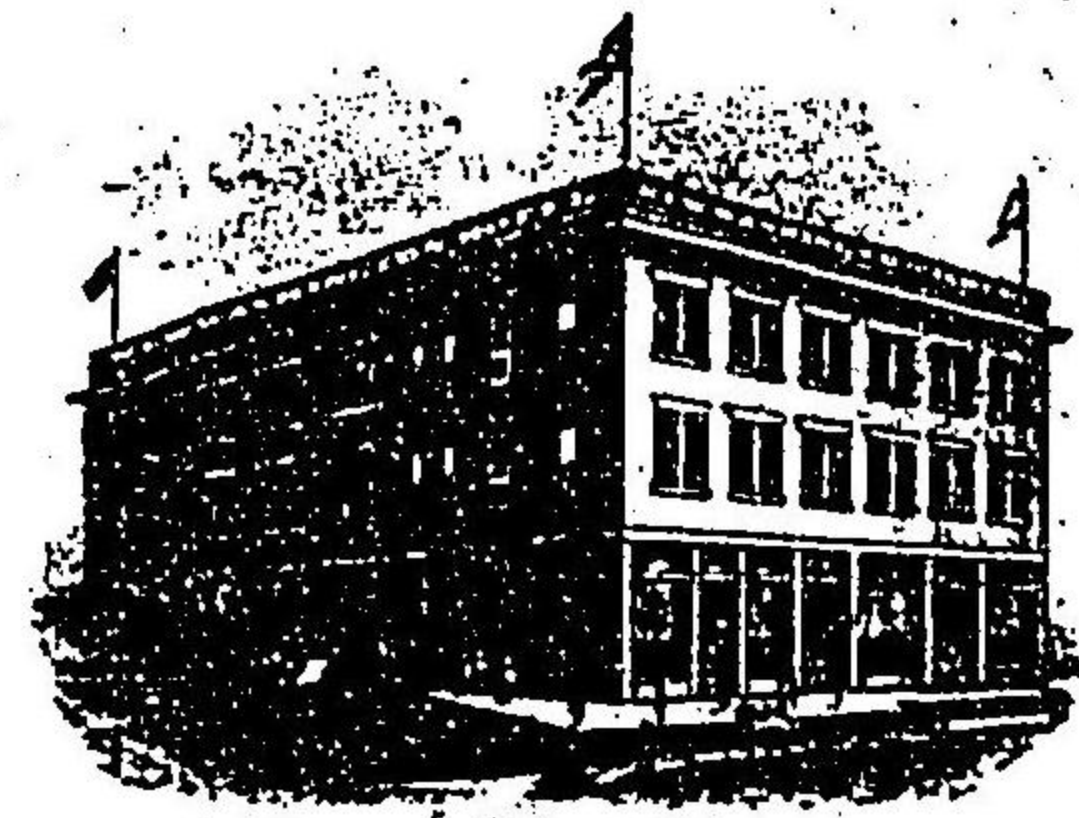
敝店の營業區域は南は  
墨耳哥より北は沙港及  
び荒須賀に至る太平洋  
沿岸諸市の同胞に向つ  
て書籍雜誌を至極廉價  
に提供し來りしが四十  
五年一月東京出張所開  
設以來書籍雜誌の郵税  
全廢を實行し顧客の滿  
足を信用を買い續き御  
注文の榮を賜り感泣措  
く處を知らず依て奮勵  
努力を以て大廉價大迅  
速にて御高需に應じ可  
申候間何卒御用命の程  
願上候

ローサンセルズ市東第  
一街三〇五番  
本店 文林堂  
東京十区區西五軒町  
三十五番地  
文林堂出張所

八



HOTEL NEW WASHINGTON



TACOMA,

WASH.

- ▲設備最新式 ▲取扱丁寧
- ▲日本人町の中心にして
- ▲同胞経営唯一の大旅館

ワシントン州タコマ市南シー街と十五街の角

館主 岡丸露三

電話 メイン 五五八六

大阪商船會社諸汽船にて渡米。歸國並に妻君呼び寄せの御方には特別に奔走す

Kanagawa Hotel

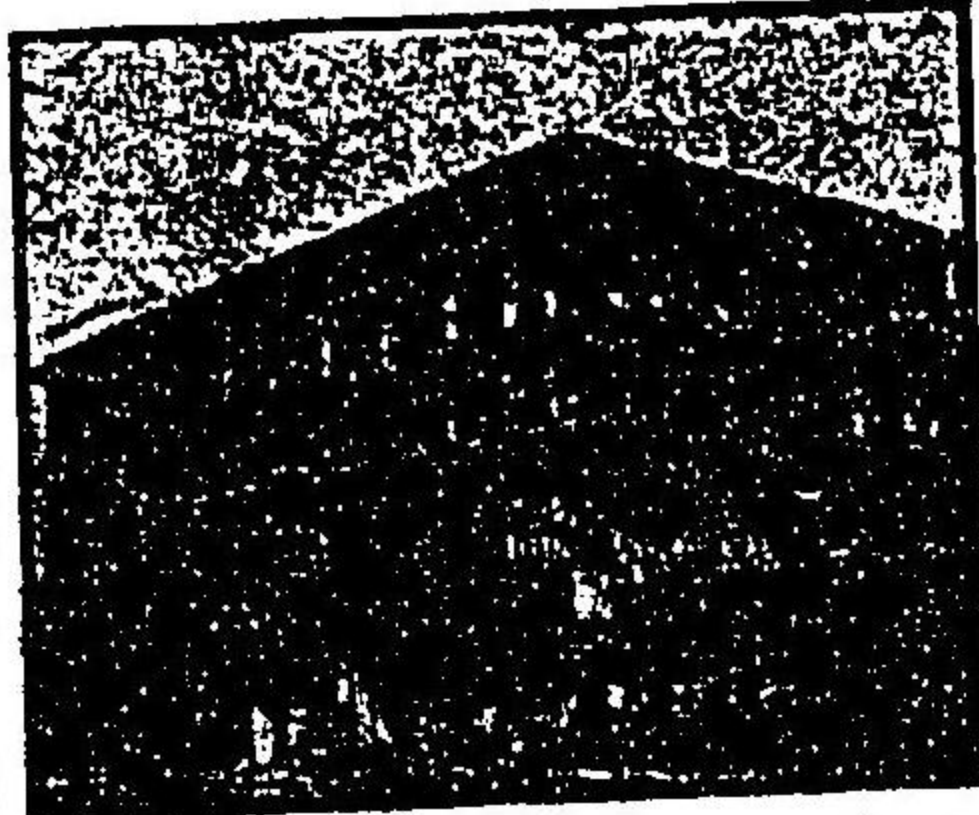
506 1/2 Maynard Ave., Seattle Wash.

室内清潔  
客扱丁寧

シアトル市メナード街五〇六半

神奈川旅館

電話 エリオット 四八七一



シアトル市メナード街カシントン街角電話エリオット二六五二

ホテルアスター第二〇三四號室

天野事務所

責任者 天野末吉

營業課目

起業上の相談 不動産買賣貸借  
萬能介及周旋 諸官省願届手續一切  
集金事務 日本行渡船切符取扱  
郵便物取次 物品委託販賣及買付  
通関 關稅 對白人交渉事件一切  
日本内地に於ける調査及交渉一切  
對白人其他各部門とも適當なる責任者を擔ひ全責任を負つて御委託に應じ申候

會 醫 人 本 日 州 ン ト シ ワ

- メイン街と第五街の角  
波邊 電話 エリオット 二七二
- 自宅 電話 エリオット 二七二
- キンゲンメナード街角アルプスホテル内  
柿木 宇右衛門 電話 エリオット 三三八
- 自宅 電話 エリオット 三三八
- メイン街と第六街角  
吉村 正寛 電話 エリオット 四四九三
- 自宅 エリオット 五二五七
- メナード街とメイン街東端ホテル内  
椿田 次郎 電話 エリオット 四五二五
- 南第五街(アルカイホテル)  
中木 清秀 電話 エリオット 四八六九
- 自宅第八街一六二電話エリオット四九八八〇  
南第二街メナード街角電話エリオット二〇八四  
植松 田津 電話 エリオット 二〇八四
- 自宅第二十七街三七電話エリオット八〇二七  
メイン街と第五街(帝國ホテル内)  
山本 八治 電話 エリオット 一六二五
- ジャクソン街と南第五街角  
佐藤 次郎 電話 エリオット 二二二四
- 自宅 電話 エリオット 七七八二
- メナード街とジャクソン街角  
小坂 喬雄 電話 エリオット 四六一六
- 自宅 エリオット 二二四〇
- ジャクソン街第六街角(フロンレンスホテル内)  
白銀 電話 エリオット 三三四〇







氏一タスヲ知州ントシラカ期次



氏一清國為事領國帝勅在セトアツ



氏ニソルイツ領統大期次



氏ルヤシーマ領統人副期次



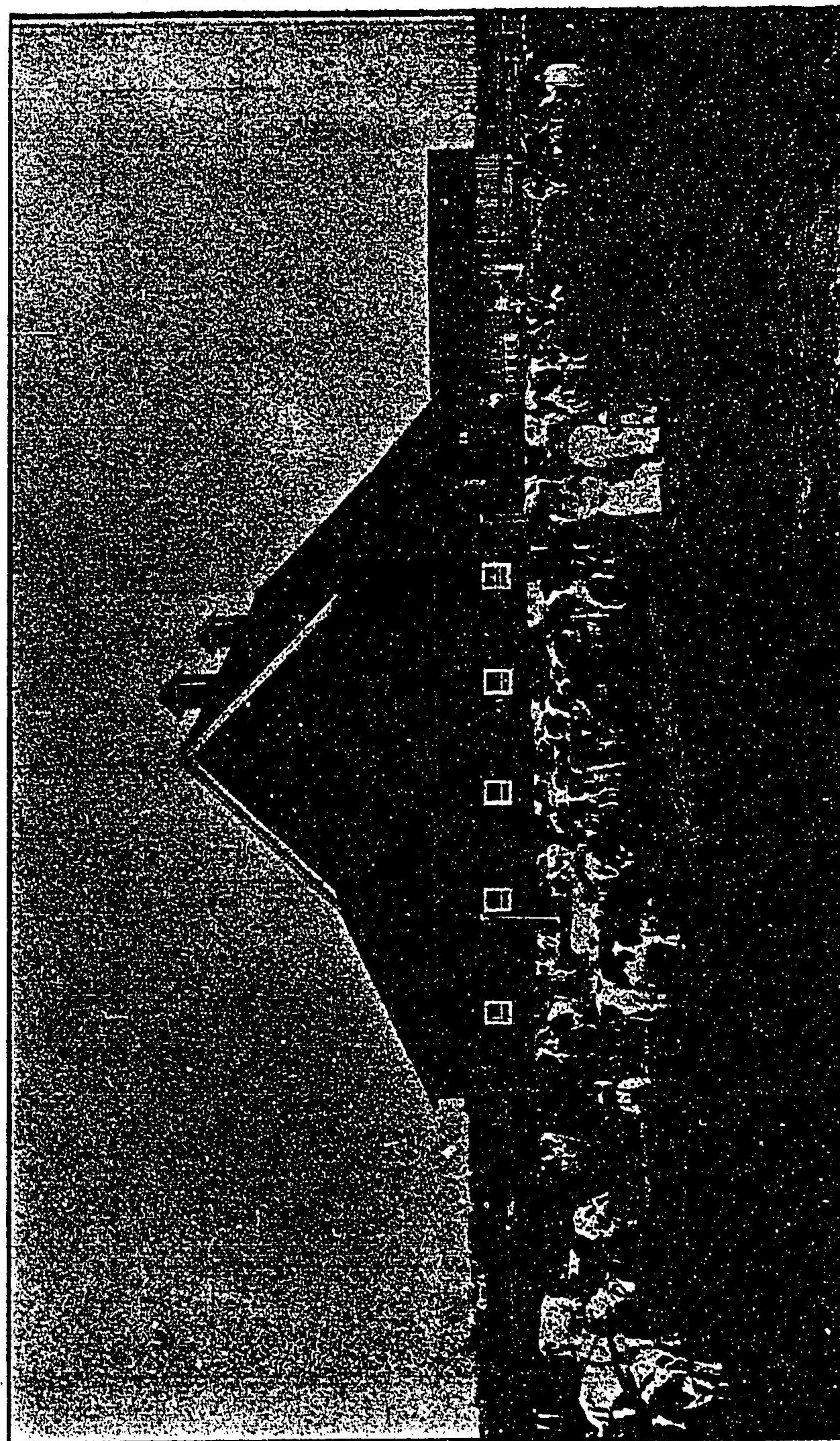




豚養の人本日るけ於に方地ケーマスウサ州華



雞養の人本日るけ於に方地マキヤスーノ州華



牛牧の人本日るけ於に方地ントシケン州華

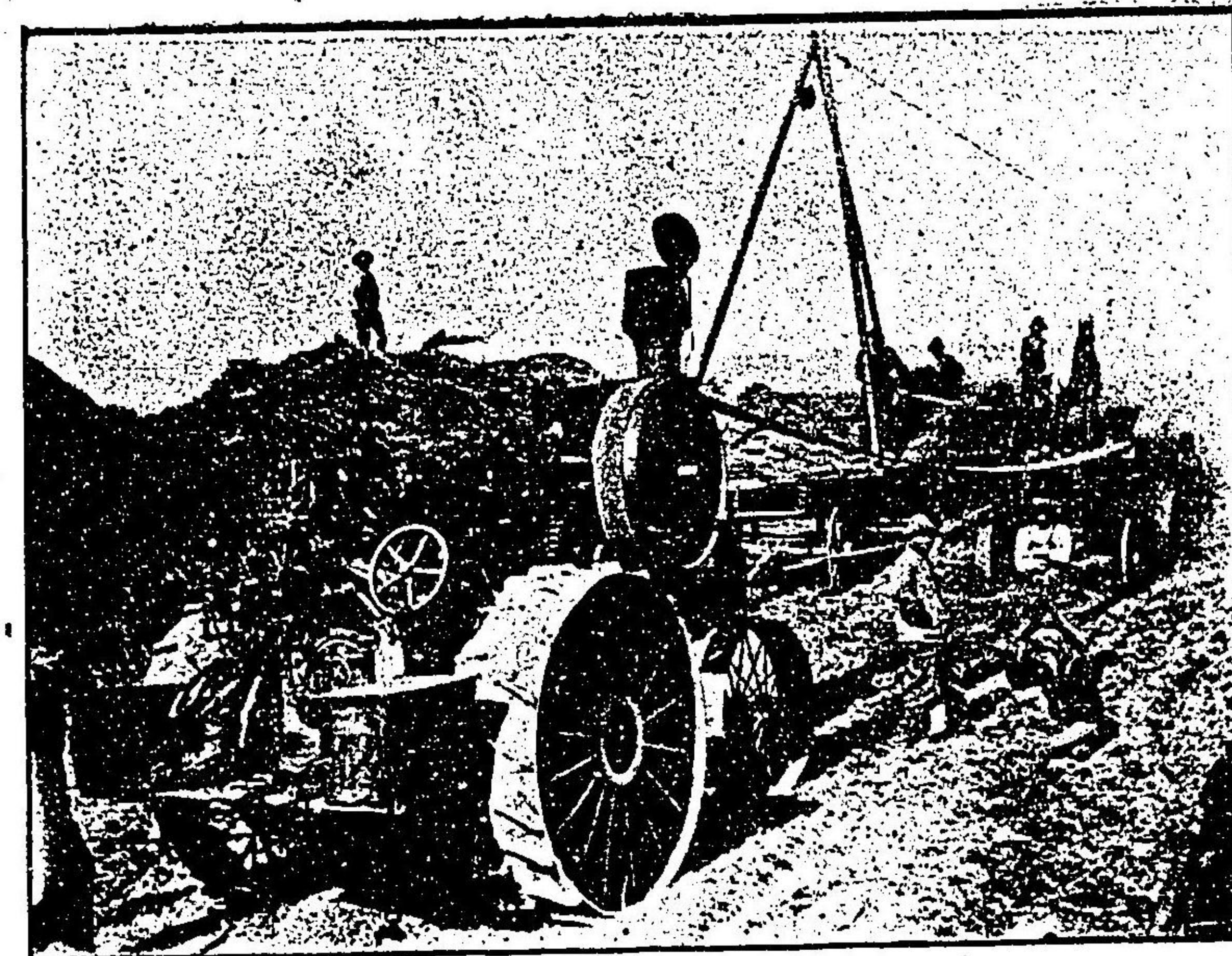




知瓜胡の人本日るけ於に方地ラヒタンモ州央



知リロセの人本日るけ於に方地レーアトワラツ州央



入刈イへの人本日るけ於に方地トバツ州華



知スアツハの人本日るけ於に方地ンターナ州華



信用を以て新起る

御婦人及御小供服

帽子洋装品一切

新渡米御婦人は丁寧・迅速を旨とし責任を帯び御洋装一切を格安に調進可仕候



シヤトル市メイン街六〇二東洋銀行隣  
電話 エリオット 四六二  
出張所 シヤトル 大北館内  
店内に郵便局の設置有之郵便事務取扱申候

シヤトル

EAGLE LAUNDRY CO.

1251 Main St., Seattle, Wash.

信用を重じ、親切丁寧を旨とし、価格低廉にして迅速、品質に損傷を來たさざるは弊店の特色なり

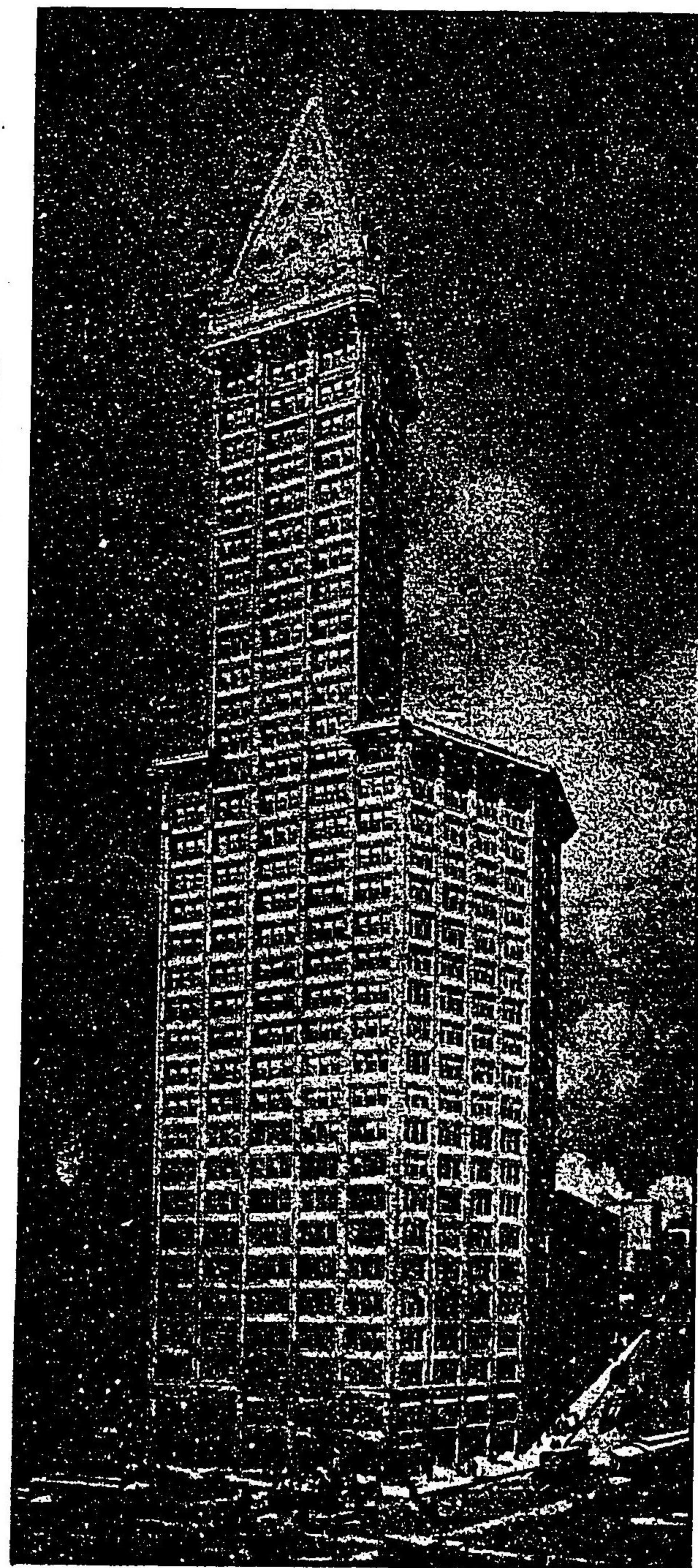
洗濯會社

シヤトル市メイン街 一〇二

社主 岡村正一

電話 (ハイコン) 四三二〇五

本建物は紐育州シラキエリスに於ける故エル、シリ、スミス氏の遺志に依りて建築せらるゝものなるが高さ四十二階、六百のオフィス、ルームを有し、紐育市に於けるスカイ、スクレーパーを除けば、世界無雙の摩天閣なり、而して建築費総額一百五十万弗を要す云ふ



アンデルピスミスなる中築建下目て於に市ルトア州華



### Merchant Tailor

129 Prefontaine Place Cor. Washington and 4th Ave. So.,  
Tel. Main 8180 Seattle, Wash.



シ  
ア  
ト  
ル

最新流行の珍らしき柄物は常に現品にて澤山取揃へ居候間御注文の有無に不拘御來観の榮を賜り度候 敬白  
地方住仕の諸彦は御一報次第見本持参の上御注文に應じ可申候

**ハ柳洋服店**  
シアトル市ブレフアンテン  
ブレース一二九  
電話 モーソ 八一八〇  
自宅電話 コロンビヤ一四二



三

### The Hotel Hanson

517 Washington St., Seattle, Wash.

場所……最も便利なる地位なり  
館内……清潔にしてスチーム及  
バス等の設備は既に知  
らるゝ處

シヤトル市ワシントン街  
五一七

ハンソン  
ホテル

電話 エリオット  
三三二二ゼー

眺望  
塵市を距らず而かも宏壯に  
して閑静なり、南窓は月に  
宜しく北牖は風に冷し東西  
兼て山海眺望の勝あり

館主  
肥後慶二郎  
長野祐常

MAIN ST, CASH GROCERY  
306 12th Ave., So. Seattle, Wash.

### 食料品雑貨

御注文は多少に拘はらず迅速に  
御届け申上候

雑貨商店  
シアトル市南十二街三〇六

水川浮右衛門

肥後芳太郎

電話 ベーコン一八七七

在シアトル

### 鹿兒嶋縣人會

シヤトル市メナード街三〇九  
(東郷ホテル内)

Kagoshima Kenjinkwai 309 Maynard Ave. Seattle Wash.

モーター 販賣修繕  
貸貸据附 電気附屬品販賣

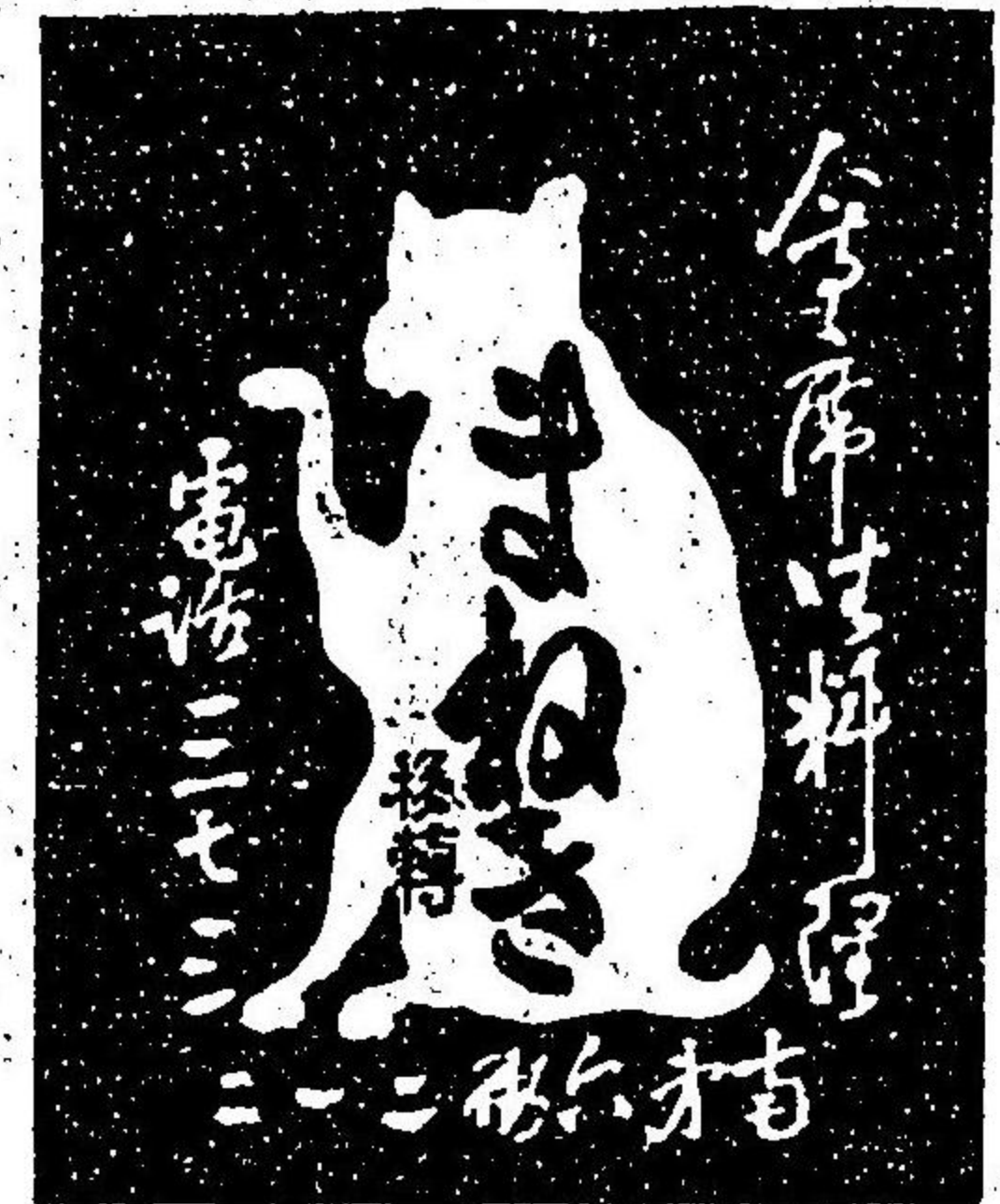
山田プラマー

沙都市ジャクソン街六六六  
電話(エリオット)二〇四〇  
山田浅太郎

二



シ  
ア  
ト  
ル



**M.H.HIRASHIMA CO.**

527 Jackson St. Seattle, Wash.

洋和 食料品雜貨類

一切大販賣

直輸入商

平島商店

シアトル市ジャクソン街五二七

店主 平島又太郎

電話(エリオット)三九二〇

精米部

一等米 鶴印

二等米 龜印

五



會 席  
御 料 理

七一五街ントンシワ市ルトヤシ  
(W〇九三三トツオリエ話電)

○ 湯 やきもの

○ 湯 さしみ

○ 湯 すいもの

○ 湯 猪口

○ 雪 金三十五仙

○ 月 金五十仙

○ 花 金七十五仙

諸宴會には特別の御相談可致候間倍奮の御引立を  
奉願候

主人 諸頭時次郎

相 生

**MIYAZAKI CO.**

651 Main St. Seattle Wash.

日米雜貨並にグロツサリー  
日本賣藥、雜誌

シアトル市メイン街六九一

宮崎商會

電話(エリオット)一九七七

**Chicago Dental Parlor**

4134 Maynard Ave., Seattle, Wash.

シカゴ齒科醫院

シヤトル市メナード街四一三半  
ホテルオリンパス十七、八、九號室  
沙港正金銀行二階

齒科醫學士 小池鶴太郎

齒科醫學士 菊樂主太郎

電話(エリオット)五三〇八

四



# Oriental Laundry

弊社の自負は

迅速にして

丁寧

オリエンタル  
洗濯會社

シアトル市南第十四街三〇五  
社主 岡田澄藏

電話 ベーコン 五

シアトル

# 花道家

御料理



シアトル市メイン街六〇八



電話 エリオット  
三八八一

七

# Hotel Ivy

573 King St. Seattle Wash.  
Phone Elliott 3050

本館はユニオン停車場より僅かに三  
丁目にあり電車線は四方に通じて便  
利なり

丁寧親切

ホテル

アイヴイ

室内清潔

各室常に温湯冷水ありスチームヒー  
タの設備あり煉瓦建築にて家具一切  
新式室数は百五十

# ホテル

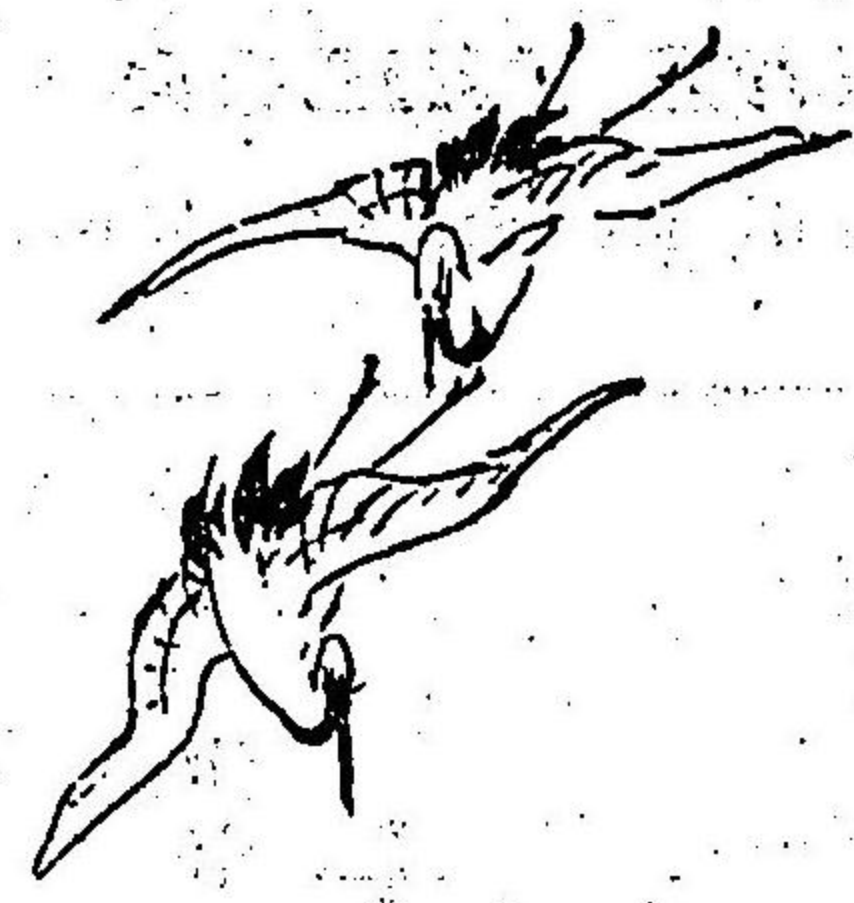
# レツキス

シアトル市キング街六五七

電話 エリオット 三〇六八

六





シアトル市  
メイン街五三三  
電話(エリオット)五三三五

會 席 八 千 代 御 料 理

ART PHOTO STUDIO

1610 Broadway Seattle, Wash

美術寫眞館

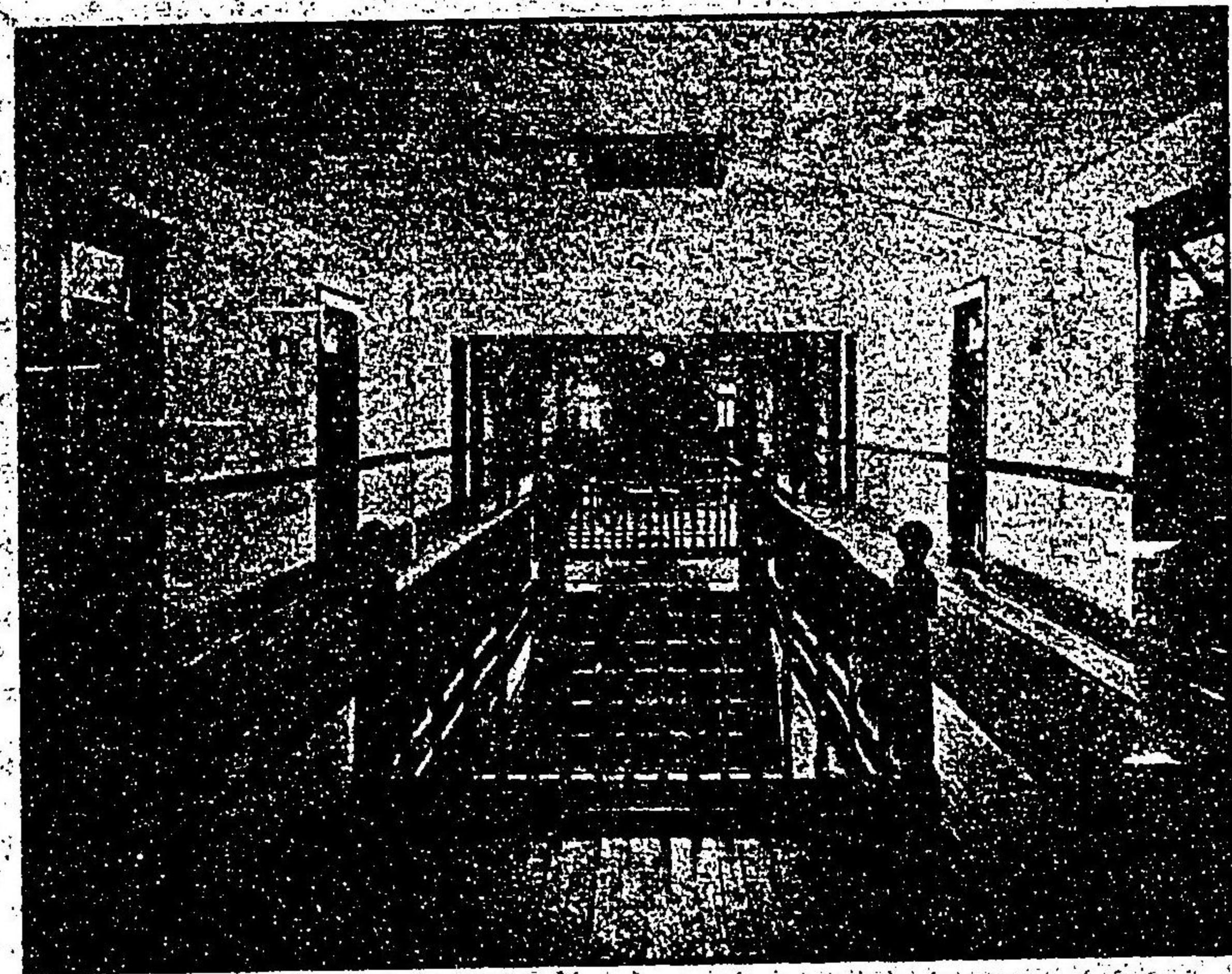
天野 正 十九

電話 イースト七二五二  
自宅メイン街六〇六五  
自宅第十街百二十五番

本館の特色 シヤトル市唯一の美術的寫眞館にして晴雨に拘はらず撮影す御一報次第出張撮影の依頼に應ず

御菓子調進 幸 榮 堂

シアトル市メーナード街九一六  
電話(エリオット)五二七九



Hotel Togo.

309 Maynard Ave

Seattle Wash

東郷ホテル

本館の特長

▲日本町の中心にあり

▲停車場に近く電車の便利あり

▲室内清潔、家具整頓、眺望好良

▲妻君及親族呼寄せには便利なり

◎日本行汽船 切符取扱  
東部行汽船

シアトル市メーナード街三〇九

館主 蒲地 作次

紀 留 吉

電話(エリオット)二四三九



シ  
ア  
ト  
ル

**Dr. Kumamoto**  
604 Main St. Seattle, Wash.

公認齒科醫

シアトル市メイン街  
六〇四番半  
東洋銀行ビルディング

齒科 専門

治療時  
自午前九時 至十二時  
自午後一時 至六時  
日曜 休業

電話  
オフィス 三三七五  
自宅 三三三〇

**The Yamato Co.**  
518 6th Ave, So. Seattle,

和洋酒類販賣  
並雜貨食料品

シヤトル市南第六街五一八

**大和會商**

電話(エリオット四三三二)

千代田櫻印日本酒釀造  
楓印味淋酒  
勞働口周旋

二

**OTERA TAILOR**  
417 Maynard Ave Seattle Wash.

沙市メナード街四一七

**大寺洋服店**

店主 大寺常吉  
大寺稚各

電話 五二六五

御飯並に  
即席御料理

北米割烹店の大王

當店の繁昌は御客の御愛顧に依ると共に材料精撰  
價額低廉、丁寧迅速、顧客の御便利を計るにあり  
特に在米各方面を網羅し顧客を有するは當店の  
光榮とし且誇りとする處なり

シアトル市メイン街五〇〇  
電話(エリオット二四九六)

**ORCHARD HOTEL**  
4114 Yeslarwaly Seattle Wash  
Phone Elliott 1753m

諸用を便するに最も  
簡易なる場所に位す

**帝國ホテル**

館主 西村喜三郎

シアトル市メイン街四二二半  
電話(エリオット三六四〇)

日本人街と白人街との間にあり  
交通便利、室内清潔、取扱丁寧

オーチャードホテル

館主 小林豊一

シアトル市エスライウエイ四二一  
電話(エリオット一七五三)

一〇



シカゴ、ミルウオーキー  
タコマ、イースターン  
鐵道夫供給

内 外 工 事 請 負

シ  
ア  
工  
事  
會  
社

シ  
ア  
ト  
ル  
市  
南  
第  
二  
街  
二  
一  
八

郵 函 七 九 七

電 話 エリオット四四三三

タ  
コ  
マ  
同  
出  
張  
所

郵 函 一 三 五 五

シ  
ア  
ト  
ル

一  
三

GRAND RESTAURANT

1416 First Ave Seattle Wash, Tel. Elliott 3233w



グ  
ラ  
ン  
ド  
洋  
食  
店

シ  
ア  
ト  
ル  
市  
第  
一  
街  
二  
四  
一  
六  
光  
岡  
佐  
太  
郎

同 胞 經 營 洋 食 店 第 一 稱 せ ら る  
本 店 に 御 出 下 さい

H. M. HANAFUSA & CO.  
121 MAYNARD AVE,  
P. O. Box. 995 Seattle Wash.

英 事 務 所

電 話 エリオット二二四〇 W

英 米 一

シ  
ア  
ト  
ル  
市  
メ  
ナ  
ー  
ド  
街  
日  
本  
館  
ビ  
ル  
デ  
ン  
グ  
内  
郵  
函  
(  
九  
九  
五  
)

◎ 營 業 課 目 ◎

世 界 最 大 ( ニ ュ ー ヨ ー ク )  
生 命 保 險 會 社 代 理

各 種 請 負 業  
諸 般 仲 買 業  
土 地 家 屋 賣 買 業

T. YAMADA CO.  
TEL ELLIOTT 4211 423 MAYNARD AVE.  
SEATTLE WASH.



山 田 婦 人 服 店

本 店 に 是 最 新 流 行 服 を  
常 に 取 揃 へ あり ます  
熟 練 な る 職 工 を 雇 入 れ  
あ り ます か ら ス タ イ ル  
は 立 派 で 形 は 決 し て 潰  
れ ませ ン

シ  
ア  
ト  
ル  
市  
メ  
ー  
ナ  
ド  
街  
四  
二  
三  
藤  
井  
館  
内

本 店 に 是 御 婦 人  
用 の 品 物 は 洋 服  
帽、コ ー ト の  
外 凡 て 何 ん だ も  
取 り ぞ う へ て  
品 物 は 吟 味 し て  
御 座 り ます

電 話 ( エ リ オ ッ ト 四 二 一 )

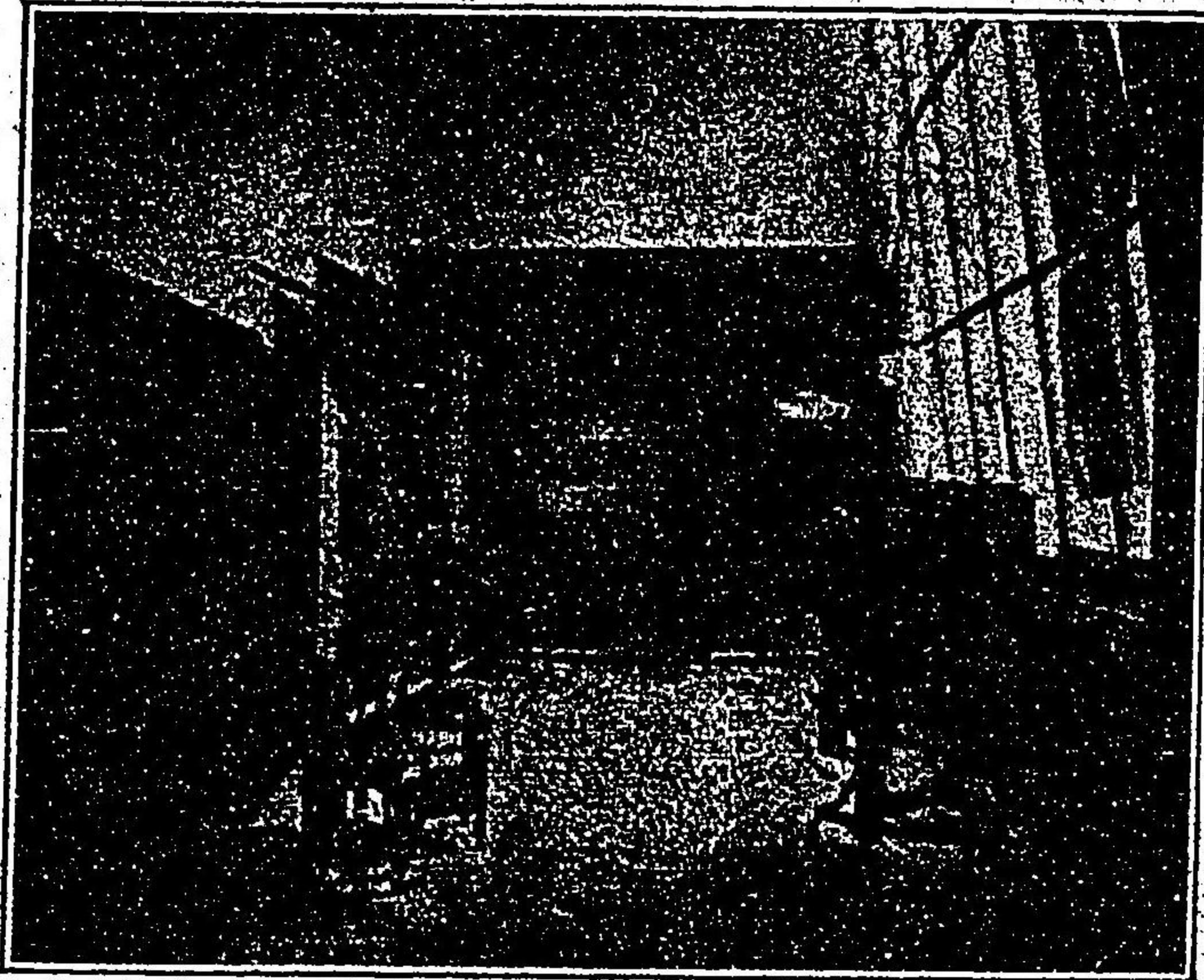
一  
三



-Tel Elliott 1436

# TSUTSUI PHOTO STUDIO

604 1/2 Main St. Seattle



シアトル市メイン街六〇四半  
東洋銀行ビルディング第二百十五號室  
電話 エリオット一四三六

シアトル

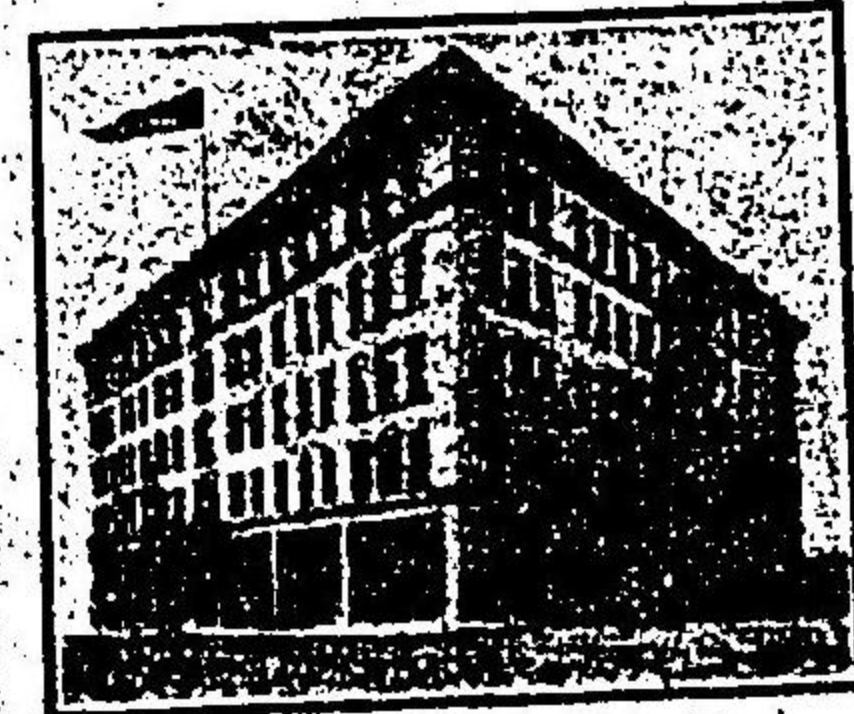
一五

會 席 新 花 御 料 理 月

シアトル市メイン街六〇四  
電話 (エリオット一四三六)

# Hotel Milwaukee SEATTLE

Between Jackson and King On 7th Ave



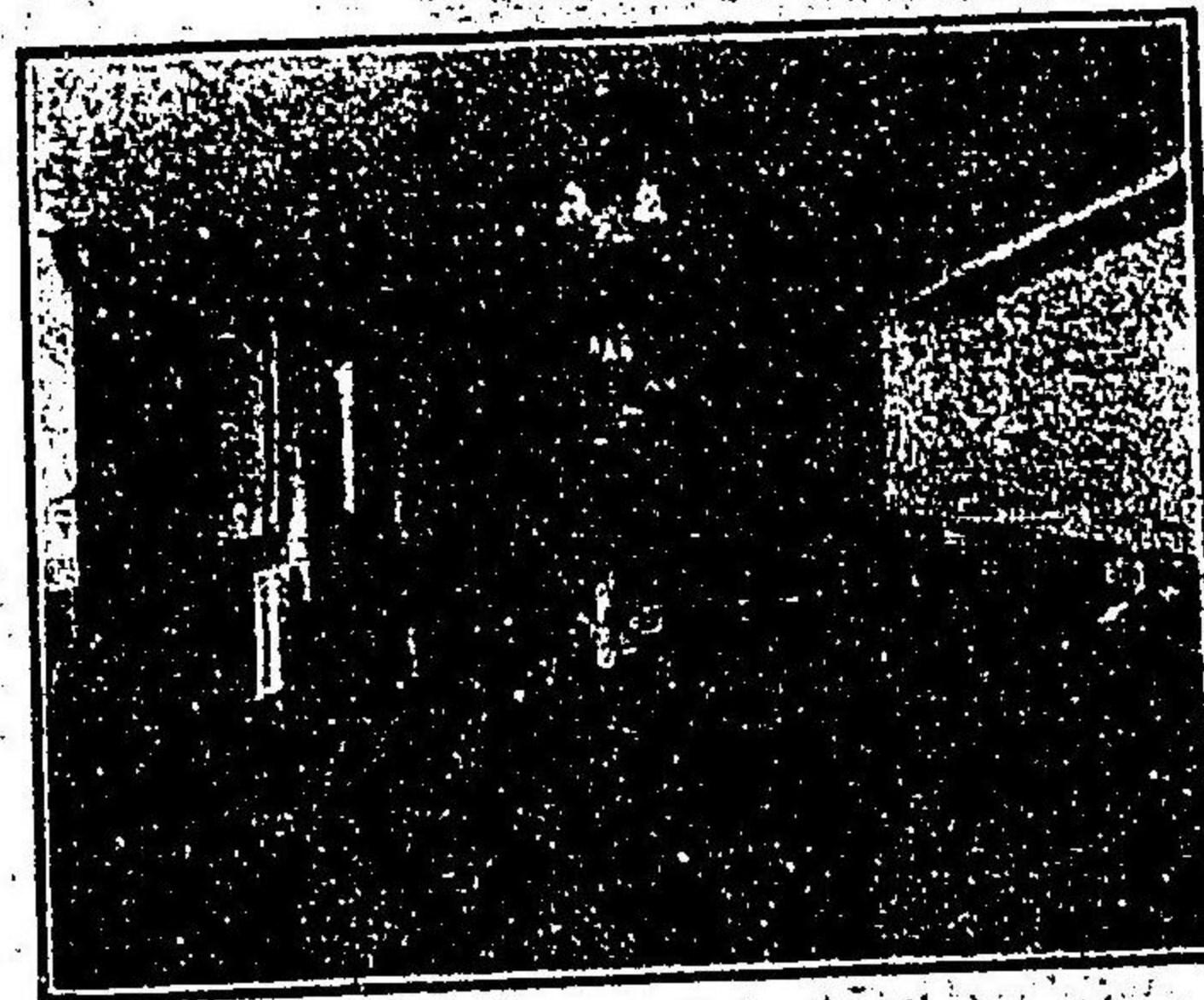
米 國 式  
歐 州 式  
高 等 旅 館

北米沙港キング街六六八番  
ホテルミルオキー

陸 續 乞 御 投 宿



電話 (エリオット三〇七一)



- ▲御出迎には馬車を備へ
- ▲客室に電話を設置し
- ▲浴槽は御自由に任す
- ▲室代御一泊五十仙以上
- ▲昇降機並に冷水温湯
- ▲食堂西洋支那御料理

一四









# GOSHO DRUG CO.

PRESCRIPTION PHARMACY

523 Jackson Seattle Wash Phone Ell, 2225

Branch Store

601 Main St Seattle Wash Phone Elliott 3984

目 課 業 營

日米賣藥化粧品  
醫藥工業用藥品  
處方調劑

本店

シアトル市ジャクソン街五百二十三番

電話(エリ)二二二五

清快丸特約  
米國代理店

# 御所藥店

(電話エリ三九八四)

支店

シアトル市メイン街六百一番

藥劑師 御所 秀吉  
藥劑師 長谷川 眞平

藥品目錄御入用之御方は御申越次第進呈仕候

# K. HIRADE CO.

IMPORTERS

Wholesale & Retail Dealers In Japanese Goods

420-422 MAIN ST.,

SEATTLE, WASH.

直輸出入商

# 平出商店

日米雜貨食料品

卸 小 賣

機 械 精 米 所

北米ワシントン州シアトル市メイン街四二〇、四二二

電話 エリオット 二九五四

横濱市不老町三丁目日の出橋角  
平出商店 横濱支店

神戸市御幸通八丁目二十二番地  
平出商店 神戸支店

大阪商船會社テケツ代理店 (本店の商品目錄及船積發售表  
御覽の方は申越次第進呈可仕候)





K. SETSUDA CO.

PHONE ELLIOTT 2911  
516 Main St.

Seattle, Wash.

清酒枝櫻正宗

一清酒 富貴  
一味淋 九重櫻

シアトル市メーソン街五百十六番

**K**  
説田商店  
電話 エリオット二九一一

一和洋銘酒類各種  
一醬油龜甲萬印其他食料品一切  
一レニヤビヤ特約一手販賣  
弊店毎々一方ならざる御愛顧を蒙り厚く御礼申上候向は此度は地方御得意御用向の爲め店員差出し候に付陸續御用命被下度候

# 北米年鑑

第四號 北米時事社發行

第壹編 日本と米國

千九百二十年 日米關係史  
明治天皇崩御

六月二十日朝刊の英字新聞は、突如として先帝陛下の御不例を傳へ、十九日には恐れ多くも一時御恍惚の御状態に陥らせ給ひたる旨を報じたりしかば、在留臣民は恐懼憂慮措く能はず、只管其報の事實に非ずして、英字新聞通信員の誤報に過ぎざらんことを祈念したりしに、同日午後に至り、華盛頓を経由して、沙港領事館に達せる公電は、左の如き凶報を傳へ、在留同胞色を失ひたり。

公報 (在華盛頓帝國大使館經由東京七月廿日發)

岡侍醫頭青山、三浦南博士拜診の結果發表せられし御

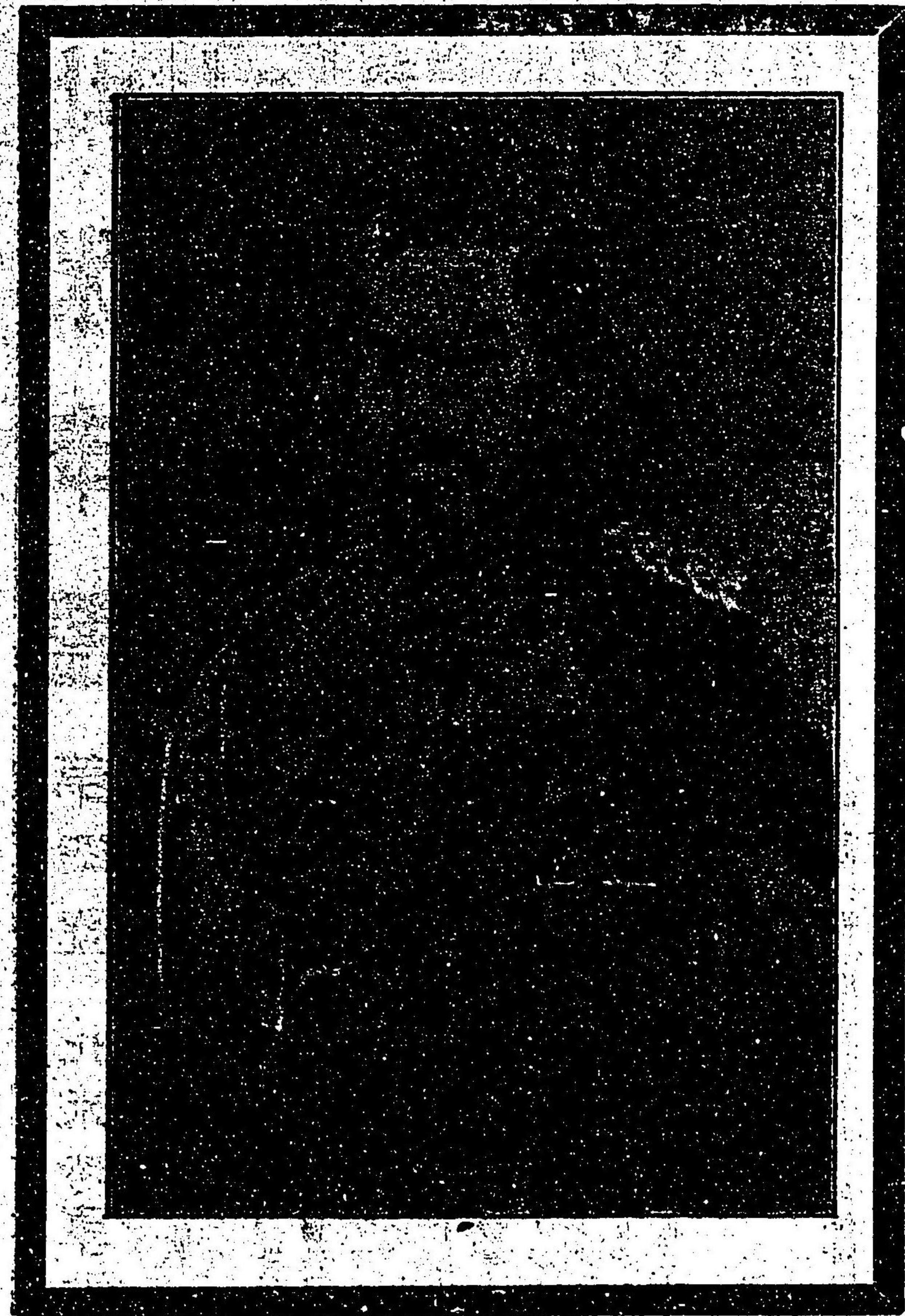
日米關係史

容態書左の如し

天皇陛下ニハ三十七年未由ヨリ、糖尿病ニ罹ラセラレ、次デ三十九年一月末ヨリ、慢性腎臟炎御併發アラセラレ爾來御病勢多少御増進アラセラレタル處、七月十四日御腸胃病ニ罹ラセラレ、十五日ヨリハ少々御嗜眠ノ御傾向アラセラレ、十七日來御嗜眠一層御増加御食氣御減少、十九日午後ヨリ、御精神少シク御恍惚ノ御状態ニテ、御腦症アラセラレ、御尿量俄カニ甚シク御減少、蛋白質著シク御増加、同日夕刻ヨリ突然御發熱、御体温七度五分ニ御昇騰、御脈搏百御呼吸三十八、廿日朝御体温三十九度六分御脈搏八十五御呼吸三十二、右の御容態により尿毒(Uremia)の御症と拜診し奉る。

右御不例の報一度達してより、在留同胞の驚愕一方ならず、各自謹慎御安泰を祈り、毎日各地に於て、佛教徒基督教徒其他の團體會合して、御平癒の祈願を捧げ





( 皇 天 治 明 )

又御容態に關する公私の電報は、毎日數度達し、我北米時事社の如きは、東京特電の達する度に、或は社前に掲示を爲し、或は號外を發して、御經過の報道に怠らざりしが、七月廿五日頃の御容態は、御佳良なりとありしにも拘らず、廿八日に至り、三博士拜診の御容態發表せられたるものによれば、御体温三十九度五分、御脈不整にして欠滯多く、御呼吸短息にして四五回、喘鳴を帯び、時々御全身に御痙攣あり、甚だ御危険の御状態に在らせらる。山にて之れを聞ける臣民の憂愁極まり無かりしが、越へて三十日に至り、終に左の如き惡化に接し、慟哭せざるは無かりき。

公報 (七月三十日午前着電)

廿九日午後八時頃ヨリ、陛下御病狀漸次増草シ、同ク十時頃ニ至リ、御脈次第ニ微弱ニ陥ラセラル、御呼吸ハ倍々淺薄トナリ、御昏睡の御状態ハ依然御持續遊バナル、遂ニ三十日午前零時四十分、心臟痙痺ニヨリ崩御遊バナル

新帝陛下御踐祚改元

先帝陛下崩御あらせられたるを以て、皇太子東宮嘉仁親王殿下には、帝國憲法及び皇室典範の定むる處に従ひ、七月三十日午前一時、踐祚の式を擧げさせられ、

日米關係史

掌典長をして賢所に祭典を行はしめ、皇靈殿神殿に御報告あらせられ、同時に宮中に於て、劍璽渡御の儀式を行はしめられ、元を改て「大正」と稱へしめらるゝと共に、左の敕語を下し賜はりたり。

踐 祚 敕 語

朕俄に大喪ニ遭ヒ、哀痛極り罔シ、但タ皇位一ハモ曠クスベカラズ、國政須臾モ廢スベカザルヲ以テ朕ハ茲ニ踐祚ノ式ヲ行ヘリ。  
願フニ、先帝報明ノ資ヲ以テ、維新ノ運ニ膺リ、万機ノ政ヲ親ラシ、内治ヲ振刷シ、外交ヲ伸張シ、大憲ヲ制シテ祖訓ヲ昭ニシ、典禮ヲ須テ蒼生ヲ撫ス、文教茲ニ敷キ、武備維揚ル、其盛徳鴻業、万民具ニ仰ギ、列邦共ニ視ル、寔ニ前古未ダ曾テ有ラザル所ナリ。  
朕今万世一系ノ帝位ヲ踐ミ、統治ノ大權ヲ繼承ス、祖宗ノ宏謨ニ遵ヒ、憲法ノ條章ニ由リ、之レガ行使ヲ愆ルコト無ク、以テ先帝ノ遺業ヲ失墜セザランコトヲ期ス、有司須テ先帝ニ盡シタル所ヲ以テ朕ニ事ヘ、臣民交モ和衷協同シテ忠誠ヲ致スベシ、爾等克ク朕ガ意ヲ體シ、朕ガ事ヲ獎勵セヨ。

改 元 詔 敕

朕菲德ヲ以テ大統ヲ承ケ、祖宗ノ靈ニ誥ケテ万機ノ



改ヲ行フ、茲ニ先帝ノ定制ニ從ヒ、明治四十五年七月三十日以後ヲ大正元年ト爲ス、主者施行セヨ。

### 廢朝、喪期及大葬使

御踐祚あらせられたる今上天皇陛下には、七月三十一日より八月四日に至るカ日間、廢朝仰せ出され、尙大葬儀當日たる九月十三、十四、十五日の三日間も廢朝の旨仰せ出されたり。

喪期に就ては、大行天皇の喪に丁る時大喪とし、大喪には天皇皇族及臣民喪に服し、其喪期は一年とし、喪期は七月三十日より九月七日に至る五十日間を第一期とし、九月八日より十一月七日に至る五十日間を第二期とし、十一月八日より大正二年七月廿九日に至る殘日數を第三期と爲す旨仰せ出されたり。

大喪に關する全般の事務を管掌せしむる爲め、大喪使官制を定め、宮中に大喪使を置き、伏見宮貞愛親王殿下を總裁に、以下祭官の任補あり、總務、儀式、工作、工營、主計、用度、鐵道の七部を設けて、諸般事務の進行を計れり。

### 御追號奉告の御式

御追號に就ては、種々なる説も出でしが、如何なる文

字を以てするも、御鴻業御盛徳を言ひ盡す好文字を得るに苦み、終に從來の恒例を破り、元號を以て御追號とし奉る事に決し、八月廿七日を以て、明治天皇と追號し奉る旨告示あり、即日奉告の儀を修し給ひたり。

### 臨時議會の召集

天皇陛下には、八月六日付詔書を以て、第廿九回臨時議會を、八月廿一日東京に召集し給ひしかば、同日に至り貴衆兩院開會し、廿四日大葬費豫算の提出せらるゝや、滿場一致總起立にて之を可決し、廿六日政府より公布され、同日閉院式を行はせられたるが、右費目の大要は左の如く、總額百五十四万五千三百八十九圓(大藏省所管)にして、大正元年度追加豫算なり。

第一目	幣儀及儀品費	九五〇一三
第二目	管 轄 費	七六二〇四八
第三目	儀 仗 費	三九六二九
第四目	警 備 費	九〇五二六
第五目	調 度 費	二一八二八六
第六目	旅 費	一八二二四二
第七目	諸 手 當	一五七六九五

### 各國の御名代及特使

先帝陛下崩御の報、一度列國に傳はるや、列國朝野の

人士、一として哀悼し奉らざるなく、殊に各國元首は御懇篤なる御弔詞を寄せられ、或は御使を在外使臣館に遣はされ御弔問あり、尙哀悼の意を表する爲、宮中喪をなし或は半旗の弔禮をなせるが、更に御大葬儀に參列する爲め各國元首より、御名代並に特派使節御差遣ありたるは、英國コンノート殿下、獨逸皇弟バインリツヒ親王、西班牙皇從弟トシ、アルブオンソ、アルレンアン親王、米國國務卿ノックス氏、佛國ルボン中將等にして、埃國其他は、駐劄公使を以て特使に充つる事となれり。

### 國務卿ノックス氏渡日

大葬特使として米國を代表し、御葬儀に參列す可き、國務卿ノックス氏は、令夫人並に國務省東洋局長ミラ「氏以下の隨員を従へ、八月廿二日午後九時沙港に來着し、直ちに軍艦メリーランド號に搭乗したるが、沙港に於ては、使命に顧みる處ありてか、何事をも語らず、只管謹慎を旨としたる模様あり、初めノックス氏が大葬特使に任命せらるゝや、列國は其任命の特に重大なる意味あるに非ずやを疑ひたり、蓋し國務卿が米國を代表して外國の葬儀に赴くが如き前例は、米國有史以來未曾有の事にして、且つ當時支那問題に關聯し

て、極東の時局は、列國の注意を惹ける折なりしに、



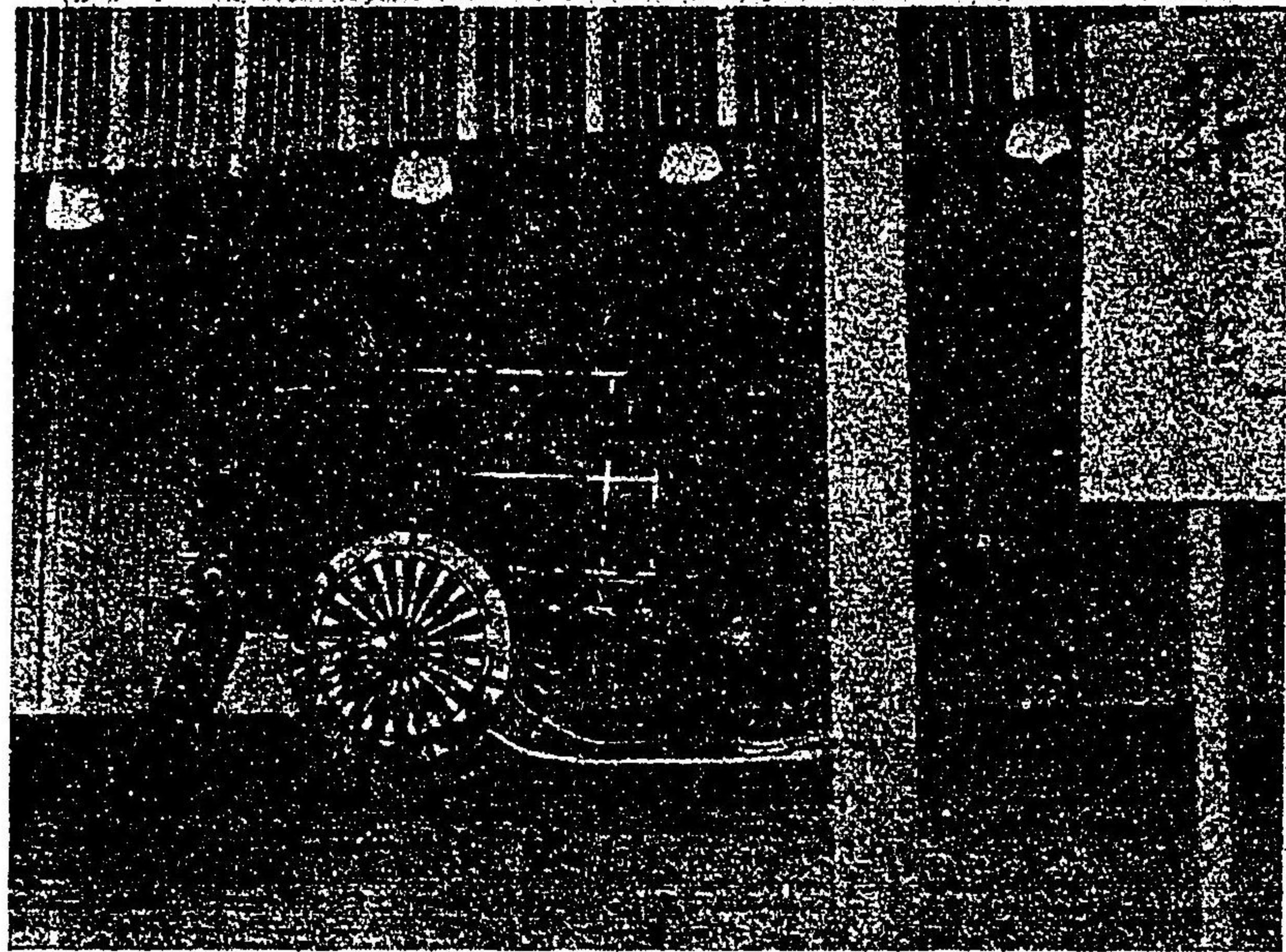
(氏スツノ 國務卿)



(環 花)

國務卿が東洋局長を隨へて、日本に赴くとありては、殊更外交界の視聽を集中するは、當然の事なりしなり、夫れかあらぬか歐州よりの電報は、或は様々な風説を傳へ、國務卿の渡航が、大葬參列以外の使命





(青山葬場殿に安置の御車)

日米關係史

ある爲め、日本は之れを悦ばずと云ひ、或は國務卿は日本政府が大喪により混亂せるを期とし、支那に向つて一大飛躍を試みんとするものなりと云ひ、世評紛々たりしなり、然るに沙港に來りたる國務卿は、専ら謹慎を旨として、一言も是等の風説に辨解する處なく、着沙宵夜深更巡洋艦メリランド號に乗り、隨員を從へて出發せり、之より先き國務卿は、明治天皇の靈前に供へん爲め、沙港に於て美事なる花環を製せしめたるが、此花環は月桂樹の葉を磨き上げ、之に油を塗抹し、光澤を附したる、高尚優美なる物にして、直徑七尺有餘のものなりき。

既にして國務卿の日本に着するや、皇室は卿を待つに皇族の禮遇を以てし、旅館には故伊藤公の官邸を賜ひ、卿は我皇室の優遇を感謝しつゝ、使命を完ふし、日本を辭するに及び、天皇陛下には、特に我國美術の精華たる刺繡の屏風を賜ひ、東京市民よりの贈物を受け、先きに風説されたるが如き、外交上の問題は更に起らず無事歸國して復命する處ありたり。

### 青山葬場殿及桃山御陵

御大葬場は、青山練兵場を以て充てさせらるゝ事となり、八月五日大葬使に於て、建築物其他の設計を確定

し、道路水道電燈を設備し、葬場殿を建設せしめ、九月九日に至り全部完成し、御陵所は、京都府紀伊郡堀内村宇古城山と御決定なり、桃山御陵と御名あらせられ、八月一日より晝夜兼行にて工事を進捗し、八月末には大部分の工を竣へたり。

### 靈柩御發引

億兆の赤子が悲痛慟哭の中に九月十三日も夜となりて仰げば滄溟暗く、伏せば四隣寂たり、時は刻々に移りて、午後七時過る卅分に至り、明治天皇の御尊骸は、宮城御車寄より御輜車に遷御あらせらる、此時號砲一發大内山に響き、嬌々たる萬秋樂起れば、靈牛の歩調緩かに、七葉型の車輪松明に光を散らし、七種の哀音を立てつゝ、砥の如き御車寄前の御道より、二重橋鐵橋にと差しかゝる、先頭には金色燦爛たる日月の御旗倭綿の雲散するかと疑はれ、暗に包まれたる大内山の松木立、打沈める御濠の面松明に輝き渡りて、橋上の光景いと崇嚴なり、此時大元帥陛下、皇后、皇太后兩陛下、皇太子、皇子、内親王、皇族各殿下には、振天府懷府の側より、三角門を經させ給ひて、二重橋内の天幕に入御あり、親しく御發引を御奉送遊ばされ、明治天皇の御尊骸は、歸りまさぬ大御幸に旅立たせ給ひぬ。

### 沿道の奉送

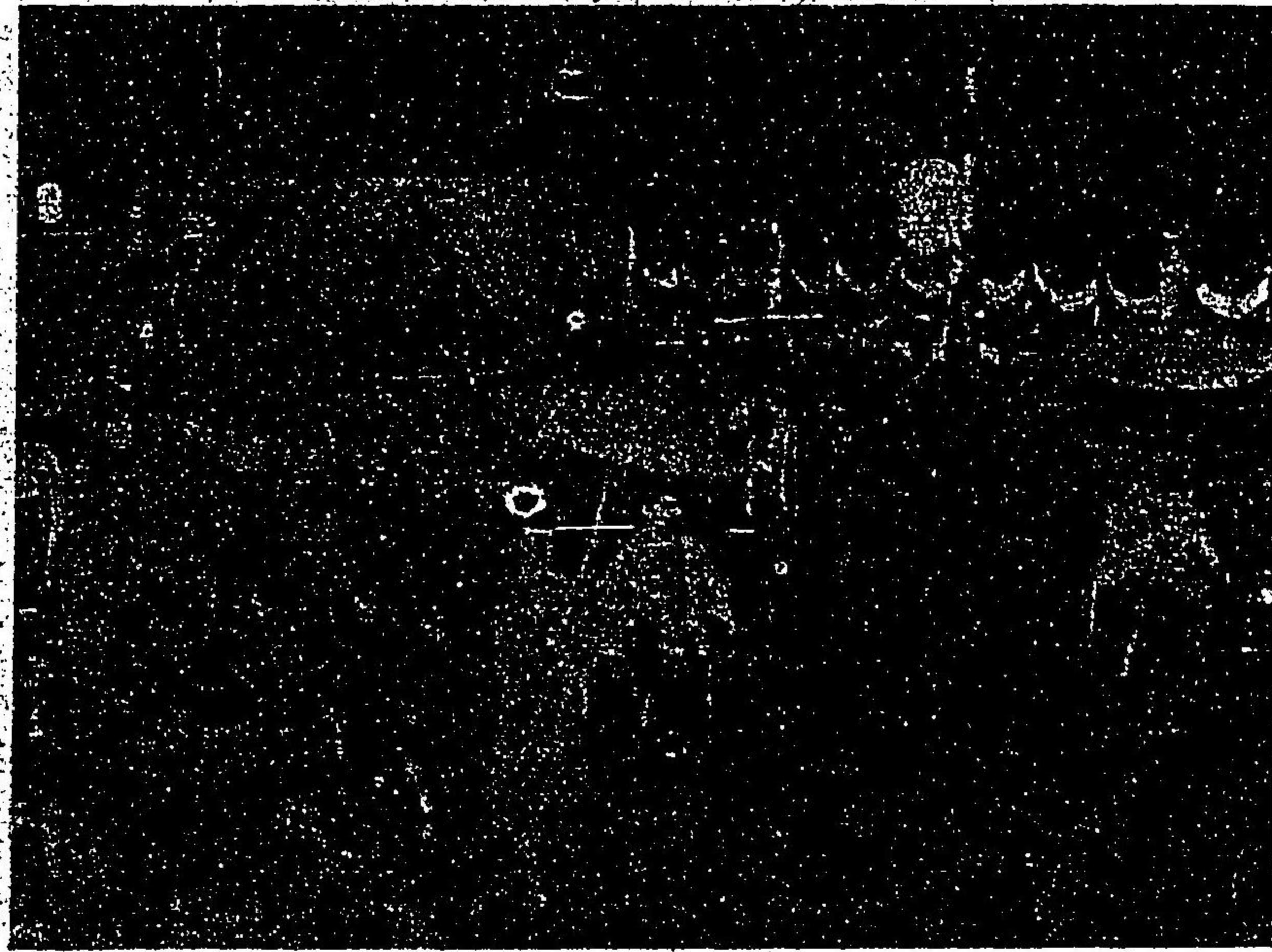
斯くて御葬列は、肅々として馬場先門を出で、靜かに悲壯斷腸の哀音を殘しつゝ進む、御葬場に至る間、間斷なき塔列兵は、一齊銃を捧げ奉送の禮を致し、庶民鳴を靜めて、神氣自ら骨に徹するを覺へ、唯歎歎の聲のみ聞ゆる中を、御葬列は進みて青山に向ひたるが、其初めて二重橋の畔に、動き初めし午後七時三十分より、最後の供奉が、葬場内に到着したる、午後十一時三十分迄、約四時間を費したり。

### 葬場殿の大葬儀

應て御車轎の青山葬場に着御あるや、天皇、皇后、兩陛下には、諸員を從へ、親しく第二神門内に御奉迎あり、靈柩を正殿に安置せ奉り、數千の參列員起立の中に、神饌を奠し、祭詞を奏し奉り、終つて天皇陛下には、玉歩を靈柩前に進ませ、玉串を供へ給ひ、御誄を讀み上げ給ふ、御誄に曰く、

(御名) 謹ミテ皇考の靈前に白ス、皇考ノ登遐シ給ヒシヨリ、夙夜夢寐温容ヲ諷ル能ハズ、櫻宮ニ殯殿ニ奉饌拜參シテ、空ク靈前ニ感泣セルコト早ヤ己





日米關係史  
(京都桃山、慈華堂通御)



(御葬列)

ニ四十餘日、今ヤ伏見桃山ニ斂葬セントシ、輜車ヲ送リテ此ニ來レリ、願フニ曩ニ皇考ノ病革ルヤ、上下憂悞シテ天地ニ祈ルアリ、茲ニ其葬儀ヲ行フヤ朝野悲傷シテ己マズ、是皆國民忠忱ノ發露スル所ニシテ、即チ皇考德澤ノ感孚スル所ナリ、此ヲ思ヒ彼ヲ念ヒ、痛悼ノ情倍々切ナリ、嗚呼哀イ哉。天皇陛下の御拜に次いで、皇后陛下、皇太后御名代を初め奉り、皇族各殿下、各國御名代、大官公卿、御靈前に玉串を供へ拜を爲し、午前零時二十分にして御式を終る。

### 靈柩桃山に向けせ給ふ

大儀難終るや、靈柩は、塲葬殿の後方に控へたる、靈柩列車に移御あらせられ、天皇、皇后、兩陛下、皇太后御名代以下の最敬禮の間に、徐々進行を始め、京都桃山を指して、大御幸あらせ給ひまが、沿道品川灣には、帝國第一艦隊集合して分時弔砲を發し、其他各停車場及び線路には、奉送の官民皆面を伏して、嗚咽し御名残を惜み奉り、十四日午後五時十分と云ふに、御靈柩列車は、安けらく桃山停車場に着御あらせられ、御靈柩を慈華堂に遷し奉り、午後六時十五分、塔列兵「哀の極」吹奏の裡に、鹵簿肅々として御陵所に向はせ給ひぬ。

### 哀絶痛絶の御埋柩式

鹵簿しのやかに葬場殿に着かせらるれば、此處にても亦壯嚴なる御式を營まめられ、靈柩を丘上なる御須家に奉揚し、續いて御埋柩の式あり、葬儀の御式全く畢れるは、翌十五日午前二時にして、明治天皇の神靈は、安らかに長へに桃山の御陵に鎮まり、千秋萬古我神州を護り給はん。

### 恩赦及御惠恤

御大葬儀の當日を以て、左の如く恩赦の詔書を下し給ひ、同時に惠恤の敕語を發せられたり。

#### 恩赦詔書

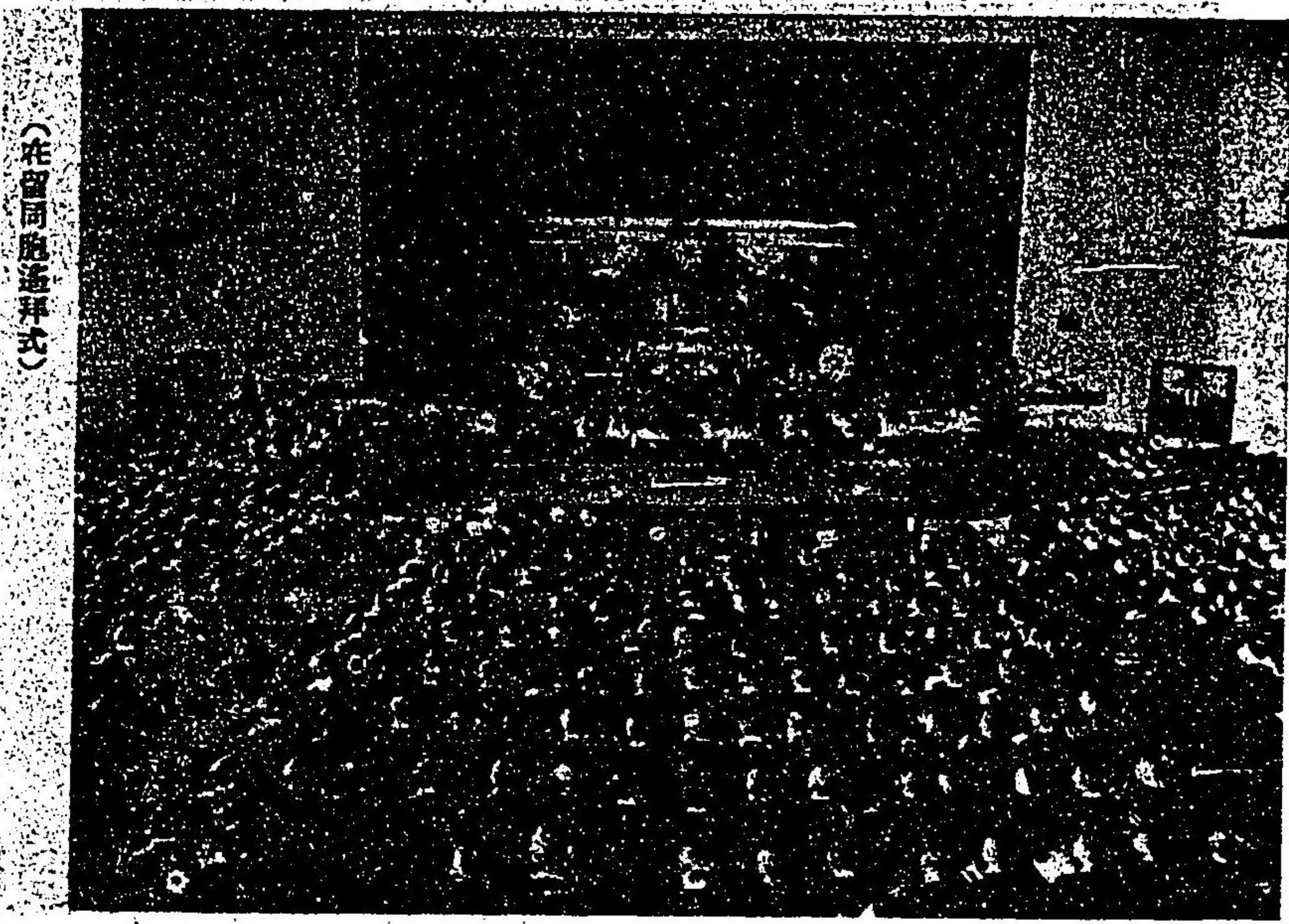
朕逝ニ大故ニ遭ヒ、哀矜己マズ、前典ヲ釋ネテ遠近ニ洽カラシメ、以テ朕ガ罔極ノ哀ヲ申ヘムコトヲ念ヒ、特ニ有司ニ命シテ、恩赦ヲ行ハムトス、百僚有衆、其レ朕ガ意ヲ體セヨ。

御名 御 璽  
各大臣 副署

#### 惠恤敕語

朕大喪ニ丁リ、特ニ命シテ内帑ノ金ヲ出シ、各地方





(在留同胞遙拜式)

ニ頒賜シ、以テ慈惠救済ノ資ニ充テシム。  
慈惠救済の費として、御下賜あらせられたるは、金百  
萬圓にして之れを朝鮮、臺灣、樺太、關東州及び一道  
三府、四十三縣へ、頒賜相成りたり。

### 在留同胞遙拜式

明治天皇御大葬を遙拜せん爲の、領事高橋清一氏主催  
者となり、沙港在留同胞は、九月十三日午後二時より  
華盛頓大學構内オーデトリヤムに參集したり、場内正  
面の壇上には、花環及紅葉等を以て、壯嚴優麗なる祭  
壇を築き、壇の中央最高の位置に明治天皇の御眞影を  
奉安して、簾を垂れたるが神々しさ云はん方なく、敬  
虔の念と、崇拜の感に自ら襟を正さしめたり、當日の  
參拜者は約二千名と註せられ、白人有勳者及特志家數  
十名も見受けられたり。  
斯くて定刻に至るや、高橋領事開會の辭を述べ、次いで  
ワグナーバンドの「哀の極」を奏する間に、御眞影  
の簾を捧げ奉り、一同起立最敬禮を行ひ、次いで日本  
人代表者、佛教代表者、基督教代表者及び白人代表者  
敬弔の辭を捧讀し、再び總起立最敬禮を行ひ、音樂隊  
奏樂の間に、御眞影の簾を被ひ奉りて、茲に最も壯重

なる遙拜の式を終りたり

## 大統領選挙

一千九百十三年より一千九百十七年まで在職す可き、  
北米合衆國大統領選挙の競争は、昨年来漸次激烈の度  
を加へ、各派の公認候補者選挙を終り、十一月五日の  
一般投票に至りしが今其間の主要なる経過を記述せば  
大畧左の如し。

### 共和黨國民大會

共和黨國民大會は、六月十七日よりシカゴ市に於て開  
會されたるが、先是現大統領タフト氏の施政に不満な  
る一派同黨内に生じ、是等の人々は前大統領ルーズベ  
ルト氏を中心として、タフト氏に離反し、次期大統領  
候補として、之れを撰挙するを欲せず、ルーズベルト  
氏を推して撰挙場裡に起たしめんとし、ルーズベルト  
氏も亦自ら進歩主義者と稱して、タフト氏排斥に努め  
タフト氏の一派は、ルーズベルト氏が大統領となるは  
合衆國不文憲法と迄謂はるゝ、善良なる習慣に反し三  
度大統領たらんとするものなりとして、之れに反對し  
居たりしが、此二派の紛争の極點に達したるは、シカ  
ゴの國民大會にして、未曾有の大政戦の末、終にル

日米關係史

ズベルト氏の一派は、連袂脱黨を決意し、大會最後の  
投票日に出席せず、爲めに候補撰定投票は左の如き結  
果を生ぜり。  
タフト氏 五六一點      ルーズベルト氏 百〇七點  
ラフォレット氏 四一點      カムレンス氏 一七點  
即ちタフト氏は、大多數を以て、共和黨公認大統領候  
補に撰挙され、副大統領候補者としては、前副大統領  
シャーマン氏を撰挙したるが、シャーマン氏は總撰挙前  
逝去し、共和黨は副大統領公認候補者缺員のまゝ、撰舉  
日を迎へたり。

### 進歩黨國民大會

共和黨國民大會に於て、大敗したるルーズベルト氏は  
其同主義者と共に、自ら首領となりて第三黨を組織し  
之れを進歩黨と命名し、八月五日シカゴ市なるコルシ  
ヤム館に於て、國民大會を開催し、會談三日に亘り七  
日同黨の公認候補者の撰挙を行ひ、満場一致を以てル  
ーズベルト氏を大統領候補者に、加州知事ジョンソン  
氏を副大統領候補者に、公認する事に決定して閉會し  
たり。

### 民主黨國民大會

民主黨の振はざるや既に久しく、天下の權共和黨の手



中に歸せるもの、茲に十有餘年なりしが、民心漸く共和黨を離れて、民主黨に傾むくの兆あり、合衆國下院は、既に民主黨の多數を制する處となり、多年臥薪嘗膽の銳氣を、本年の大統領選挙に現し、必勝を期せんとする事なれば、其國民大會の成績如何は、衆人の刮目して待つ處なりしが、六月廿五日に至り、愈々ブルチモニア市に於て開會せられ、諸般の準備を議定し、廿六日假議長選挙を爲し、諸規則を議了し、翌廿七日より大統領公認候補者選挙を行ふ、候補者たる者、クラーク氏、ウイルソン氏、アンダーワード氏、ハーモン氏、マリーシャル氏及びブライアン氏あり、クラーク氏第一撰に於て、最高點を得たれども、標準點數に達せざる事遠く、ウイルソン氏之れに次ぐ、第二撰、第三撰以下、續行第廿六撰に至るも大なる變化なく、唯だウイルソン氏漸次得票増加し、クラーク氏と伯仲の間にあるに至れるを見るのみ、議員皆疲勞の極に達せる爲め、同日の投票を中止して閉會し、更に七月一日第六日目の大會を開き、前回に引續きて第二十七撰を行へるが、前撰と同等の變化なく、續行第四十二撰に及び、ウイルソン第一位に上りたれども、未だ標準點に達せず、第四十三撰以後、ウイルソン氏益々優勢にて

第四十六撰に至り、ウイルソン氏九百九十票を得て、大統領公認候補に當選し、副大統領候補者には、インデアナ州知事マリーシャル氏選挙せられたり。民主黨候補者として、ウイルソン氏が立つに至りしは老練ブライアン氏の援助多大なるものあり、衆人皆曰く「ブライアン氏勝てり」と、斯くて民主黨は此公認候補者を戴きて、十二月の總選挙に最後の月桂冠を得んと、全黨一致の大運動を起したり。

總撰舉

國又ワシントンが一千七百八十九年に撰ばれて、大統領と成りし以來、茲に百二十三年、此間人を更ふる事二十八人、回を重ねる事三十一回にして、本年は實に第三十二回の大統領選挙の當年なり、前記の如く共和進歩、民主の三大政黨及び労働、社會其他少數黨の、各大統領副大統領公認候補者の撰舉も了り、各派互に運動怠りなく、政戦一日も止む時なかりしが、十月十四日に至り、ルーズベルト氏ミルオツキ市に於て見演の爲めに狙撃され、各黨候補者も此報を得て、暫時休戦したりしが、ル氏旋ゆるに及びて再び運動を開始し、愈々十一月五日の總選挙當日となり、大勢は終に民主黨の大勝利に歸し、ニュージャージー州の知事

ウイルソン氏大統領に、インデアナ州知事マリーシャル氏副大統領に撰出さるゝ事となり、ルーズベルト氏第二位の得點あり、タフト氏は遙に少數にて第三位たるの結果を生ぜり、今各州撰舉の模様を表示すれば左の如し。

州名	ワ氏	ル氏	タ氏
アラバマ	八二六三	二二五三〇	九六七一
アリゾナ	一〇二四四	六四六八	二九八九
アーカンサス	七五二〇〇	二二〇〇〇	二四九〇〇
カリフォルニア	二八三三三	二八三四〇	二三四〇
コロラド	一一三三三	六九七三七	六〇〇七
コンネクチカット	七三三三〇	三三三三九	六七九四九
デラウェア	二二二八九	八〇六一	一六二二三
フロリダ	三五八六四	四二〇七	四二二二
ジョージア	九三二七一	二二〇一〇	五二五一
アイダホ	三三九八三	二五五二一	三二八七三
イリノイ	四〇七四七	三九一三五	二五八二五
インディアナ	二八一八九〇	一六二〇〇七	一五一二六七
アイオワ	一七三三三	一五〇七七七	一一三九〇二
カンサス	一四三六七〇	一一〇一三三	七四八四四
ケンタッキー	二二九八四	一一〇二七六	一一五五二
ルイジアナ	五九二四一	九二〇一	三三七四
メイン	五〇九八七	四八四五九	二六五三八
メリーランド	一一二六七四	五七七八九	五五五九六

日米關係史

マサチューセツ	一七〇九九	一四〇一五	一五二二五六
ミシガン	六三三五六	一一五八五六	六四三三四
ミネソタ	一〇六四二六	八五五二二	六二二九四
ミシシッピ	五七三三七	三六四五	一五九五
モンタナ	三三〇九四七	一一三一一	二〇七四〇九
ネバダ	二八〇三三	二二四四八	一八四〇四
ネブラスカ	一〇九一〇九	七二七七六	五三三四八
ニューハンプシャヤ	七九八六	五六〇五	三一九〇
ニューヨーク	三二四七二四	一七八九四	三二九二七
ニューメキシコ	一七八二八九	一四五四〇	八八八三五
ニューハンプシャー	一七九八二	七九八八	一五五二
ノースカロライナ	六五〇七二	三八二四六	四五〇四六
ノースダコタ	一三三六六三	六五八七四	二九〇一七
オハヨー	二八八九六	二四五六八	二二八九一
オクラホマ	四〇五二〇	二〇九七九	二七三二八七
オレゴン	一一九〇五七	二〇九七九	九九七四
ペンシルバニア	四二、三六三	三三、一六九	三二、八四二
ロードアイランド	三九五六一九	四四四、四二六	二七三三〇五
サウスカロライナ	三〇、二九九	一六、四八八	二七、七五五
サウスダコタ	四八、三三五	一、二九三	五三六
タネシー	四八、九七七	五七、六三〇	—
テキサス	一三三、〇九六	五四、二六〇	六〇、二六六
ユタ	二二、四三五	二六、七四〇	二八、六六八
バーモント	三五、五六六	三三、〇三五	四〇、六九四
ワシントン	一五、三五四	二二、〇七三	三三、三三四
ワシントン	八七、六七四	一一、七九七	七二、二五二





△ウエストバジニア	一一、五八〇	七六、八〇	五、六二八
△ワイスコニン	一六、四〇九	五八、六六二	一三〇、八七八
△ワイミニング	一八、七〇〇	七五、三六	一七、四二二
合計	六二、五八八	三二九、七一〇	三、三三六、四三三

(表中 ○印はオハイシアル △印はアンオハイシアルなり)

### ウイルソン氏の閱歴

ウッドロー、ウイルソン氏は、一千八百五十六年、ヴァージニア州に生れ、一千八百七十九年、プリンストン大学に入り、後ヴァージニア大学に學び、一千八百八十六年ジョンズ、ホプキンス大学に於て哲學博士の學位を受け、後諸處の大学より法學博士、文學博士の學位を授けらる、一千八百八十五年夫人ルイスと結婚し、始め辯護士たりしが、幾何くもなくして之を止め一千八百八十五年以來、諸處の大学に教授として、經濟政治法理の學を講じ、一千九百二年プリンストン大学總長に任せられ、一千九百十年始めて政界に投じ、ニュージャージー州知事に撰擧せらる、氏は始めより尋常の學究に非ず、常に時務に著眼し籍を民主黨に置き進歩主義を採り、熱烈擊誠論者として奪ふ可からざるものあり、殊に眞の人民政治を擁護するに熱心にして、激烈なる「トラスト」攻撃家なり、ウ氏に著書夥多あり就中有名なるは、我早稻田大学々長法學博士高田早苗



- 手順をみる事
- 十五 露國內に於ける米國人民の權利を擁護する事
- 十六 一般養老基金設定の事
- 十七 國政の腐敗を清掃し人民統治を挽回する事

### 副大統領マシーヤルス氏

トーマス、マシーヤルス氏は、一千八百五十四年インディアナ州に生れ、一千八百七十六年ワシントン大学に於て、マスター、オブ、アーツ、千九百九十九年同じく法學博士の學位を得、コロンビア市に於て辯護士を業とせり、一千八百八十年檢事となりんと運動して失敗したる外は、官職を求めたる事なく、一千九百八年他の推薦により、氏の不在中インディアナ州知事に撰出せられたる本年民主黨大會に於て、副大統領候補に擧げられたる時も、氏は既に熟睡を居たるが、夜半新聞記者の來訪を受け、寢衣の儘之れに接して、始めてバルチモア市の福音を聴きたりと云ふ、生來探偵小説冒險談等の愛讀者なる由、巻頭の肖像に見て其性格の恬淡を知る可きなり。

### 新大統領と日米貿易

ウイルソン氏の當撰は、米國の國勢を隱健に發達せしむる上に於て大いに効力ある可く、又我國の對米貿易

日米關係史

氏の翻譯にかゝる「國家學原理」にして、我國學生の國家學憲法論研鑽に裨益する處多大なるものあり。

### ウイルソン氏の政綱

ウイルソン氏の政綱は之を民主黨大會の宣言書に就て知るを得ん、今其大要を列記せば左の如し。

- 一 關稅は國家必要の收入を得る丈に止むる事
- 二 不法なる獨占事業を防遏する事
- 三 州際商業の取締は中央政府之に任じ州政府をして私利獨占事業を阻止せしむる事
- 四 所得稅を徵收する事
- 五 大統領及び上院議員直選の事
- 六 大統領の任期を一期と爲す事
- 七 州際商業監督官の權力を擴張し運送電信電話等の事業に及ぼさしむる事
- 八 ミスソッピ河水路を改修する事
- 九 勞動者を新設する事
- 十 國立銀行の通貨改善の事
- 十一 天然の富源を保存し成る可く之を獨占的團體の手に歸せしめざる事
- 十二 航海條例を改め國庫より補助せずして米國航運業を發展せしむる事
- 十三 運河と競争すべき鐵道會社の所有に係る船舶には巴拿馬運河を通航せしめざる事
- 十四 堅實なる政府の成るを待ちて比後貿易の獨立を承認す可き

關係に多少の好影響を與ふるに至る可し、然れども合衆國の政局は既に從來にても民主黨の勢力優越にしてタフト氏の如き、ルーズベルト氏の如き、共和黨出身の大統領も常に其政策上、民主黨の掣肘を受け充分なる手腕を振ふ能はざりし模様なりしが、愈々民主黨より大統領を出すに至りし上は、米國の政策上に大變化を來す可し、即ち内地の産業に過剰なる保護を加ふる爲めの必要以上の關稅も撤廢さる可く、又造船所築港等に對しても今日よりは幾分冷淡なる可く、富豪の横暴、トラストの跋扈にも、一大鐵槌を下すに至る可し、其結果は米國に於ける物價を低落せしめて、單に下級勞働者のみならず、中等社會のものにも生活難の程度を軽減する事を得て、自然購買力をも増し、我國よりの輸出品を増加するの好結果を齎す事なしとも限らず、然りと雖も獨逸の新聞紙も稱導せるが如く、ウイルソン氏と雖も米國人なり、其政策が米國を度外視して外國に多分の利益を與ふることも無かる可きは明かなる事なれば、民主黨の所謂自由貿易主義の如きも現代に於ては、其解釋に多大の變遷を経たるせのにして、我國が新大統領の新政策に期待する處過重なれば必らずや臍を噬むの悔あらん、次に外交關係に就ての豫想の如き、固より雲を掴むが如きものなれども、由



來民主黨は多く外國と事を構ゆるを悦ばざるものなれば、極東問題に就ても數年來屢々吾人をして憂鬱せしめたるが如き事件は自然減少するに至らん、然れども移民問題或は在留同胞の利權等の如き問題に對しては、民主黨の傳説的政策なる非中央集權主義の實行せらるゝを前提とて、豫想を違ふせば幾分悲觀に傾かざるを得ざる可し。

### 兒童國籍問題

通商貿易盛にして、往來交通各國を通じて頻繁なる今日に於ては、常に人事に複雑なる關係を生ず、國籍抵觸は此複雑なる關係の一なり、各國々際私法學者は此問題を研究せざる未だ解決を得ず、國際的人事は物質文明の進歩と共に多々益々複雑に赴き其解決の際涯あることなし。

在米日本人兒童の國籍問題の論議せらるや久しく、近來在留民の結婚者著しく増加したる爲め、出生兒女の數は六七千を算し、而して之が歸屬すべき國籍の法律上明瞭ならざるもの多く、若し一朝眞想を根本的に暴露せんか、再び排日思想を誘起し、或は無國籍者を生じ、其他此れに關聯する幾多の複雑なる現象を生ず

るに至るべし、故に近來世人は此問題に著しく注意を拂ふこととなり、本年に入りては在米十數種の邦字新聞は特に此問題を論究することとなり、外務省は其意見を發表せざる可からざるに至れり。問題の争點は日米兩國が其國籍法制定に當りて各異れる立法主義を採用し、今日兩國間に何等の特別條約なく、彼れは領土主義なるに我は血統主義を採用したる結果に起れるものにして、若し夫れ之が圓滿なる解決を求めんには、兩國間に特別なる條約の存すること恰も一千八百七十年米國が歐洲諸國と歸化及び國籍に關して締結したる如き條約を必要とす、在米日本人兒童の國籍が如何に矛盾の状態に存するか、左に其現れたる一二の例を示さん。

本年七月布哇カウルに於て、ドクトルドラー氏方に女中奉公を爲し居りたる相原みん子と稱する少女は、主人ドラー氏に伴はれて米本土に來航せんとして政廳に戸籍證明を請ひたるも、政廳に其出生届出の無かりし爲め證明下附不可能となり、依て更に同地の日本總領事館に戸籍證明を請求したりしも、是亦政廳と同じく届出無かりしを以て之を下附せざりき、茲に於て同人は始めて無籍者なること發覺せられたり、然るに此少女は福島縣伊達郡富田村相原常一の女なることを事實

に於て證明したれども遂に國籍を有せざる者の一人となれり、又本年六月廿七日入港の滿州丸にて桑港に渡航したる、新潟縣人吉村爲吉と云ふ十六才の少年は二國籍を有し、未成年なる日本人の理由に依て上陸を拒絶せられたり、其現はれたる事實は、同人は布哇に生れ米國市民權を取得したる者なれども、一旦日本に歸りて渡航するに際し日本政府より海外旅行券を得たるに依り、上陸に際しては一般日本人渡航者取扱規定に依りて取扱はれ、移民收容所に抑留せられたるが、結局中央政府に上告して上陸を許されたり。

前述の事實に類せる舊き先例にして、國際私法學者の引用するものを録せんに、一千八百五十二ヘインリックと稱する埃太利人は紐育に生れたれども、獨乙法系の埃國のことなれば、血統主義を以て彼を埃國臣民と認めたり、然るに米國は領土主義に基き紐育出生の理由に依り米國人として其届出を迫れり、此矛盾の演出されてより早くも二十年の星霜を経、ヘインリックは滿二十才に達し、埃國の兵役義務を負担するに至れり然れども彼は米國市民の理由を以て之を拒みウエーナの米國公使館に訴へて一問題と成れり、依て米國公使は本國政府と種々協議の後、斷然彼を米國市民と認めずとし、次の如き理由を述べて其交渉を拒絶したり。

日米關係史

一 彼は米國に出生したりと雖も、長く埃國太利に居住せるを以て、埃國太利國內に永久的居住の基礎を遺れるものと看做す。  
二 彼は埃國太利政府の發行したる旅行券を所持し、之に埃國太利臣民たることを甘諾するものと看做さるゝ自己の署名をなし、且つ其旅行券を携へ埃國臣民たる資格の下に旅行したる事。

以上の理由に依りて合衆國政府は彼を合衆國市民と認めずと云ふにあり。

右の先例を適用するときは、吉村爲吉なる少年は當然日本人として、若し普通移民ならんには現行條約の適用上渡米の資格無きものなり、然れども吉村は彼のヘインリックの如く重大なる臣民義務の關係に立たざる爲め無陸上陸し得たるは幸なり。所謂二重國籍の前途及び之が解決は頗る重大なる問題にして、其解決方法の如何は將來の在米同胞死活の岐るゝ處なりあれども、文明國人の國籍を論議するは複雑なる問題を惹起して、小冊子たる年鑑記録の盡す能はざる處なれば、茲には只表面の事實と兩國の關係法規の大体を引用する事とし、出生兒の届出に關しては父母の行爲に俟ち出生兒の行爲、能力取得後の方法に就ては解決の餘地を存し置くこと必要なりと言し置かん。

日本現行國籍法に依れば、父が日本人なるときは何れの地に生るゝも其子は日本人にして、戸籍法の適用上



出生の届出を爲さざる可からざるは讀者の知悉る處なるが、國籍を失ふ場合は、男子は原則として日本の國籍を失ふ場合なく、只兵役關係無き者は自己の志望に依り外國の國籍を取得することを得べく、女子は外國人と結婚したる場合には國籍を失ふを原則とす、故に女子に就ては問題なく、殘る處は男子にして、未成年の男子は外國人の養子と成ることを得ず、又滿十七才以上に達したる男子は兵役義務を盡したる者又は之を盡す義務を免せられたる者に非ざれば日本の國籍を失ふことなし、されば一旦戸籍に登録したる日本人の男子は、特別な事情の存せざる限りは日本の國籍を失はず、又失はんとして能はざるなり、嗣て米國の國籍に關する規定を見れば、米國內に出生したる兒女は何人の子と雖も米國人にして、其血統を問はざるを原則とす、殊に從來の米國は土地廣汎に於て人口稀薄なる爲殖民の目的に於て万事播込み主義の方針に出で、米國婦人が外國人と結婚したる場合に於ても尙ほ米國の國籍を失はざりき、之れ妻は夫の國籍に従ふといふ國際私法の通例を無視したる者なれども、米國當時の狀態より斯る法律を制定するの必要ありし者なるべし。然りと雖も今日にては其人口約一億に達し、殊に東洋人は容易に同化せざるものとし、日本人の繁殖を憚は

ざるは一般の情勢なり、此狀態の下に在ては日本人の歸化能力は頗る疑問に於て、十中八九は消極の傾向を有せり、米國は其修正憲法に於て、合衆國裁判管轄内に産れたる者を總て米國人と認められたれども、他面に於ては明らかに合衆國內に出生し、他國の臣民若しくは市民に非らざる者を合衆國市民とす規定し居れり、是れ國籍の抵觸を防がん爲めの規定にして、從來の方針を變更しつゝあるを示せり、即ち日本人の場合に於ても米國にて出生したる日本人の兒女が日本の國籍を取得するときは合衆國市民たる能はざるなり。從來の在米日本人兒女の多くは二重國籍を有せるため其漸く長するに及びては頗る複雑なる國際問題をも惹起すべき危険あるを以て、心ある人々は帝國領事館に迫りて其最良なる解決方法を求めたれども、固に領事は法規の適用を爲すに過ぎず、之を出生兒童に就いて言はゞ、日本人の兒は日本の戸籍吏に届出べきものなれば戸籍吏の職務を執行する領事は當然各人に其届出を迫らざる可からず、然るにシアトル駐劄領事高橋清一氏は外務省へ疑議を問合せたるに次の如き回答來れりと云ふ。

在留邦人中近來多數の出生兒あるも領事館へ届出を爲さざるは整理上不都合に就き是非其從前の通り届出づるやうに注意相成りたり。

斯くの如くして海外に於ける出生兒は、戸籍役場たる領事館へ届出づるの必要ありとして一段落を告げたりとも、日本人も他面に於ては在居住地たる米國法の支配を受けざる可からず、故に都市衛生課の指令に背く能はず、茲に於てか日本兒童の届出を兩國の官廳に爲す者あり、然れどもこれ自ら進んで國籍を抵觸せしむるものと謂はざる可からず。

### マグダレナ灣事件

マグダレナ灣は墨國下カリフォルニア州の西南端に在り、此地は北緯二十四度西經百十二度に位し、米大陸の太平洋沿岸中サンピドロに勝る海軍射撃場として重視せられ、米國政府は久しき間之れが租借を爲して海軍用に供せり、而して本年二月に至り租借の期滿つるに依り、一先墨國政府に還附することとなりたるが巴奈馬運河の開通目前に迫り、太平洋問題も漸く世人の注意を惹かんとする今日なれば再び同地の租借を墨國政府に求めたり、然れども墨國は近年革命黨蜂起して内政外交共に秩序的に行はれず、加ふるに彼の排米黨は近來合衆國が陰に陽に墨國の事に干渉するを憚はず、頻りに排米の理由を遊説するあり、遂に政府をし

日米關係史

て疑心暗鬼の裡に再租借を拒絶するの止むを得ざるに出でしめたり。

此時に當りて我國に墨國調査會なるもの起り、加ふるに各種の漁業會社は南米の水産富源を開拓せんとして専ら其準備をなし、墨國沿岸へも調査に出掛け、太平洋漁業會社の如きはマグダレナ灣租借の事をも計畫せしが如し、然れども是單純なる漁業區域の租借にして軍事に供せんとせし者ならざりし事は明瞭也、今日我國の會社が墨國の沿岸に租借地を有するや否やは疑問なれども、如上の報一度傳へらるゝや、米國政府は周章措くを知らず、問題は合衆國議會に附せられ、駐劄日本大使の辯明となりて一段落を告げられたれども、之れがために二世紀前の主張に係るモンロー主義の出現を視るに至れり。

本年八月二日の議會に於て議員ロッチ氏は所謂ロッチ案なるものを提出し説明して曰く、「本決議案はモンロー主義よりも更に廣く、且つ古き國際法上の原則に據るものなり、則ち各國民はいづれも其國家の獨立安寧を保護する權利と義務とを有するが故に、其國家に接近する場所或は港灣を外國の會社或は國家が所有することに對して之に干渉するは當然なり」と、此時カンミンズ氏は問を發して曰く「本決議案は外國の國家的事



業と個人的事業とを區別せざるは如何」と、ロツヂ氏答へて曰く「個人的事業も其事業に國家が利害關係を有する場合には之を區別する能はず、例へば彼のマグダレナ灣問題の如きは一個人の營利を目的すと雖も、其事業には事實上日本の政府が關係あるものなり」と、爰に於て議員ストーン氏は「若し日本のマグダレナ灣所有が、米國の安危に關するに非ざれば、米國の比律賓占領は日本の安危に關するものに非ざや」と論じ、結局ルート氏の提議にて秘密會議に附することゝしたり、斯くして採決の結果、四に對する五十一の大多數を以てロツヂ案を可決せり、今其決議の内容は之を詳に知るを得ざれども、要するに外國の會社は又は國家が、西半球の地域或は港灣にして、將來海軍又は陸軍の根據地たるに適するものを所有する事は米國の安危に關するが故に、合衆國は須らく此れに干渉すべしと云にあり右決議はモンロー主義の擴張にして、モンロー主義が國際法律に違反するものなる上は、此決議の不當なること論を俟たず、左にモンロー主義の由來と之に關する一二學者の説を引用すべし。

千八百二十四年合衆國大統領モンロー氏は議會に於て次の如き意味の宣告を爲したり。

西班牙及葡萄牙は其殖民地を改善する能はず、此等

の殖民地は從來合衆國と密接なる關係を有するが故に、其變遷に關しては吾人日夜憂慮して止まず、合衆國人民は大西洋の此方に棲息する同胞の自由及び幸福を渴望すること毫も同國民に對するを異ならず（中略）西半球に於ける政治上の變遷は吾人の利害に大なる關係を有す、吾人は歐洲の事に干渉せず故に我國の政策にも亦干渉すること許さず、此故に西半球に向つて其勢力を擴張せんと爲すは則ち吾人の安寧秩序に危害を與ふるものにして、歐洲諸國は合衆國に敵意あるものと看なさざる可からず」と。

モンロー主義の要約したる所は以上の如くにして、合衆國は千八百六十六年、那翁三世の墨國遠征軍に對し又千八百八十年の白蠟、智利の戰爭に關して此主義を強行したる先例あり、然るに近年に至りては布哇を占領し比律賓を奪取せり、布哇及び比群島は共に東洋の諸島なれば、之が併合がモンロー主義に反せること無論也、合衆國が如上の諸島を畧したるは何れの主義に基くものなるや、治者も法規を犯す能はざるに非ずやマルテンス博士曰く、「歐洲の國際法は又併せて合衆國にも行はるべきものなり、歐洲強國は米國に領地又は殖民地を有するものなれば爰ぞ米國より歐洲諸國を除外することを得んや、モンロー主義は合衆國が極端

なる干渉を實行せんとする國際法違反の主義なり」と、ローレンス博士は曰く、「モンロー主義の原則は合衆國の行政主張する一個大の意志にして、個人の意志は決して法律の力を有するものに非ず、故に此主義が開明國に向て國際法上の抱束力を與ふべき理由あるなし」と、是を要するにモンロー主義は協約に非ずして、行政主張の意志なり、而も此主義は米國の新帝國主義に據りて己に消滅せるにあらずや、効力の消滅せる宣言に對して其擴張を圖るは死者に醫藥を與ふること一般なり、吾人は合衆國が國際法を了解し得る者なるや否やを疑ふ。

### 日本移民報告

左に録するは屢に公表されたる米國移民總監キートン氏の一千九百十一年度（一千九百十年七月一日より同十一年六月三十日に至る）報告中日本人に關するものなり。

日本移民問題を論せんと欲せば、先づ移民法第一章の末項及び、千九百九年三月十四日の大統領の布告、並に移民取締規則第廿一條に規定せる、熟練又は不熟練なる日本人と朝鮮人の定義の助を借らざる可からず、右法律並に大統領の布告が相次いで發表せられたる

日光關係史

後、米國は日本政府と交渉せる結果、日本政府は米國本土に赴く者に對しては、再渡航者又は呼寄せの親若くは妻子或は當國に於て既に利害關係を有し、之に對し直接監理の任に當らん事を欲する者に對してのみ旅券を下附せん事を聲明するに至れり、故に日本人労働者にして渡米旅券を下附さるゝ資格を有する者は再渡航者、呼寄せの親若くは妻子及び定住職業者の三階級のみなり、布哇に關しては日本政府は再渡航者、又は呼寄せの親若くは妻子のみに限らる可き事を述べたり、而して同時に日本政府は加奈太墨西行労働者の渡航に對しても注意深き監督を爲したり。

日本人渡航者の數が千九百十年度に於てよりも本年度に於て増加したるは著しき現象なり、然れ共日本政府との約束出來たる最初の年、則ち千九百八年度に比較すれば甚だ少きは事實なり、則ち同年度の日本人入國者は九千五百四十四人、布哇八千六百九十四人、入國を拒絶されたるは米國本土六百四十三人、布哇六十八人なり、而して千九百十年度には米國二千五百九十八人、布哇千五百二十七人、入國拒絶されたるは前者八十九人、後者三十四人なり、本年度則ち千九百十一年度に於ては渡航者前年に比して増加し、米國本土に四千二百八十二人、布哇に二千五百五十九人、入國拒絶前者四十



職業	▲千九百十一年度		▲千九百十一年度	
	米國	布哇	米國	布哇
農園労働者	二六〇	六二二	一、〇六九	一、三八四
庭園師	五	五	一	一
労働者	一六五	一、一五九	三六	一一二
傭人	九〇	一一二	一三三	六
不明	二五	六三	三〇	二九
以上労働者	七〇五	二、二〇七	一、二九二	一、五四五
合計	二、五九八	五、〇二四	一、五二七	二、三五五
併	一六	一三	一	三
僧侶	二〇	二四	二六	一五
官吏	五一	五六	二二	八
教師	五六	四一	一一	八
其他	一〇一	一五一	八一	一〇
事務員	八七	六六	八	一三
農家	三八八	六六九	四	三五四
商人	三〇四	五六四	五五	一〇七
料理店及び ホテ、持主	五	一四五	二	一
學生	一	一	二	一
無職業婦人 小兒を含む	二、四〇〇	一、一八八	二七	三三三
不明	七五	二二	三	三
以上非労働者	三、五五〇	二、九三八	四一九	八七五
合計	六、一四八	八、〇六二	二、〇四六	四、二三〇
大工	二二	二四	二	五
理髪人	一九	三五	七	八

日米關係史

六人後者三十四人たり、故に千九百十一年に於ける米國本土及び布哇入國の日本人は千九百八年度に比すれば、其の四割五分及び四割一分方増加したる譯なり。千九百十一年度の入國者は、前年度に比し稍々増加したるは事實なるも、之を歸國者の數に比すれば在米日本人數は年々減少しつつあり、即ち千九百十年度に於て米國本土に入國したる日本人は二千五百九十八人に歸國したる者は五千二十四人なれば、差引二千四百二十六人を減じ、布哇は千五百二十七人の入國者に對し、歸國者二千三百五十五人ありたれば之亦八百二十八人の減少なり、千九百十一年度に於ては其割合少くなりたるも出入を差引すれば減少せるは依然として變らず、即ち米國本土は四千二百八十二人の入國者に對し歸國者五千八百六十九人なれば、差引千五百八十五人の減少、布哇は二千五百五十九人の入國者に對して二千四百六十四人の歸國者なれば差引三百五十五人の減少なり、要するに米國本土及び布哇在留の日本人は千九百十年度に三千二百五十四人を減じ、千九百十一年度に千八百九十二人を減じたるなり。

職業	▲千九百十一年度		▲千九百十一年度	
	米國	布哇	米國	布哇
農園労働者	二八	一四	一五	一
庭園師	二	一	一	一
労働者	二八	一八	一五	一
傭人	二四	一六	一	一
不明	一六二	八三	一一	一
以上労働者	一〇九	四二	二二	一
合計	一、八九三	二、八一七	二三五	八二〇
併	九	一八	一	二
大工	七	一七	一	三
理髪人	八	一一	一	一
裁縫師	五九	四九	二	一
その他職人	七	一六	一	一

度に於ては米國本土入國者四千二百八十二人歸國者五千八百六十九人、布哇入國者二千五百五十九人、同歸國者二千四百六十四人ありたるが之を職業に依りて類別すれば左の如し。

### 寫眞結婚と十二指腸蟲

抑々十二指腸虫問題の始めて太平洋沿岸に唱へられたるは、加州を中心とする亞細亞人排斥會の唱導に基因する處にして、今より約二ヶ年前桑港に於て開かれたる同會の集會に於て前一ヶ年間に日本人の米國に渡來せる者、僅かに三千七百名に對し歸國せるもの約七千名、斯く米國在住日本人數の減少したるは、畢竟我が排斥會が活動の結果と見ざるべからずと宣言せしが、當時印度人の入國者頗る増加し、彼等排他的團體は茲に其方針を轉じて印度人を排斥するに至りたり、則ち曰く斯の如く多大の印度人入國を見るに至りたれば、今日之を排斥せざれば、遂には日本人をして再び從前



の如く雪崩の如くに渡米するが如き機会を興ふべし、  
 如かず、印度人を排斥し、併せて亞細亞人排斥の根底  
 を固ふせざるべからずと、再昨年十一月之が報告をな  
 すと共に印度人及び、支那人が特有とする十二腸蟲は  
 恐るべき傳染病にして、若此腸蟲病の白人に感染した  
 らむには其禍害圓るべからず、須らく極力未前に防歴  
 せざるべからずと、頗る不穩の檄文を配附したる事あ  
 り、之より先き大西洋沿岸に於ては勾虫(フック、ウ  
 オーム)を歐洲移民中に發見したることありと傳へら  
 れたるも、開が果して米國移民規則に規定せる、危険  
 性傳染病に該當するものなりやは未だ判明せず、従つ  
 て其検査の如きは殆んど皆無とも見るべく、米國人は  
 姑くたき、吾人同胞に於ても醫學の素養なき普通人は  
 勾虫の名さへ知らざるほどなりき。  
 由來我同胞の入國を喜ばる加州に於ける排日の空氣は  
 勾虫が移民規則に定めたる條項に該當するや否やも究  
 ばめずとて、印度人支那人等と共に日本人をも均しく  
 抱括去、移民検査の取扱手續中に勾虫検査の一項を加  
 へ、再昨年以來之を桑港移民局に於て施行したり、千  
 九百十二年六月十五日發行、米國醫學協會雜誌に掲載  
 したる、加州エンゼル島の検査官醫學士エム、ダブリ  
 ュー、グロバート氏が、東洋移民と十二指腸虫と題し

て掲載したる大要に曰く  
 米國移民取扱規則中米國検査官及び海軍病院に於て  
 検査する外國移民は、危険性傳染病及公共の治安を  
 害し、公衆の扶助を受くべき病症の者也、最近東洋  
 移民の十二指虫を以て危険性傳染病と認め、桑港に  
 て検査を開始しエンゼル島に於て總ての移民に施し  
 たるが、千九百十年九月二十三日より翌十一年十一  
 月三十日迄に受驗せしめたる移民数は二千二百九十  
 五人に達したるに、内一千七十七人は顯微鏡検査の  
 結果十二指腸虫(フックウオーム)の卵を發見したり。  
 右の検査は未だ公然にはあらずして殆んど試験的に  
 施したるに過ぎず、千九百十年十一月廿八日以後は  
 正式に其統計を作りたれども、其以前に屬する者は  
 之を失したり、而して九月二十三日より十一月廿八  
 日迄の受驗者の大部分は東印度人にして、其六割三  
 分は十二指腸虫卵を發見したるを以て、總ての東洋  
 人に検査を勵行すべき事となれり、此等の東印度人  
 (ヒンズー)はパンジャブ及びホーレー邊より來米し  
 たる最も下級の勞働者にして、支那人及び日本人の  
 下級勞働者と異らず、彼等が平生の生活状態及び食  
 料は殆んど相似たるものなるを以て、即ち同一の檢  
 査を施行することとなりたるなり、而して此檢便法

は移民の糞便を檢便器に移し、之を攪拌して殆んど  
 無色となる至り、硝子板を用ひて直接顯微鏡にて檢  
 査することゝなせり。  
 爰に參考とすべきは十一人の白人と六人の白婦人を  
 検査したる事あり、此内十五人はメキシコより、一  
 人は中央米國、一人はロシアより來りたるものなり  
 しが、墨西哥より來りたる男女二名にのみ該虫を發  
 見したり、若夫れ支那人に至りては入國禁止令の爲  
 に再渡航者又は支那人の子孫のみ往來せるものと知  
 るべし。

今一ヶ年の統計を見るに圓形虫、圓形及鞭形、鞭形  
 圓形勾虫、鞭形勾虫、圓形條勾虫、圓形鞭條勾虫、勾  
 虫、勾虫卵各部を通じて日本婦人は七百七人中四百  
 一人の患者を出し、日本男子は九十八人中五十人を出  
 し支那婦人は三十人中六名、支那男子は千二人中三  
 百九十人を出し、東印度人男子四十六人中二十九人  
 同女子は六人中四人を出したり、則ち日本婦人は四  
 割六分強、同男子は五割五分強、支那男子三割八分  
 強、同女子は二割、東印度人男子六割三分、同女子  
 六割六分の割合なり。  
 以上の統計に依れば日本人は東印度人に續きて多數  
 患者あり、福岡、熊本、廣島、鳥取等の婦人に多く

且又一般に寫眞結婚と稱する者に多きを見る、又南  
 洋タヒチ島に送りたる五十二名の日本勞働者を試験  
 したるに、四十八名の患者則ち九割二分強の多數を  
 發見したり、蓋し道は合衆國に入國するものにあら  
 ざれば右の統計には控除せられたり云々。

爰に最も奇怪なりしは、此勾虫検査は單に桑港に於て  
 のみ行はれ、同じく太平洋沿岸北部の東洋關門たる、  
 沙港及タコマ等に於ては之を行はざりし一事實なり、  
 南北一千哩を隔つも、等しく米國商工務省の管轄に屬  
 し、移民規則の施行者たる移民官憲が、同じ沿岸に於  
 て同じ東洋人に對し、其取扱検査手續きを異にするは  
 頗る奇なる現象といふべし、詮する所、桑港に於ては  
 亞細亞人排斥會等と脈絡を通ずる一派の排日黨が種々  
 なる策を廻らして、遂に斯る忌むべき間接排斥法を施  
 行せしめたるものに非らざるか。  
 排日黨のことは姑くたき、十二腸蟲検査が單に桑港に  
 於てのみ行はれ、沙港及タコマに於ては之等の検査な  
 きのみならず、其他普通取扱法に於ても、最も寛容を  
 極はめたるを以て、南方沿岸に在留する同胞が日米間  
 の往來、或は寫眞結婚其他の呼寄せ婦人など、千數  
 百哩を隔つるにも拘らず、多くは北方線を執りて來往  
 するに至りたり、當時吾人思へらく北方沿岸に於ては



由來加州とは正及對に、一般白人が日本人に對して好意を有し、併せて米國官憲も亦吾人に對して好意の待遇をなす、現に移民検査法の如きも之を南方に比すれば管に背壤の差のみに非らず、這は之れ單に西北部同胞の利益のみに非ずして、在米同胞全班の便宜なり、冀くは北方線の寛容なる待遇をして永久に持續せざめんことをぞ。

而も吾人が衷心の希望は盡餅に屬して、桑港より運るゝこと約一ヶ年、北方線に於ても昨千九百十年十一月の頃より、桑港の如く十二指腸蟲の検査を開始せられたり、雖然、尙且之を南方に比すれば甚だ簡易を極はめたる検査にして、多數船客中其容貌の著しく憔悴し一見不健康者と認定したる者のみに對し、檢便法を行ひたれば、北方線に於ける同患者及び嫌疑者は甚だしき少數にして、時には毎船一人の嫌疑者をも出さざりしこと尠ならず。

且それ惡疾眼病トヲホウ患者は、從來の規定に基きて供托金を以て假上陸を許可し、規定の日時中療養を加へ、平癒せざる時に於て之を送還するも、十二指腸蟲患者に至りては決して送還することなし、移民局抑留所内に於て療養を加へしめ、平癒に至りて之が上陸を許すの規定なりしを以て、渡米者及び之が運輸に

從事する汽船會社は、十二指腸蟲の病患に對しては、殆んど風馬耳の態度を取り、何等注意を拂ふ處あらざりき。

然るに本年九月に至り、ビニューゼット、サウインド移民委員長デ、ブルラー氏は、中央商工務省の命令として來る十一月一日以後、寫眞結婚の婦人にして十二指腸蟲患者は、總て移民局内に於て療養することを許さず即時送還し該患者を輸送し來りたる汽船會社には、一人に於て百弗宛の罰金を科する旨一般關係當事者に通知し來りたり、これ實に青天の霹靂とも云ふべく、從來決して送還せらるゝ事なかりし同患者は、十一月以後送還せらるゝの運命に至りたり、而して普通日本に於て結婚したる（リーガルマリエージ）の渡航者は一人二百五十弗の保證金と、約百五十弗の病院費を移民局に供托せば、假上陸を許して適宜の病院に於て治療し、全治の上は上陸を許可せらるゝも、寫眞結婚（ブロクシーマリエージ）の者は絶体に送還すと規定せられたれば、寫眞結婚者には一大恐慌を來したるものと云ふべし。

されば日本に於ても此通知に接すると共に、各汽船會社に於ては渡航船客に對して、囑托醫師を以て養便の検査をなさしめ、該患者は渡航せしめず、健康と認

むる者のみを渡航せしめたるが其結果果して如何。

十一月一日大阪商船會社汽船タコマ丸は、新規定施行後第一着タコマに入港したり、吾人は最も深き注意を拂ひて其結果を凝視したるが、不幸にして遂に二名の同患者を出し、又其四日桑港に入港したる東洋汽船會社地洋丸は十三名を出し、續いて沙港に入れる阿波丸は十一名の該患者を出し、爾後の各汽船一として該患者を乗せざるものなし、移民局に於ては中央政府に電致して、此患者中寫眞結婚に屬する者は盡く送還するに決し、船會社には各々百弗宛の罰金を科したり。

爰に於てか桑港總領事及び沙港領事は、珍田大使に電請して、商工務省に對して何等か寛典の交渉を請ひたれば、大使は商工務卿不在中なりしを以て、同次官に交渉の結果、新令施行を千九百十三年一月一日以後迄延期し、其期間迄は從來の如く移民局に於て治療せしむることなし、商工務省より之を各地移民局に打電し、辛うじて送還を免かれたるも、大正二年一月一日以後は、此新規定に服従せざるべからざる運命と決したり。

抑々此規定に對して本邦汽船會社が、最も嚴重に検査して決して該病患者を搭載せざと聲明せるにも拘らず斯く各航路に於て該患者の發見せられたるに就て、其

日米貿易概観

原因として認むべきは、前記グロウヴァー醫師の報告に在る如き検査法を採らずして、最も簡易なる方法を用ひたるが爲め、遂に米國に於て斯く多數患者を出したるものなるを以て、大正二年一月一日以後各港に於ける渡航者には、米國と同様の検査をなし該法規に觸るゝが如き事を再演する勿らんことを懇望して止まず。

### 日米貿易概観

一 日米貿易の現狀

日米兩國の貿易は大体に於て發達を遂げつゝありと云ふを得べし、今最近十一ヶ年間に於ける兩國の輸出入額を掲ぐれば左の如し

年 度	米國への輸入	米國よりの輸出
一九〇一年	二九,二九五,五三三	一四,〇〇〇,六四〇
一九〇二年	三七,五三三,七七八	二二,四八五,八八三
一九〇三年	四四,一四三,七二八	二〇,九三三,九九二
一九〇四年	四六,五三七,四七八	二四,九八〇,四二一
一九〇五年	五一,八二一,六二九	五一,七一九,六八三
一九〇六年	五三,五五一,五二〇	三八,四六四,九五二
一九〇七年	六八,九二〇,五九四	三八,七七〇,〇七
一九〇八年	六八,一七五,五五五	四一,四三三,三二七



九圓に達し、之を前年に比すれば二千六百九十五万一千七百四十三圓の増額なり

更に輸出額を見るに四十四年に於ける我が外輸出額は四億四千七百四十三万三千八百八十八圓にして、前年に比し一千九十九万五千八百八圓の減少を示せり、而して四十四年中合衆國に輸出したる總額は一億四千七百七十二万五千六百四十二圓に達し、前年に對比すれば二百三十五万三千三百九十三圓の増額なり

Table with 4 columns: Year, Japan's Import Total, US Import Total, and Percentage Ratio. Rows include years from 1905 to 1911 and a 'Yearly' section.

日本貿易概観

日本品の米國に輸入せらるる、狀勢が年々進歩の道程にあるは前表によりて明かなる處なり、而して其重要品として數ふべきものは、先づ生絲、絹物、茶、花菱、銅類及陶器等とべく、此等の輸入品は年に依りて多少の増減ありと雖も、既に固定的信用の扶殖せらるるものあるを以て差したる盛衰あるにあらず、然れども米國に輸入せらるる、幾多の日本品を歐洲諸國の製品と比較するに於ては、我が輸出品は尙ほ多くの缺點あるを免れず、其品質の粗惡にして堅牢ならざるは其一なり、意匠の千偏一律にして變化なきは其二なり、彼の眞鍮製品類と云ひ、陶器類と云ひ、之を獨逸、佛蘭西、英國等の諸製品に比較すれば日本は三舍を避けざるべからざるもの多し、之れ我が工業家并に一般輸出業者の特に注意を拂はざるべからざる所なり、故に大工場、の専門技師等が親しく米國各地を巡遊視察し、白人社會の嗜好及日本製品と各國製品との比較研究を遂げ、其如何なる點に改良を加ふべきか、如何なる製品を以てせば、人社會の嗜好に投すべきか、如何なる製品を以てせば、能く歐洲諸國の製品と相競争し相拮抗し得べきかを考究するは専ら當面の急務と謂ふべきなり

右の表に依りて見るに、一千九百九年以來米國品の日本輸入額に減退の傾向あるは、是れ日露戰役後に於て我が日本の産業界の著しき勃興に基くの結果なるべきも、兩國間に於ける輸出入關係が余りに不平均にして懸隔の甚だしきは聊か面目からぬ現象と云はざるべからず

二 合衆國の海外貿易上に於ける日米貿易の地位

合衆國の海外貿易は極めて急速に發達し、殊に最近十年間に於て輸出入共に殆んど倍加の盛況を呈せり、今合衆國の海外貿易上に於ける日米貿易の位置を示さんため過去七ヶ年間の合衆國輸入總額と、日本よりの輸入額とを比較すれば左の如し

Table with 4 columns: Year, US Import Total, Japan's Import Total, and Percentage Ratio. Rows include years from 1905 to 1911.

三 日本品の海外貿易に於ける日米貿易の地位

即ち合衆國の海外貿易上に於ける日米貿易の地位は急速に進歩したりと雖も、全体より觀れば少ほ幼稚なるを免れず、唯聊か吾人の意を強うするに足るは、日本よりの輸入率に、常に日本への輸出率に超過すること是れなり、要するに日本は今後と雖も依然として日米貿易に於て賣込側に在るべきなり

明治四十四年に於ける日本の海外輸入總額は五億一千三百八十万五千七百五圓にして、前年に比し四千九百五十七万一千八百九十七圓の増額を示せり、而して四十四年中合衆國よりの輸入總額は八千二百二十五万九百



るものは、我が製品に確定的の價格なき事是れなり、今や東洋貿易は合衆國の最も重視する處にして、米國商人の日本貨物を輸入し、又は今後輸入せんと企圖する者尠からず、此時に當り我が製造及貿易業者が能く正直の價格を以て永遠の取引信用を築くは、日本工業の進歩の上に於て最も緊要の事たらざるを得ず、然るに日本製品は價格一定せざるが故に意を安んじて取引を爲す能はざるのみならず、同一工場に於て製出されたる同一製品に於てすら、甲には百圓の價を以て取引し、乙には九十圓、丙には八十圓にて取引さるゝ事決して珍らしからずとは米國商人の口にせる處なり、實に客足の如何を見て價格を二三にするは我が商業道德上の一大缺點たると共に我が對外貿易の伸張せざる一大原因ならずんばならず、翻て歐米製造業者の取引を見るに、特種の原因の爲に時に價格の高低を來したる場合の外、其客筋によりて價格を二三にするが如き悪弊は殆んど之れあることなし、取引貨物の多寡によりて割引率に等差あれども、買手の如何によりて價格に高低あることなし、従つて其信用程度は到底我が製造業者の夫れと同一の比にあらず、加之ならず我が製造業者が價格を二三にするの弊習より生ずる第二の害と見るべきは粗製濫造の弊に陥ること即ち弊之れなり、

相當の利益を收め正直の取引を持続せば、永遠に損失を蒙ることあらざるに、客筋に依りて價格を高低するの結果、買手側に於ては自然値切るの習慣を生じ、終には之れがために粗製濫造を敢てするに至り、從來百圓にて取引したるものを八十圓乃至七十圓にて取引し延て單に價格の上に於てのみの不信用に止まらず更に品質上の不信用を招きつゝあるは、これ實に我が貿易上の一大缺點にして、我が實業家の特に心せざるべからざる處なり

今左に業衆國に輸入さるゝ主なる日本品と其價格を表すべし

種別	四十三年	四十四年
生絲	九三、三六〇、三七	八八、八八、七五七
羽二重	二、〇九〇、六五九	二、五三七、九一六
花	三、九一七、六九三	三、七九四、四二八
陶磁器	三、二七二、一七九	二、九六四、五五六
テールクロス	二、七八二、〇七三	二、七三六、七六七
眞田	八〇八、三九〇	一、二六六、四四二
布帛製品	一、三三三、三二一	一、七二七、九七〇
米	一、六三三、三三二	一、四二八、七六九
	九、九五五、五二	一、〇五三、七三二

以上の露出品中二三の重要なものに就き更らに説明を試むべし

日米貿易概観

▲生絲 生絲は我が輸出品中第一位の物品にして、米國の輸入總額の大半を占むること例年異なる處なし、四十四年中の本品米國輸出總高は前年に比して二百四十八万七千二百八十圓の減少なれど、本品の米國輸出は今後と雖も益々好景氣を呈す可ものと見て可なるべし、されども佛國、伊太利、支那、印度等の諸國は大に本品の生産に努めつゝあれば、我が獨占事業として前途を樂觀することなく、之れが改良進歩は一日も緩にすべからざるなり、今過去六ヶ年間に於ける米國の本品輸入總額と我が國よりの輸入額とを對比れば如左

年次	米國の輸入總額	日本よりの輸入額	百分比
一九〇六年	五二、八五五、六二四	二七、九三四、三三三	五二、八五
一九〇七年	七〇、二九五、一八	四〇、〇二七、四六三	五六、九九
一九〇八年	三六、六六五、五三四	四〇、六七八、五七二	六三、八九
一九〇九年	七九、九〇三、五八六	四四、六八九、八二二	五五、九二
一九一〇年	六七、二五、一七七	四六、二三八、〇一九	六八、八二
一九一一年	七四、九二四、〇〇四	四四、九四四、三七九	六〇、〇五

更に過去四ヶ年間に於ける日本の生絲總輸出額と米國への輸出額とを對表すれば左の如し

年次	日本の輸出總額	米國への輸出額	百分比
一九〇八年	一〇八、六〇九、九五二	八二、五四一、五五一	七五、五九
一九〇九年	一二四、二四三、二九九	八六、五三七、八二二	六九、七三
一九一〇年	一三〇、八三三、九四〇	九二、二七六、〇三七	七〇、五

一九一一年 一九〇〇、二二〇 八九、八八、七五七 六四、六六

如上の表によりて如何に米國が我が生絲の大需用國たるかを知るを得べし

▲絹物類 絹服地類、并に各種刺繡類等精製加工の絹物類に在ては、生絲輸出の優勢なるに引替へ歐洲諸國に對して大に遜色あり、只絹服地即ち羽二重に至ては佛國に次で我が國其二位を占むると雖も、絹服并に刺繡類の加工製品に至りては第四位以下にあり、此等製品の原料品たる生絲輸出に於ては、我國が第一位を占むるに拘らず、精巧品輸出の割合少きは、我が工業界の幼稚を示すものにして更に一層奮起を要する處なり

▲製茶 我が製茶の米國輸入は一千九百九九年に至りて四百万弗臺より五百万臺に増加し、一千九百十年には更に六百万弗臺に増加し米國製茶貿易の第一位を占め居れるが昨年五月以降、米國政府は其純良食物法によりて、絶対に看色茶の輸入を禁止したるため、我が製茶輸出高の減少を示せるも前途必ずしも悲觀を要せざるべし、只近年印度茶及支那茶が漸く米國に勢力を扶殖するに至りたれば、能他の侵入蠶食を防衛して、我が製茶の勢力範圍を維持し且之を擴張せんと欲せば、今少しく廣告に意を用ひざるべからざるは大方意見の一致する處なり、今過去四ヶ年に於ける米國の製茶輸



入總額と我が國よりの輸入額とを表示すれば如左

年次	米國の輸入總額	日本より輸入額	百分比例
一九〇八年	一六、三〇九、八七〇	四、八五三、九七九	三〇、三二
一九〇九年	一八、五三二、六七六	五、八一七、八九一	三三、二八
一九一〇年	一三、六七一、九四六	六、四五九、四九四	四九、六一
一九一一年	一七、六二三、五六九	六、二六八、九五八	三五、六一

更に過去四ヶ年間に於ける我が製茶の輸出總額と米國への輸出額とを對比すれば左の如し

年次	輸出總額	米國への輸出額	百分比例
一九〇八年	一、〇八九、八四八	九、七〇七、九五九	八八、一八
一九〇九年	一、三〇八、一七三	一、二六五、七八二	八九、四六
一九一〇年	一、四四六、五八八	一、二九八、八九九	九二、二
一九一一年	一、四三九、二六〇	一、二五七、九二六	八七、六七

▲花蕊 花蕊も亦我が輸出品中の重要なものに屬す本品は我が國及支那の重要産品にして、米國市場に於ては販路殆んど固定して差したる盛衰消長もなかりしが、一千九百九年以來大に需用額を減じつゝあり、其原因は米國に於ける野草薙并に紙製薙の製法漸次巧妙となり一般に其需用の増加したるのみならず、此二品は我花蕊に比して耐久力に富めるを以て我が花蕊の勢力範圍を侵蝕しつゝあるは疑を容れざる處なり、加ふるに白人社會に於ける敷物に對する好尚は漸次全床張詰式より轉じて敷物据置式に變化しつゝあるに、我が

製造家が價格の低廉を期するの餘り、粗製濫工を敢てするがために一般の顧客は使用後我花蕊の糟惡にして耐久力なきを感じ居れり、且つ又我が花蕊は見本よりも劣等なるもの輸出せらるゝため之れが取引上の信用を害するは最も遺憾とすべき所なり、我が當路者も大に顧慮する處ありて之れが輸出検査規則を改正し、不合格品は一切輸出は許さざる事となりたれば、今後は自然粗製品の輸出なきに至るべし、從て本品の輸出上多少新面目を開くやる知るべからず、要するに從來の如き品質のもの、輸出を繼續して之が改良進歩を閉却するに於ては到底將來の衰頹を免れざるべし、宜しく堅實の品質と新趣向新意匠の製品を以て我が花蕊の長所を發揮するに力めざるべからず

▲陶磁器 明治四十四年中我が陶磁器の米國に輸出されたる總額は二百七十三万六千七百六十六圓にして、前年よりも少きこと四万五千三百六圓なり、我が製品は一方米國に輸入さるゝ獨逸其他の製品が極めて頑丈にして無慮に取扱ふも容易に破損の虞なく、意匠亦大に變化に富み需用者の眼を惹くものあるに反し、品質脆弱にして破損し易きのみならず、意匠の變化に於ても頗る劣る所あるがため、斯くも不振の状態に陥りつゝあるなり、是れ我が製造者が注意すべきの點と謂

ふべし、既往四ヶ年間に於ける米國の本品輸入總額と我が國よりの輸入額とを對照すれば左の如し

年次	米國の輸入總額	日本よりの輸入額	百分比例
一九〇八年	一三、四二七、九六九	一、三二七、七〇三	一〇、二五
一九〇九年	九、八〇九、〇二八	一、四四八、六三六	一六、〇〇
一九一〇年	一、二〇二、二二六	一、三九一、〇三六	一六、六三
一九一一年	一、四四一、六六五	一、三六八、三八三	二二、〇〇

更に我が輸出總額と米國への輸出額とを表示すれば左の如し

年次	日本の輸出總額	米國への輸出額	百分比例
一九〇八年	五〇、七八、三三三	二、六五五、四〇五	五、三〇〇
一九〇九年	五三、五七、八三三	二、八九七、二七三	五、七、八〇
一九一〇年	五五、一三、九三三	二、七八二、〇七三	五、五、六〇
一九一一年	七、七四四、六三三	二、七三六、七六七	三五、五三

五 日本の重要輸入品

既に記述したるが如く米國の日本に對する貿易は、尙ほ甚だ幼稚の状態にあり、抑米國商品の日本に輸入せらるゝ額の甚だ少きは、畢竟米國作品が日本人の嗜好及趣味に投せざるに依れり、新開の大陸にして人口増加力の最も強き米國は其國內の需用頗る盛にして、未だ英獨等の如く他國の趣味を研究して之れに適するの製品を出すに至らざるなり、其日本に對する貿易の如き、國內の需用品と同一なる商品を以て日本の市場に

日米貿易概観

向はんとするが故に、英獨の商品に及ばざること固より明かなり、殊に裝飾品及化學品の如き趣向の關係あると同時に、勢銀亦廉ならざるを以て、米國製品の多くは日本市場に於て、英獨商品と競争するの餘地を有せず、之れ日本に對する米國輸出貿易の振はざる所以なり、今左に日本に輸入せらるゝ主なる米國品と其價格を表示すべし

種別	四十三年	四十四年
棉花	一七、三九、二一八	二九、二五、八五八
小麦	一、四九、八五九	三、四四、八、二六一
小麥粉	一、六二、三〇七	一、六二、五、八三三
コン、アン、ドミルク	一、四七、四、八五九	一、九一、六、九〇
石	九、九五、四、六〇五	九、〇〇、八、一三
靴底革	一、〇四、七、四九四	一、四九、九、九〇八
燐石	八、八、〇、六八	二、〇七、七、二七八
鐵釘	一、五九、〇、八九	一、六八、〇、七二四
建築材、橋梁材	三三、三、三〇〇	一、二八、一、五五六
電線支柱類		

等なるが、以上の輸入品中二三に就き更に説明を加ふべし

▲棉花 本品は日本の生糸に於るが如く米國の日本に對する貿易品の第一位を占め居れり、我國への棉花最大供給國は印度なりと雖も、米國棉花亦擴張の餘地な



きにあらず、最近我國紡績業の發達は清國沿岸に於ける綿糸販賣區域を擴張し、從來印度綿の勢力範圍なりしもの、漸く我國に奪はるゝの傾向を來したり、抑印度産の棉花は其品質に於て米國産に及ぶべくも非ず、只價格の低廉なるがために我國に需用多き次第なるが巴奈馬運河開通の曉には、テキサス地方の棉花はニユーオーリアンス方面に蒐集せられ、運河を経て直ちに東洋に送られ、現在よりも運賃遙に低廉となりて輸出の増加を促すべし、元來日本は氣候風土の關係上到底本品の栽培に適せざるを以て、本品の供給を外國に仰ふがざるべからざる上に、近年紡績業の勃興と共に、清國への綿布輸出大に増進し、原料の需用は益々多きを加へたり、されば米國棉花の本邦輸出は前途大に有望なるものと謂ふべし

▲麥粉と小麥 米國製麥粉の我國に輸入さるゝ額は、毎年の高著しく一定せざるも寧ろ不振の傾向を呈せるの觀あり、こは日露戰役後我が國に製粉會社の創設せられて、其製出高の増加したるに北滿洲哈爾濱にも大規模の製粉會社起り、其製出に係る麥粉が浦鹽港を經由して、我が國に供給せらるゝ等の結果なるべし、兎に角目下の状態にて推移し行かんには、米國麥粉の日本輸出は今後或は不振に陥るに至るべし、然れども

其原料たる小麥の輸入は却つて其額を高めんか、我が國産の小麥は粘力強きため、之を粉にして餛飩及糊等の製造に用ゆるに適せるも、製菓の如き膨脹を要するものには絶対に不適當なりと云へば、此等の用途に充てんがために日本は其原料として最も好適なる米國産小麥の供給を仰がざるべからず、従つて本品の日本に輸入さるゝ額は今後増加するものと見て可なるべし

▲機械類の輸入 米國に於ける各種機械類の發明製造の進歩は實に驚嘆を禁ずべからざるものあり、思ふに人智の進歩と原料たる鐵類産出の富沃にして、且つ其價格の低廉なるとは米國をして今日の如き機械力の發展をなさしめたるものなるべし、而して米國の機械力發展は今後年と共に更に驚天動地的なるべければ、我が日本は此點に於ては到作近き將來に米國と比肩することを得ざるべし、過去三ヶ年間の統計の示す處によれば、汽關車、電氣機械、鐵道軌條及其他の諸機械の毎年米國より日本に輸出せらるゝもの約一百万圓の多額に上り、是れ日露戰役後日本各地に於て電氣其他の機械事業勃興したるの結果として、斯く多數の輸入を見たるものならんも、今後尚本品の日本に輸出せらるゝ額は依然として増加の一方なるべし、是れ我が國が工業國として發展進歩するに従ひ、新奇の機械

を要する自然の數なるべければなり、而して更に此等主要輸入品價格を我が總輸入額に對比すれば左の如し

種 別	輸入總額	米國よりの輸入額	百分比
棉 花	一四、五五五、二四	二九、五八、九五八	二〇・七
小 麥	三、七七八、八二九	三、四四八、三六一	九一・八
小 麥 粉	一、七〇二、九六一	一、六二五、八三三	九五・五八
石 油	一三〇、六五、三八〇	九〇、〇、八二三	六九・三〇
靴 底 革	一、五〇一、九九四	一、四九九、九〇八	九九・九三
鐵 釘	二、三六四、四五二	一、六八〇、七二四	七一・〇〇
建築材、橋梁材、電線支柱類	二、二九五、五〇六	一、一三八、二五六	五二・一

六 沙 港 と 日 米 貿 易

米國太平洋沿岸の貿易は、近年内外人の大に着目する所となりたれども、海外輸出入の現勢は未だ以て優良の位置にありと云ふことを得ず、米國の貿易中心は依然として大西洋沿岸に存するを見る、されども太平洋沿岸も亦年を追ふて急速の進歩を遂げつゝあれば、其將來の發展亦大に見るべきものあるべきは蓋し疑を容るゝの餘地なきものとす、而して太平洋沿岸各港中重要な位置を占むるはシアトル、タコマ及桑港にして、其貿易關係諸國中第一位にあるは我が日本なり、一千九百十一年度に於ける當ビニューゼット、サウンドに面せる諸港、即ちシアトル、タコマの二港を始め、外十

貿易概観

七港の我が日本に對する貿易關係を見るに、輸出總額は四千八百六十二万九千九百三十六弗に於て、前年よりも多きこと實に四千二百三十七万六千六百九十九弗なり而して輸入總額は三千五百八十六万三千六百三十六弗にして、前年よりも一千三百三十五万七千七百六十四弗の増加を示せり、今當海關區の主なる貿易國と其輸出入額を表示すれば左の如し

國 名	輸 出	輸 入
加 奈 太	一、七三〇、六四二	四、二五二、二五一
比 島	一、七三〇、六四二	一、六七一、九九四
日 本	二、八二四、四六五	二、五二八、三〇四
支 那	二、二七五、一〇四	九三、八四二〇
英 領 印 度	三、三六九、七五四	八、四四一、一七九
香 港	一、二六七、二三六	即ち日本は輸出に於ては總額の二、三、六輸入に於ては七〇・五の地位を占め居り
秘 魯	二、八六六、二三〇	
比 島	二、四三三、二四三	
日 本	一、四三三、二四三	
更に之れを當海關區主要港に就て表示すれば如左し		
港 名	輸 出	輸 入
シアトル	一、六〇八、一九四	一、九七九、七六三
タコマ	一、八五二、〇四五	一、三、四〇二、七八七
スマス	三、三三三、五八二	
アレイン	五、七一九、八三九	

尚更に當海關區の貿易額を太平洋に面せる各海關區のそれと對比すれば左の如し



海關區

Table of trade statistics for the North American region, including categories like '海關區' (Customs District) and '輸出入' (Import/Export) with various sub-items and their respective values.

即ち當海關區の貿易は輸入額に於て桑港に劣れること二千二十一万八千三百三十一弗なれども輸出額に於ては彼れを凌駕せること四百三十八万四千六百四十四弗なり

Table of trade statistics for specific goods, including categories like '銅鐵條及製品' (Copper and iron bars and products) and '輸入品' (Imports) with detailed item lists and values.

外貿易状態は己に記述せるが如くなるが、其出入船舶に就て見るに、一千九百十一年度に於ける出入船舶總噸數は四百七十四万九千八百六十二噸に達し、前年より増加せること七十五万一千八百七噸なり、今之れを汽船及帆船別として表示すれば左の如し

Table showing shipping statistics for Japan and rice, categorized by '米' (Rice) and '外國' (Foreign), with sub-categories for '汽船' (Steamship) and '帆船' (Sailing ship) for both '入港' (Arrival) and '出港' (Departure).

日米貿易概観

七 ポートランド港と日米貿易
ポートランド港は太平洋よりコロンビヤ河並に其支流ウキラメット河を遡ること約百十四哩なるウキラメット河岸に位するを以て、該港に出入する船舶は此兩河を航行せざるべからず、ポートランド市商業俱樂部は鋭意ボ市の發展を圖り船渠の如きも現在の儘にては狹隘を告ぐるを以て、二百五十万弗の巨費を投じて一大船渠建設の議あり、本年秋期又は來年に至らば其工事に着手すべしと云へるが、現在にては水量最も少き時に於て廿八呎最高量の時にて五十呎の深さと巾六呎百呎あるを以て大抵の巨船は容易に出入するを得

Table showing annual trade statistics for Japan, including '年次' (Yearly) and '輸出總額' (Total export value) with data for years 1910-1914.



ポートランド港より輸出さるゝ重なる貨物は小麦、麥粉、木材等なり、今試みに過去四年間に於ける是等主要品の輸出總額と日本への輸出額とを表示すれば如左

種別	年次	輸出總額	日本への輸出額
小麦	四十一年	一、七六四、九五六	二、三三〇、九
	四十二年	五、二八〇、一〇二	三、三三七
	四十三年	四、五五一、四〇三	二、三二、四七五
	四十四年	六、五七〇、〇九五	五、四四、一〇〇
小麥粉	四十一年	二、五四九、八九八	五、九四、三〇〇
	四十二年	一、三三四、〇三四	二、四七、二七九
	四十三年	一、一八六、六五四	二、八四、五九〇
	四十四年	二、九三五、一七九	六、〇三、八八八
木材	四十一年	一、〇〇〇、九〇七	一、七三、九三二
	四十二年	七、四三三、三五七	六、九、九〇八
	四十三年	一、五〇五、四九七	一、二七、一八
	四十四年	八、三三〇、七九	一、九四、四二

三九

更に昨四十四年度に於ける日本よりの輸入品の主要なるものと其価格を表示すれば左の如し

品名	價格
大豆	二、九四四
反物	一、九五五
衣類	八〇三二
刺繡	六、四三八
其他	二、四六〇
麵類	一、二三八
刷毛類	一、〇八一
樟腦類	一、三三四
雜種	三、一八五
綸布	一、二二六
綸毛	四、〇一五
陶器	二、一六七
羽毛類	六、三三四
魚類	四、一六九
花蔴及敷物	一、五五四
金屬製品	四、二五五
紙類	四、〇〇六
木製品	一、〇二二
落花生	三、七三〇

三八

より輸入せられたる總額は三百四十七万五千八十一弗なれば輸入額は輸出額の約半額に當れるを知るべし

八 桑港と日米貿易

▲桑港の對日貿易輸出額 過去六ヶ年間に於ける桑港の對日貿易額と其總貿易額を對照すれば左の如し

年次	總輸出額	日本への輸出額
一九〇七年	四、六五七、七九〇	八、七五〇、三〇
一九〇八年	四、八四四、六一	六、四七〇、三九七
一九〇九年	五、七三二、五九六	六、八二五、四六九
一九一〇年	五、六〇〇、八五八	八、七〇九、〇三二
一九一一年	七、八六九、二八二	三、三二二、二二二

昨年日本よりの輸入額は右表に示すが如く、五十万八千四百八十八弗にして、輸入國中第一位を占め、總輸入額の二割に當れり、之れを前年に比するに一万七千七百三十七弗の増加を示せり、是れ主として北海道檜材の輸入著しく増加せるに因る

年次	日本への輸出額	日本よりの輸入額
三十九年	一、二七三、一四三	六、八〇、七七
四十年	二、二六三、四五六	九、七八、〇五九
四十一年	一、二一九、八五五	四、三九、二二二
四十二年	三、七九〇、九三	三、七八、五三四
四十三年	六、九五、〇九〇	四、九〇、四二一
四十四年	一、二七三、四八七	五〇、八、二四八
合計	七、一〇三、〇六七	三、四七五、〇八一

▲輸出比較 ポートランド港及日本間の貿易は年に依りて多少の増減あり、且つ日本に輸出せらるゝ貨物品目は日本より輸入せらるゝ者に比して遙かに少しと雖も、其價格に於ては之れと反對に著しき高低あり、今之れを過去六年間の統計に依つて見れば左の如し

▲桑港より日本への輸出品 桑港より日本への輸出品は棉花、石油、革類、鐵、機械類を始め其品目九十餘種に上れども、棉花其他輸出品の大半以上は加州の産出物にあらずして、唯桑港を通過して日本に輸出せらるゝと云ふに過ぎず、而して加州の重要産物にして一千九百十年に日本に輸出されたる價格及名品左の如し



品名	日本への輸出額	桑港の總輸出額
石油	一、九二、一九八	一、七三、八六六
葡萄酒	一、七、二三八	三、三三、四一七
ブランチ	二、四八六	三、三、七五五
木材	二、九九二	七〇、八七二〇
砂糖	一九、八四八	一、〇二、七六〇
鮭	二、三三二	二、七四〇、〇一八
ハツナス	二、二八	二、一八、二二二

▲日本より桑港への輸入品 一千九百十年日本より桑港への輸入品中、價格の最大なるは生糸にして其額一千九百百弗、茶之に亞ぎ二百七十八万六千三百十二弗米三十九万三千四百弗、花筵四十万弗、海老罐詰二十万弗、硫黄十五万弗、裝飾品、木材加工品、味噌、醬油等何れも十萬弗以上の輸入額に達す、日本品の桑港輸入は概して年々其額を増加し、一千九百十年以來木材加工品、茸類、滿州大豆粕等の輸入著しく増加し、其他の商品に於て新たに販路を開けるもの少なからず

### 米國々勢一斑

一 政 体

北米合衆國は一千七百七十六年七月四日を以て獨立を宣言し、同八十三年英國は其獨立を承認せ、翌年九月三日を以て媾和條約を締結したり、政体は共和政治に

アイダホ	三二五、五九四	八四、八〇〇
アリゾナ	五、六三三、五九一	五、六、六五〇
インディアナ	二、七〇〇、八七六	三、六、三五〇
アイオワ	二、二二四、七七一	五、六、〇二五
カンザス	一、六九〇、九四九	八二、〇九〇
ケンタッキー	二、二九九、九〇五	四〇、四〇〇
ルイジアナ	一、六五六、三八八	四八、七二〇
メリーランド	七四二、三七一	三三、〇四〇
メサチネーセツ	一、二九五、三四六	一一、二一〇
マサチューセツ	三、三六六、四一六	八、三一五
ミシガン	二、八一〇、一七三	五、八、九一五
ミネソタ	二、〇七五、七〇八	八三、三六五
ミシシッピ	一、七九七、一一四	四六、八一〇
ミソシッピ	三、二九三、三三五	六九、四一五
モンタナ	三、七六〇、五三三	一四六、〇八〇
ネブラスカ	一、一九二、二二四	七、七、五一〇
ネヴァダ	八、八七五	一一〇、七〇〇
ニューハンプシャー	四三〇、五七二	九、三、三五
ニュージャージー	二、五三七、一六七	七、八一五
ニューメキシコ	三、二七、三〇一	一一二、五八〇
ニューヨーク	九、一一三、二七九	四九、一七〇
ノースカロライナ	二、二〇六、二八七	五二、二五〇
ノースダコタ	五七七、〇五六	七〇、七九五
オハイオ	四、七六七、一一一	四一、〇六〇
オクラホマ	一、六五七、一五五	七、二、四六

米國々勢一斑

四〇

して同八十七年九月十七日憲法を制定し、爾來六回の修正を加へて今日に至れり  
大統領、國會議員の撰擧方法及權限、立法權、司法權及陸海軍の編成、中央政府と地方政廳の關係、市民の權利義務等は第三編合衆國憲法の條文に明かなるを以て爰に記述せず

### 二 面積及人口

▲面積及人口州別 北米合衆國政府は十年毎に國勢調査を行ふ、最近(一千九百十年)の調査に依れば、面積はアラスカ及島嶼を除きて三百二万六千七百八十九方哩、人口九千三百四十万二千五百五十一人なり、今之を地方別に示せば左の如し

州及領地名	人	面積
アラバマ	二、一三八、〇九三	五二、二五〇
アリゾナ	二〇四、三五四	一一三、〇二〇
アーカンサス	一、五七四、四四九	五三、八五〇
カリフォルニア	二、三三七、五四九	一五八、三六〇
コロラド	七九九、〇二四	一〇三、九二五
コネチカット	一、一四、七五六	四、九九〇
アラウエヤ	二〇二、三三二	二、〇五〇
コロンビヤ	三三三、〇六九	七〇
フロリダ	七五一、一三九	五八、六八〇
ジョージヤ	二、六〇九、一一一	五九、四七五

ペンシルバニア	七、六六五、一一一	四五、二一五
オレゴン	六七二、七六五	九六、〇三〇
ロードアイランド	五四二、六一〇	一、二五〇
サウスカロライナ	一、五一一、四〇〇	三〇、五七〇
サウスダコタ	五八三、八八八	七、七、六五〇
テンネッシー	二、一八四、七八九	四二、〇五〇
テキサス	三、八九六、五四二	二六五、七八〇
ユタ	三、七三、三五一	八四、九七〇
ヴァージモント	三、五五、九五六	九、五六五
ヴァージニア	二、〇六一、六一二	四二、四五〇
華盛頓	一、一四一、九九〇	六九、一八〇
ウエストヴァージニア	一、二二一、一一九	二四、七八〇
ワイスコンシン	二、三三三、八六〇	五、六、〇四〇
ワイオミング	一、四五、九六五	九七、八九〇
本土合計	九一、九七二、二六七	三、〇二六、七八九
アラスカ	六四、三五六	五九〇、八八四
ハワイ	一九一、九〇九	六、四四九
ボートリコ	一一八、〇一一	三、四三五
陸海軍人	五六、六〇七	—
總計	九三、四〇二、一五一	三、六二七、五五七

即ち面積の最も大なるはテキサス州にし、最も小なるはロードアイランド州なり、又人口の最も多きはニューヨーク州にして最も少なきはヴァージニア州なり

四一

▲人種及男女別 如上一千九百十年の調査によれば、







違反等の件を司り、人身財産に關する件並に州の民事... 州の最下級裁判所は、治安判事の管轄に屬し、都會に...

同意を得て大統領之を任命す、大審院は上級裁判所よ... 六 財政及經濟... 歳入及歳出 最近八ヶ年間に於ける米國政府の歳入...

▲銀行 一千九百十一年の調査に依れば合衆國內に於ける銀行總數は一千八百八十四にして預金者總數九百五十九万七千八百八十五人、預金總額四十二億一千二百五十八万三千五百九十八弗なり

Table with 4 columns: 種別 (Type), 流通高 (Circulation), 補助銀貨 (Auxiliary coins), 大藏證券 (Treasury securities). Rows include 金貨証券 (Gold certificates), 銀貨証券 (Silver certificates), 銀行 (Banks), etc.

▲海軍 米國海軍の起原は一千七百七十五年十月十三日國會が二巡洋艦の武裝を決議したるに因れり、當時海軍々政事務は海軍委員の處理する所なりしが、一千七百九十八年始めて今の海軍省を設置したり、爾來海軍々政は内閣大臣たる海軍卿の管理に歸し、長官次官は上院の同意を経て大統領之れを任命す、外に局長八名、海兵團長一名、法官部長一名あり、海軍鎮守府はブルックリン外七ヶ所に、軍港はニューオーリアンヌ外十七ヶ所に設置せらる、海軍志願兵の定員は四万七千五百人を以て限りとなせり、一千九百十一年の調査に依れる海軍力左の如し

Table with 4 columns: 艦種 (Ship type), 隻數 (Number of ships), 巡洋艦 (Cruiser), 海防艦 (Defense ship), 甲斐巡洋艦 (Kaiji cruiser), 巡洋艦 (Cruiser), 隻數 (Number of ships).



報知艦	三	水雷艇	三三
砲艦	二四	潛航艇	三二
驅逐艦	三七	補充各艦	三六

而して海軍將校總數は二千六百七十三人、下士官三百三人(海軍兵學校及實習中の候補生を除く)、水兵總數四万四千八百人なり、海兵團は別に將校三百三十五人、水兵九千九百人より成れり、軍艦は總て自國の材料を以て自國內に於て建造すべきを法律に規定せり、將校養成の爲にはアナポリスに海軍大學校を設け、水兵と陸軍と同じく志願徵集の方法を執れるが、常に應募者の甚だ少なきは當局者の大に苦心せる所なり、海軍にも國軍ありてカリフォルニア州以下二十州に於て編成せらる

八産業

合衆國の産業は頗る盛大にして、今尙急速なる發展を爲まつゝあり、以下農業、林業、鑛業、製造業及漁業の五部に分つて之を記述すべし

▲農業 一千九百十年の調査に依れば、全國に於て農作地として認めらるゝ面積は、八億七千三百七十二万九千英加にして、既に開墾を終り現に農作に充られつゝある面積は四億七千七百四十四万八千英加なり、而して農業に關する財産總価格は三百四十六億八千五百

十萬七千弗なり、今一千九百十年に於ける主要農産物の産出額を示せば左の如し

種別	産出額	種別	産出額
玉蜀黍	一、五三三、九六八、〇〇〇	棉花	八二〇、三三〇、〇〇〇
小麦	六二二、四四三、〇〇〇	棉種子	一四二、八六〇、〇〇〇
燕麥	三六四、七一四、〇〇〇	枯草	四七七、七六九、〇〇〇
ライ麥	二二、八四〇、〇〇〇	馬鈴薯	一八七、九八五、〇〇〇
大豆	九三、七八五、〇〇〇	煙草	九一、四八七、七三三
蕎麥	一一、三二一、〇〇〇	甜菜	三、三三三、二四〇
		亞麻仁	三、三五五、〇〇〇

▲林業 合衆國の森林總面積は五億五千萬英町にして全國總面積の約二割五分に當れり、而して官有地は全森林地の約三割にして他は民有地なり、森林地の主なるは北部、南部、中央部、ロッキーマウンテン及太平洋沿岸にあり、近時漸く濫伐の弊認められ、森林保護の説盛んとなりたれども、現今保護せらるゝは僅に全面積の一割八分に過ぎず、一千九百九年に於て合衆國中より産出したる木材總産額は、四千四百五十万九千七百六十一(單位千呎)にして、其價格六億八千四百四十七万九千八百五十弗なり

▲鑛業 一千九百十年に於ける合衆國の鑛産物産出總額は九億三百八十八万九千四百一弗なり、今其主要なるものを表示すれば左の如し

太平洋諸州	二九四	一三八五五	六四六八、〇〇〇	六八三九、〇〇〇
アラサカ領	三四八	一五、六二〇	二〇、七二一	一三、二五九、八五九
計	七、三三三	一五、九五四	六二、三九八、四三二	六七、八八八、八五九

九商

▲過去十ヶ年の輸出入 一千九百二年より一千九百十一年に至る十ヶ年間の合衆國輸出入貿易額は左の如し

年度	輸出額	輸入額	輸出超過額
一九〇二年	一、三八一、七九四、〇〇〇	九〇三、三三〇、九四八	四七八、四六三、〇五二
一九〇三年	一、四二〇、四一、六七九	一、〇三三、七一九	三八六、六三九、九八〇
一九〇四年	一、四六〇、八二七、二七一	九九一、〇八七、三七一	四六九、七三九、九〇〇
一九〇五年	一、五八五、五六六、六六六	一、一七五、五三〇、七七一	四一〇、〇三六、九三四
一九〇六年	一、七四三、八六四、五〇〇	一、三六五、五六三、八四三	三七八、三〇〇、六五七
一九〇七年	一、八八〇、八五一、〇七八	一、四三三、四二二、四二五	四四七、四二九、六五三
一九〇八年	一、八六〇、七三三、三三六	一、四九四、三三三、七九二	三六六、四〇三、五五四
一九〇九年	一、六六三、〇一一、一〇四	一、三二一、九二〇、三三四	三四一、〇九〇、八八〇
一九一〇年	一、七四四、九八四、七二〇	一、五五七、八一、九八八	一八七、一七二、七三二
一九一一年	二、〇四九、三三〇、一九九	一、五三七、二二六、一〇五	五二二、〇九四、〇九四

▲重量輸出品入 一千九百十一年度重要輸出入品左の如し

種別	産出額	種別	産出額
金	九六、〇五五、〇〇〇	鉛	三五、九一九、三四〇
銀	三〇、一八六、八〇一	亜鉛	三〇、五八七、九七六
アルミニウム	二、七〇〇、〇〇〇	石炭	一六〇、八四三、〇八一
銅	一、三八、三六六、五三三	無烟炭	四六、七、二五九、一四七
鉄	四四、三二一、四二七	鐵礦	九五、八八一、三二五
		重油	一三〇、八六四、六七七

▲製造業 一千九百九年と同四年に於ける合衆國製造業の概勢を比較すれば左の如し

工場數	一九〇四年	一九〇九年
資本總額	二、二六一、八〇〇	二、六八、四九一
原料品價格	八、五〇〇、二〇八、〇〇〇	一、八四三、八二七、〇〇〇
作製品價格	一四、七九三、九〇三、〇〇〇	一、二、一四一、二九一、〇〇〇
雜費	一、四五三、一六八、〇〇〇	二、〇六七、〇五二、〇〇〇
事務員數	五、一九五、五六	一九四、五六、六〇〇
使用人數	五、四六八、三八三	七〇九、二六七
俸給及給料	三、一八四、八八四、〇〇〇	六、六二五、〇四六

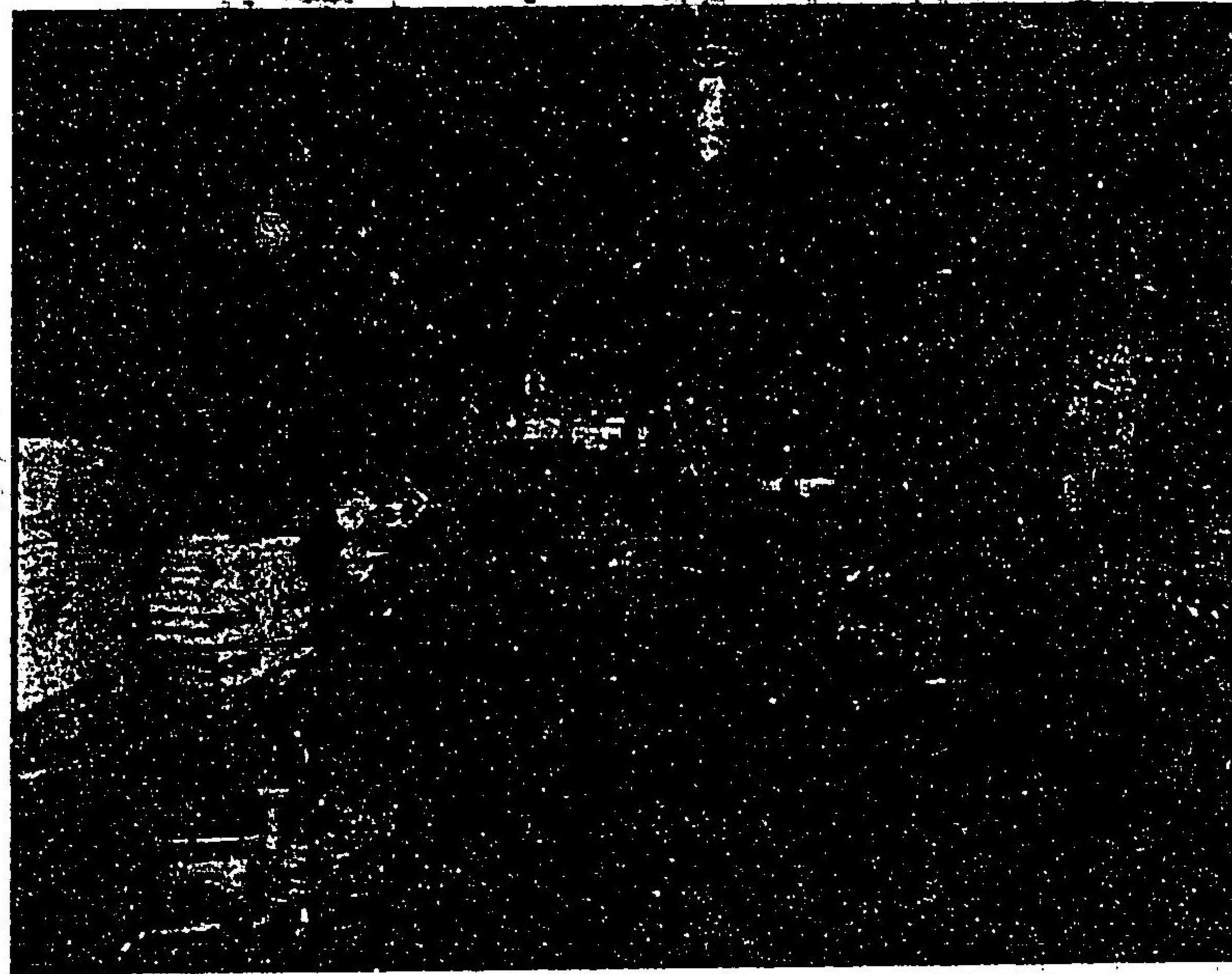
▲漁業 合衆國水産局最近の統計左の如し

地方別	漁船數	漁夫數	資本金	漁獲價格
南大西洋諸州	五三四	一七、九六二	二、三三四、〇〇〇	四、〇三四、〇〇〇
墨西哥灣諸州	九一五	一五、三八七	三、九〇一、〇〇〇	四、八二四、〇〇〇
中大西洋諸州	三、一六五	五、四一六	一、一〇五、〇〇〇	一、六三三、〇〇〇
新英諸州	一、六三三	三、二一七	一、九七〇、〇〇〇	一、五、一三九、〇〇〇
大湖	三三九	八、五三三	四、八一四、〇〇〇	三、七六七、〇〇〇
ミシシッピ河	三三九	一、八二五	一、四四〇、〇〇〇	三、一二五、〇〇〇

米國々勢一斑

種別	價格	種別	價格
農具	三五、九七三、三九八	美術品	二、二四九、八四二
家畜	一九、〇四八、六五三	化學藥品	九、五二〇、〇〇六
玉蜀黍	三五、九六一、四七九	コーア類	一四、五五二、八七九
小麦	二二、〇四〇、二七三	珈琲	九、〇五七、七八八





Pacific Trading Co. Y. Okamaru Co.

1334 Commerce St., Tacoma, Wash.

1333 So. C St., Tacoma, Wash.

日米諸雜貨食料品

直輸入販賣商

ワシントン州タコマ市南シー街一三三三

岡丸商店

郵箱七六六  
電話オカマル

電話ホーム 二五三〇

日米雜貨

直輸出卸商

ワシントン州タコマ市

コンマース街一三三四

太平洋貿易會社

電話メーソン二六三一  
電略パシフィック、テイ

麥粉	四九三八六、九四六	銅及製品	三三、〇三三、五六二
車輪類	三〇、五三四、九三六	棉花	二四、七七六、三三〇
化學藥品	二二、〇〇七、四四四	木綿	六六、九九六、五五一
石炭	一五、六九〇、三三一	陶磁器	一一、四二一、六六五
無煙炭	二九、三三三、一〇五	肥料	一〇、一五〇、一四二
銅製品	一〇、三八三、一〇〇	未製纖維	三〇、七五二、二五〇
棉花	五八五、三二八、八六九	既製纖維	五四、七六五、九九九
木綿	四〇、八五一、九一八	果實	四、一五二、〇六七
毛皮	一〇、七二二、一三三	毛皮及製品	三三、六一八、九四八
護膜製品	一〇、四七三、五二七	鋼及製品	七〇、五〇四、九八〇
學術機械	一一、四二二、五二二	鋼及製品	九二、九一〇、五二三
鋼鐵及製品	二二、〇三三、五五二	鋼及製品	三四、二〇五、九六八
革及製品	五五、六七三、〇五七	鋼及製品	四二、五〇七、四四六
海軍食料品	二五、〇三三、七二〇	鋼及製品	一四、六三六、七二〇
凝結油	一九、六三二、一二七	肉類	一三、八九〇、五三五
礦物	九二、六九八、〇〇三	紙及製品	三三、〇三三、六八七
野藥	一九、八〇五、二二三	生絲	一八、六二六、八八〇
紙及製品	一九、二一五、四九九	油類	七四、九二四、〇〇四
牛肉	二五、二三五、四六一	紙及製品	三二、九〇〇、五〇四
豚肉	一〇、四一五、二〇五	砂糖	一八、六九一、〇九六
菜煙草	三九、二五五、三三〇	茶	一七、六二五、五六九
木材及製品	九二、二五五、九五二	錫	三七、九三五、九七八
既製纖維	八五、六九五、九九〇	菜煙草	二七、八五五、九九六
魚類	七、六九八、三三二	木材及製品	五二、九三二、八〇三
實類	二四、四九八、四六五	未製羊毛	三三、二三八、〇〇五
		既製羊毛	一八、五六九、七七一

▲主なる輸出入額 一千九百十一年に於ける諸國との輸出入額の主なるものを示せば左の如し

國名	米國よりの輸出入額	米國への輸入額
埃太利	一九、五二四、七八七	一六、九五八、〇九九
白耳義	四五、〇六一、六三二	三七、〇八四、七三三
佛蘭西	一三五、二七一、六四八	一一、四一四、七八四
獨逸	二八七、四九五、八一四	一六三、二四二、五六〇
伊太利	六〇、五八〇、七六六	四七、三三四、八〇九
ネザラント	九六、一〇三、三七六	三三、九二六、四九二
露西亞	二二、五二四、二六七	一一、〇〇四、一六四
西班牙	二五、〇六四、九一六	一九、七八四、九九八
瑞西	七〇、四八〇、八〇八	二五、六五二、二九九
英吉利	五七、六二二、九七四	二六、二八九、一〇六
加奈大	二六、九八〇、〇一三	一〇〇、八六三、四一八
墨西哥	六、二八一、七二五	五七、四五〇、一一一
玖馬	六〇、七〇九、〇六二	一一〇、三〇九、四六八
アルゼンチン	四三、九八八、五二一	二九、〇九〇、七三二
アラビヤ	二七、二四〇、一四六	一〇〇、八六七、一八四
智利	一一、〇四四、五七八	一九、九四二、〇〇〇
支那	一九、二八七、八三六	三四、二七五、〇三三
英領印度	九、四一四、二〇三	四三、九五二、〇四七
蘭領印度	二、一四三、二四二	一九、九五八、五二二
日米	三六、七二二、四〇九	七、八五二、七四六
亞細亞	一、四〇三、九二二	一〇、一五〇、三三二
亞細亞土耳其	三七、五二四、五六六	九、一〇二、八六八
比律賓	一九、七三三、一一三	一七、四〇〇、三九八



Japanese American Supply Co.  
 P. O. Box 386  
 Tacoma, Washington

北米同胞母國訪問團本部

日米用達會社

タコマ郵便局函 三八六 電話メーン 三五六七  
 主任 宇梶和市郎

北米ワシントン州タコマ市

日米兩國間交渉事務取扱

- 營業項目
- 貿易部
  - 信託部
  - 委託販賣部
  - 特約賣買部
  - 保險代理部
  - 代辯及請負部

S. Okada Merchant Tailor  
 1344 So. C St., Tacoma, Wash.



紳士洋服裁縫部

岡田洋服店

電話メーン 八二七四



貴婦人服裁縫部

タコマ市南シ一街一三四四

郎次新田岡 主店



Washington Farm Development Co.

412 Equitable Building,  
Tacoma, Washington

土地所有權は無くとも、此株式組織により同胞諸君は自由に土地を購買を得べく、當會社の資本金五十万弗之を五万株に分けて一株十弗宛希望によつては、百姓家を建て、農具をも貸し與ふ支店は太平洋沿岸の都市にあり  
詳細は御紹介次第御返答致す  
タコマ市エキテブルビルディング四二二

ワシントン州廳公認の下に建設せられたる日白人共同の大  
會社也

農 園 拓 殖 會 社

Tacoma Japanese Hotel Association

1328 So. C St., Tacoma, Wash.

合組ルテホ人本日マコタ

大坂商船會社乗船切符販賣

タコマ港には毎月二回宛大阪商船會社の漁船發着有之候へば當地を經由して妻女御呼寄せの方は御地領事館、日本人會或は知名の白人よりの保證書御携帶相成候へば容易に上陸相叶可申様本組合にて便宜取計ひ可申候

太平洋旅館

南シ街一三三六

川添渡太郎

南シ街一五一九半

常盤旅館

森友造

松尾益晴

南シ街一五二二半

大北館

森安會七

レニヤ旅館

南シ街一五二二半

池尻勝三郎







# The New Tacoma Hotel

1317 C St. So.,

Tacoma, Wash.

## 最新式の旅館出来

渡米並びに妻君呼び寄せに  
關しては、年來の經驗に照し  
自信を以て奔走仕るべく候

三月迄には悉皆落成

(大坂商船會社汽船切符販賣)

タコマ市南シ街二三一七

ニュー・タコマ旅館

大沼定吉

タ  
コ  
マ

九

# The Japanese-American Industrial Co.

1319 Pacific Ave.,

Tacoma, Wash.

## 營業項目

土地家屋賣買

及 び 貸 借

仲 買

金 融

諸 保 險

(生命火災及び病傷)

對白人交渉事務取扱

タコマ市パソフック街一三一九

タコマ勸業會社

電話メイン八二〇〇

郵函 九〇

大坂商船會社切符販賣

迅速丁寧技術精巧

市内唯一の洗濯處

タコマ市ジエー街四〇七

イーグル洗濯所

ジエアーソン街一九二四

支店ノーザン洗濯所

タコマ市タコマ街九五三

カリフォルニア、スチーム洗濯所

電話メイン三二八一

タコマ市第十三街三一〇

兒玉洋服店

電話メイン六七二四

八

# Togo Express Co.

1341 1/2 C St. So.,

Tacoma, Wash.

## 自働車運搬

迅速に於て丁寧なるは世に  
に定評あり候、何卒多少に拘  
らず御用命の程願ひ奉り候  
タコマ市南シ街二三四一半

東郷運送店

電話メイン五三九八

富田馬之丞

富田泰之丞

馬車運送

九



<p>最新流行の洋服は當店に 限ります</p> <p>タコマ市南シ街一三二九半</p> <p>スター洋服店 店主 松澤常作</p>	<p>樓内清潔 風味佳良 價格低廉 市内第一</p> <p>タコマ市南シ街一三五二半</p> <p>西洋料理 支那料理 中華酒樓</p> <p>電話メーソ 三四八六</p>
<p>タコマ市南シ街一五二二半(レニアホテル内)</p> <p>伊藤醫院 電話メーソ 九七五七</p>	<p>タコマ市デ街と十三街の角 農産物賣買問屋 有田兼吉 電話メーソ 一〇二六</p> <p>タコマ市南シ市一三二二六半 北米齒科醫院 伊藤新七 電話メーソ 五五八四</p> <p>タコマ市南シ街一三四五半(ニューワシントン旅館) 三科醫院 電話メーソ 二二七〇</p>

タコ

一

<p>Lucky Dye Work 738 St. Helens Ave., Tacoma, Wash.</p> <p>シカゴ仕立の洋服大安賣 ダイウオークは市内第一 タコマ市セントヘレンス街七三三八 ラツキー、ダイウオーク</p> <p>森米吉 森丈太郎 電話メーソ 七二六一</p>	<p>日米雜貨 食料品 和洋酒類 書籍及雜誌 農産物並果物、鮮魚 依託品賣買 シンガール、ミシン販賣</p> <p>タコマ市南イ街一三二二七</p> <p>山中善勝 郵函四二六 電話メーソ 三八八一</p>
<p>タコマ市南シ街一五〇二半 エルジン、ホテル 飯田稻吉 電話メーソ 三五六七</p> <p>タコマ市タコマ街九五二 カリフォルニア洗濯所 電話メーソ 三二八一</p> <p>タコマ市南シ街と十七街の角 マサソイト、ホテル 館主 平木伊平 電話メーソ 二〇四一</p>	<p>タコマ市南シ街一五一九半 大野菊次郎 電話(自宅)メーソ 六三三一 メーソ 三八八一</p>

十



Model Tailoring Co.

84 Chestnut St., North Yakima, Wash.

紳士及  
貴婦人  
洋服裁縫所

モデル洋服店

ノースヤキマ市チエストナット街六半

溝口沼三郎

電話(四六)

ノースヤキマ

十三

S. R. Laundry

132 S. First St., North Yakima

和洋  
風呂

S R 洗濯所

ノースヤキマ市南一街

百三十二番地

上野稠次郎

R.F.D.No. 2 Box137  
Tacoma, Wash.

フアイフ  
飯田商店

タコマR.F.D.第二郵便二二七

タコマ市南シ街一三四七

アメリカン旅館

岡本玉場

タコマ市南タコマ街一〇四

熊倉洋服店

電話メーン五五四〇

タコマ市南デ街九四六

ワシントン菓物並青物問屋

電話メーン八四三三

The Westside Garden  
R. F. D. No. 2 Box24

フアイフ  
中西與吉

タコマR.F.D.第二郵便二四

The Mukai Garden  
R. F. D. No. 2 Box5

フアイフ  
向井新太郎

タコマR.F.D.第二郵便五二

The Sunrise Garden  
R. F. D. No. 2 Box12

フアイフ  
吉田藤平

タコマR.F.D.第二郵便二二

The Washington Garden  
R. F. D. No. 2 Box20

フアイフ  
大橋藤吉

タコマR.F.D.第二郵便二〇

一三



### U. S. Hotel

11 Chestnut St., North Yakima.

ユース旅館

春田千之

電話(二二五四)

ノースヤキマ

本館は日本町の中心点にして且諸事至極便利あり尙各室内にはスチームヒーター及ホットウォーターワールドウォーターの設備あり

### Grand Restaurant

11 FRONT ST., NORTH YAKIMA.

グランド洋食店

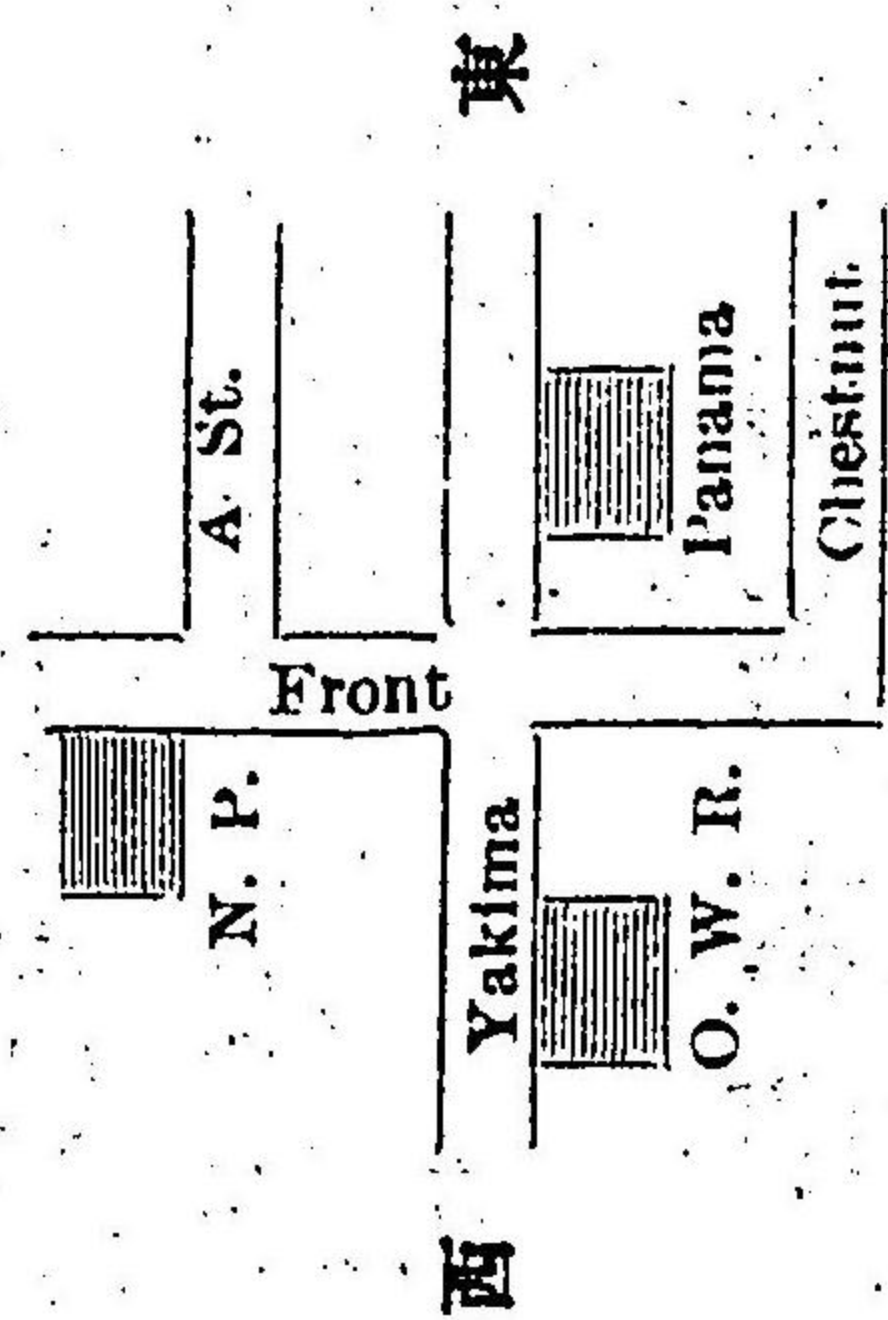
濱田富士松

電話(五六二)

ノースヤキマ市  
南フロント街十一

### Hotel Panama

44-64 E Yakima Ave., North Yakima, Wash.



崎村政市

電話長距離 二二三七  
郵函 一〇一一

- 本館の特長**
- 本館は市内最繁華の中央
  - 両停車場より僅に一丁目
  - 郵便物保管及廻送便あり
  - 西方行電車發着の起點地
  - 館内には桂庵部設置あり
- 北米ワシントン州ノースヤキマ市東ヤキマ街六番半

十五

球場に理髮業、西洋風呂

JAMES Y. TSUJITA

P. O. Box 524 First St. West, Toppenish, Wash.

辻田八百藏

北米時事ノースヤキマ支社

大野衛司

P. O. Box 264 North Yakima, Wash.

旅館並に洋食店

タバニシ市ナチース街 (郵函四二三)

中島富太郎

北八岐摩青年會

ノースヤキマ市 郵函三

御免

しるぶ

ノースヤキマ市南ウオナツツ街十一

ノースヤキマ市フロント街十三

六川保男

洋食店並に旭旅館

ノースヤキマ市第一街百十六番地

長井又藏

電話 七二七

高等旅館

First St. West, Toppenish, Wash.

河村千代吉

郵函 四六〇

山口縣大島郡久賀町四百三十八番地

十四







# J. T. KIKUTAKE

CONTRACTOR FOR FISH PACKER IMPORTER AND WHOLESALE DEALERS  
AND GENERAL LABOUR IN GENERAL MERCHANDISE

GENERAL OFFICE

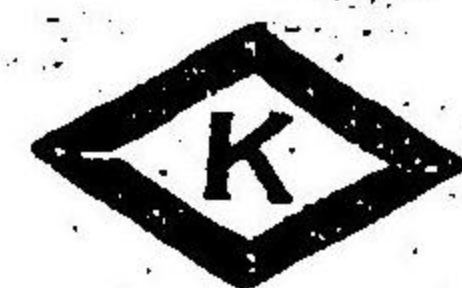
417 MAYNARD ALLEY SEATTLE, WASH., U. S. A.

旅 館 部

商 業 部

信 托 部

請 負 部



## 菊竹事務所

電話 エリオット 二四八〇

日本雜貨食料品卸小賣

高等旅館ホテル、ミルオキー  
米國式及歐州式客室二百有餘附屬食  
堂支那西洋料理美利和記酒樓

アラスカ、瀬戸内海キャナリー  
其他諸般の請負  
貯金(利息年五分)及爲替事務郵便物の  
保管并に廻送等、官廳諸願届其他手續  
一切、東洋及歐洲行切符特約販賣  
北米沙港メーナード、アレー、四一七番

PHONE 1375 94

# HOTEL HONDA

9 1/2 So. Front St.,  
North Yakima, Washington

## 高等 本田旅館

館主 本田善太郎

電話 (二三七五) (九四)

郵函 (五八)

當旅館は本分館共に停車場の附近にあり且市内繁華の中心にあ  
れば諸事至極便利なり尙室内にはスチームヒーター及ホットウ  
ォーターコールドウォーターの設備あり紳士淑女の宿泊に適す市  
内唯一の高等旅館

第一分館

南フロント街九番半  
主任 本田善太郎

第二分館

南フロント街十三番半  
主任 本田多計

第三分館

ヤキマ街八番半  
主任 本田直志

大住旅館 大住勘太郎

ヤキマ街三番半



▲在米日本人々の増減 合衆國に在住する日本人は大体に於て之を二様に區別するを得、即ち一は事業の根據を日本に有し日本の資本によりて事業の經營に任んじつゝあるものにして、一は單身渡米を獨力を以て其運命を開拓す、事業を經營し或は經營せんと奮闘しつゝあるもの之なり、前者は多く市俄古以東紐育市を中心として散在し、後者は太平洋沿岸及中西部諸州に在在せり、而して前者に屬する日本人は在米九万三千余の同胞中僅々三千にも充たざるを以て、茲に在米日本人と云ふは主として後者を指すものなり

日本人が初めて米國に移住したるは明治二年にして既に四十有餘年の星霜を経たれども、前半二十有餘年は船乗り或は學生の在在したるものあり去に過ぎざれば在米日本人社會は過去二十余年間に發達したるもの云ふべし

米國在住日本人

第貳編 日本人事情

米國在住日本人

一 在米日本人々口

明治二年當時米國に在住せし日本人數は其明確なる數を得ること困難なれども四十名を出でざりしが如く、同四年には五六百名となり、同七年には百名内外、十一年には二百七八十名に達し、十七年には四百を超へ翌十八年には五百を數へ、二十年に至りて一千を超ゆること二百餘となり、二十三年には俄に二千三百餘となり之れより年を追ふて著しき増加をなし、二十五年には四千五百、二十八年には六千、三十年には一万三千、三十二年には三万五千、三十七年には五万四千、三十八年には六万一千五百、三十九年には七万四千、四十年には九万、四十一年には實に十萬四千を數へたり、即ち米國に於ける同胞移住者數は明治二十年頃より漸次増加し來り、日清戰爭を一期として、三十年後は著しく其數を増し、明治四十一年に至りて絶頂に達したりしが、明治四十年四月以降米國政府が移民條令を改正して布哇、墨國、加奈太より米土に轉住するを禁止したると、日本政府亦同年末より米國行移民を絶對に禁遏するに至りたるの結果として四十二年及び四十三年には在米日本人々口の減少を示し其數四十二年に於て九万九千、四十三年に於て九万四千に減退したり、然れども四十二年以降は婦人渡米者數著しく増加し、其結果として出生兒の増加夥しく、之れによりて

FUJII HOTEL  
423 Maynard Ave., Seattle, Wash.



第一支館 シアトル市ヤグソン街八二二番 電話メイン 二二五一	藤井ホテル アンチキツス 藤井本館隣	第二支館 シアトル市マイナード街八一二番 シアトル市ヤキマホテル 電話 エリオット 一九六八
--------------------------------------	-----------------------	---

妻君及親族御呼寄の向きは前以て御通知被  
便利に取計可申候且つ上陸に關して御問合の事項有之候へ  
ば早速御返事申上候

渡米上陸手續は弊館の最も得意に候  
○諸官衙願届手續等懇切に取扱ひ申候  
○各流船汽車御乗込の手續は最も迅速に取扱ひ申候  
日本行汽船切符は各流船會社と特約致居候  
へば大勉強に御世話可仕候  
北米合衆國ワシントン州シアトル市マイナード四二三

藤井本館

館主 藤井長次郎

電話 エリオット 一三〇四

自動車部

シアトル市キング街六二二

電話 エリオット 一三〇四

藤井商店



第貳編 日本人事情

米國在住日本人

一 在米日本人々口

▲在米日本人々口の増減 合衆國に在住する日本人は大体に於て之を二様に區別するを得、即ち一は事業の根據を日本に有し日本の資本によりて事業の經營に任んじつゝあるものにして、一は單身渡米を獨力を以て其運命を開拓せ、事業を經營し或は經營せんと奮闘しつゝあるもの之なり、前者は多く市俄古以東紐育市を中心として散在し、後者は太平洋沿岸及中西部諸州に在在せり、而して前者に屬する日本人は在米九万三千余の同胞中僅々三千にも充たざるを以て、茲に在米日本人と云ふは主として後者を指すものなり  
日本人が初めて米國に移住したるは明治二年にして既に四十有餘年の星霜を経たれども、前半二十有餘年は船乗り或は學生の在住したるものあり去に過ぎざれば在米日本人社會は過去二十余年間に發達したるものと云ふべし

米國在住日本人

明治二年當時米國に在住せし日本人數は其明確なる數を得ること困難なれども四十名を出でざりしが如く、同四年には五六百名となり、同七年には百名内外、十一年には二百七八十名に達し、十七年には四百を超へ翌十八年には五百を數へ、二十年に至りて一千を超ゆること二百餘となり、二十三年には俄に二千三百餘となり之れより年を追ふて著しき増加をなし、二十五年には四千五百、二十八年には六千、三十年には一万三千、三十二年には三万五千、三十七年には五万四千、三十八年には六万一千五百、三十九年には七万四千、四十年には九万、四十一年には實に十萬四千を數へたり、即ち米國に於ける同胞移住者數は明治二十年頃より漸次増加し來り、日清戦争を一期として、三十年後は著しき其數を増し、明治四十一年に至りて絶頂に達したりしが、明治四十年四月以降米國政府が移民條令を改正して布哇、墨國、加奈太より米土に轉住するを禁止したると、日本政府亦同年末より米國行移民を絶對に禁退するに至りたるの結果として四十二年及び四十三年には在米日本人々口の減少を示し其數四十二年に於て九万九千、四十三年に於て九万四千に減退したり、然れども四十二年以降は婦人渡米者數著しく増加し、其結果として出生兒の増加夥しく、之れによりて

FUJII HOTEL  
423 Maynard Ave. Seattle, Wash.

電話	二二〇〇
郵便	一三三三
電報	三三三三
北米	三三三三
日本	三三三三

妻が...  
渡米...  
日本...  
北米...

藤井商店



僅に在米同胞人口の減退を填補しつつあり  
 大正元年十月本社の調査したる處によれば、米國在住日本人總數は九万三千七百七十八人にして、中男七萬五千八十一人、女一萬一千七百七十四人、兒童六千九百二十二人なり、今之れを米國在住日本人の最も多數を示したる明治四十一年の人口に比較すれば兒童に於て三千余、女に於て一千余を増加したれども、男に於ては却つて約一万人の減少を示せり

▲在米日本人の分布 大正元年十月本社の調査したる處により米國在住日本人の分布状態を示せば如左

州名	男	女	兒童	計
カリフォルニア	四四、五六二	八、五〇四	四、三八〇	五七、四四六
オレゴン	二、九四九	三、八七	二四五	三、五八一
ワシントン	一、二一九	一、九八三	一、七三三	一、五八五
アイダホ	一、八七六	七、八	六、八	二、一三二
モンタナ	一、七〇一	六、四	三、三	一、七四五
ユター	一、二九八	一、二六	五、五	一、四七九
ワイオミング	一、七七八	六、二	三、三	一、八六二
コロラド	三、五四一	一、二一	八、四	三、七四六
アリゾナ	五、八九	四、三	三、七	六、六九
ニューメキシコ	六、八二	三、二	一、八	七、三二
中央部諸州	二、一八八	一、五四	九、八	二、四四〇
東部諸州	一、七七一	一、七〇	七、一	二、〇三二
計	七五、〇八一	二、七二四	六、九二〇	九三、七七八

△注意 右の表中中央部諸州とあるは市俄古領事館、東部諸州とあるは紐育總領事館の管轄區を云ふ  
 ▲日本人の渡米及歸國數 米國商工務省の報告により一千九百十年(明治四十三年)度及び翌一千九百十一年度に於ける日本人の渡米者數並に在米日本人の歸國者數を非労働者及び労働者に區分して表示すれば左の如し、但し左表は布哇を除く(詳細は第一編日米關係史中の日本移民に關する商工務卿の報告参照)

年次	非労働者		労働者	
	入國數	歸國數	入國數	歸國數
一九一〇年	一、八九三	二、八一七	七〇五	二、二〇七
一九一一年	三、五五〇	二、九三八	七三三	二、九三二

之を以て見るも労働者減少の數が年を追ふて著大なるを知るべし  
 ▲在米日本人職業別 十數年前に於ては在米日本人の主なる職業は家内労働なりしが、近年地方に於ては農業に従事し、農園労働者より獨立經營者に進み、都會に於ては或は日本人を顧客とし、或は白人を得意とし、て各種の營業を營み、今や其營業種別は百を以て數るに至れり、然れども之れを大別すれば農業經營者、農園労働者、商業及雜營業者、同労働者、鐵道、鑛山、漁業労働者、家内労働者等に分類するを得べし、大正元年十月本社の調査したる處により、現在米國在住日

日 本 人 事 情 (3)

本人總人口より婦人兒童を除き丁年以上の男子七万五千を職業別にすれば大畧左の如し

農業經營者	五、〇〇〇	鑛山労働者	一、〇〇〇
農園労働者	三、四〇〇	外人商店被雇人	一、五〇〇
商業及雜營業者	五、〇〇〇	家内労働者	八、〇〇〇
同上被雇人	七、〇〇〇	其他	六、三〇〇
鐵道労働者	五、〇〇〇	合計	七五、〇〇〇
漁業者	一、〇〇〇		

二 在米日本人の農業

在米日本人は前記の如く渡米移民の禁遏以來年々減少の一方にあれども、在米日本人の産業中の農業とも云ふべき農業は經營者の數に於ても、耕作反別に於ても年一年に其量を加へ、而かも事業の根底に於て益々堅固に進みつゝあり、大正元年に於ける米國在住日本人の農業地面積を地方別に示せば左の如し

州名	耕作反別州	オレゴン	カリフォルニア
オレゴン	九八五二	モントナ	一、九六二
カリフォルニア	二、三九七	ワイオミング	一、七三五
コロラド	二〇、五四七	ネブラスカ	一、二八九
アイダホ	一、三九七	ニューヨーク	九三八
テキサス	一、二七〇	其他諸州	九三八
ワシントン	一、二五五	計	三三、〇三九
ユター	六、九三二		

米國在住日本人

之れを前年の二十七万五千五百一十一英加に比するに五万二千五百二十八英加の増加を示せるは大に意を強ふするに足る、而して其重要農作物は砂糖大根、果物、葡萄、荳類、野菜、苺、馬鈴薯、種物苗木、花卉、米等なり  
 三 在米日本人の商業及雜業  
 在米日本人の商業及び雜業は大体に於て外人を相手とするものと、日本人を相手とするものとの二種に區別するを得べし、而して今日に於ては未だ其大部分は日本人相手の營業をなしつゝありと云はざるを得ず、然れども渡米日本人減少するに従つて、漸次營業的活動方面を外人相手に轉じつゝあるは一般の趨勢なり  
 大正元年十月本社の調査したる米國在住日本人の商業種別左の如し

營業種別	月數	貿易商店	食料品商店
銀行	七	製米所	三三二
會社	六〇	釀造所	八
新聞社	一一	酒類販賣所	四
新聞支社	五四	旅館	一七
雜誌社	一七	放宿	四七六
病院及醫院	六七	下宿	二五八
齒科	二八	魚屋	六三
産婆	三五	果物蔬菜店	二一九
美術雜貨店	二五	菓子屋	五九

三







シカゴ市に於ける雜貨商及びテキサス州に於ける米作  
并にチブラスカ州に於ける砂糖大根耕作の稍々數ふべ  
きあるのみなり

州別

イリノイ	三五	一	四八	計	三九
オハヨ	六七	九	七六		
ミシガン	八一	四	八五		
ウイスコンシン	四六	二	四八		
ミネソタ	六六	三	六九		
ノースダコタ	九五	六	一〇一		
サウスダコタ	四一	一	四二		
ネブラスカ	七六一	一六	七七七		
アイオワ	三三	二	三三		
ミズーリー	九七	二	九九		
キャンサス	九四	三	九九		
ケンタッキー	八	一	九		

中央部諸州在住日本人

テネッシー

アラバマ	二四				
ミシシッピ	二五				
アーカンサス	二				
オクラホマ	四				
テキサス	三三				
ルイジアナ	二九				
インディアナ	二〇				
計	六八				

中央部諸州日本人の出生及死亡 過去五ヶ年間に於ける中央部諸州在住日本人の出生及死亡者數を示せば左の如し

一九〇七年	男	二	女	男	一〇	女	三
一九〇八年	男	六	二	男	二〇	女	〇
一九〇九年	男	三	二	男	一四	女	〇
一九一〇年	男	二	二	男	一〇	女	〇
一九一一年	男	四	六	男	一〇	女	一
一九一二年(六月迄)	男	四	三	男	五	女	一

中央部諸州在住日本人の農業

中央部諸州在住日本人の農業と云ふも、テキサス州在住日本人の農業を措きては他にチブラスカ州在住日本人の經營せる農事の稍々見るべきものあるのみなり、テキサス州の農業は米作及び柑橘栽培を主とし其米作

驗温器製造業

行	一	三	一	家内勤勞	三二〇
商	一	三	一	無職	三三二
計	一	三	一	計	一九六一

紐育市在住日本人

紐育市在住日本人々口は年々殆んど大差なく千三百内外の日本人は何時も此市内に住留す、而して獨立營業をなす者及び之等の店舗使用人數約四百三四十名あり市内の會社商店は其多くは外人を顧客とせる者なれば商業區域内の重要地に店舗を有し外人の大商店と相並んで毫も遜色なきもの多し、即ち三井物産支店の如き、森村組の如き、森村新井會社の如き、正金銀行支店の如き、堀越商會の如き山中商會の如き、茂木桃井組の如きもの之なり、此他大なる事務所を構へ白人と並んで盛大に業を營める者を擧ぐれば、高田商會、大倉組古谷西村商會、日本綿花會社等なりとす、紐育市内には團體と稱するに足るべき者あらざりしが、兩三年前設立したる日本人共濟會は慈善事業を目的とせるものにして、今日は七百六十名の會員を有するに至り其他青年會の如き百名内外の會員を有するものあり

▲紐育市在住日本人營業種別 紐育市在住日本人の營業種別は左の如し

營業種別	戶數
新開社	一
貿易商店	一六
三	三

中央部諸州在住日本人

茲に中央部諸州と云ふは、在シカゴ帝國領事館管轄區内に於ける諸州を指すものにして即ちインディアナ、イリノイ、ミシガン、ウイスコンシン、ミネソタ、アイオワ、ミズーリー、ケンタッキー、ノースダコタ、サウスダコタ、チブラスカ、キャンサス、オハヨ、テネッシー、アラバマ、ミシシッピ、アーカンサス、ルイジアナ、テキサス及オクラホマの二十州なり、此等諸州に散在する日本人は極めて少數にして、其事業の如きも亦擧げて稱すべきものなし、只イリノイス州

銀行	一	五	一	旅館	四
醫院	三	一	下宿	一	七
產科	一	三	菓子屋	一	五
美術雜貨商店	五	一	洋服洗濯所	一	二
食料品商店	三	三	洋服店	一	一
骨董商店	二	二	桂工	三	三
高眞業	四	二	大工	三	三
印刷所	二	二	齒工及圖案家	七	三
西洋料理店	二	二	業	三	三
日本料理店	五	二	計	九	三
飲食店	四	五			











る者頗る多し、大正元年末に於ける此等雜種労働者數を州別に表示すれば左の如し、但しニューメキシコ州は其數極めて少數なるを以て之を省略せり

州別	ネヴァダ州	ユタ州	アリゾナ州	コロラド州	計
農園労働	—	二八〇	五五	一四五二	一七八七
鐵道労働	四五二	—	七七八	—	一二三〇
礦山労働	—	—	—	—	—
家内労働	三三一	四〇七	—	—	七三八
計	六八三	一八二〇	二二八	二七〇四	五、四三五

### 加州在住日本人

一 加州在住日本人を口  
大正元年十月の調査によれば、カリフォルニア州在住日本人は五萬六千七百六十八にして合衆國本土全体に在在せる日本人の六割強に當れり、今之れを主なる地方別に表示すれば左の如し

地方	男	女	兒童	計
サンフランシスコ市	五、〇一一	二、三三三	八四四	六、九八八
オークランド市	一、二五一	—	—	一、二五一
サクラメント市	一、九二六	—	—	一、九二六
ストックトン市	四、三三三	—	—	四、三三三
ロサンゼルス市	五、八五〇	—	—	五、八五〇
リンドレー市	—	—	—	—
計	一七、三六一	二、三三三	八四四	一九、五〇八

### 二 加州在住日本人の農業

カリフォルニア州在住日本人の農業は米國在住日本人の諸事業中最も發達せるものにして、其耕地總面積は米國在住日本人の總耕地面積の約七割六分に當れり、大正元年十月の調査によればカリフォルニア州在住日本人の耕地總面積は二十三萬九千七百二十英加に達し、前年より約四千五百英加の増加なり、而して中一萬七千七百六十五英加は日本人の所有に係り他は現金借地歩合耕作或は請負耕作に係るものなり、今之れを地方別に示せば左の如し

地方	計
アラメダ市	一、六三二
サンノゼ市	一、四二二
アラメダ郡	九、九〇〇
コントラコスタ郡	一、〇七五
サクラメント郡	一、〇二〇
ヨロ郡	二、八五〇
ロイヤル郡	一、二九〇
ロイヤル附近	一、八七五
サンオースチン郡	一、六二二
フレズノ郡	二、四八五
ロサンゼルス郡	二、五三三
サンタクララ郡	一、八〇七
其他地方	一、八四九
計	四、三六八

而して作物の主なるもの及び之れが耕地面積を示せば左の如し

地方別	所有	其他	計
オークランド地方	二、四〇四	六、二八六	八、六九〇
ストックトン地方	一、三〇三	六、九〇二	八、二〇五
サクラメント地方	二、一八八	六、五五五	八、七四三
フレズノ地方	三、〇三〇	四、〇〇〇	七、〇三〇
南部加州地方	五、六三三	一、九五七	七、五九〇
サンノゼ地方	九、九九	二、四六二	一二、四六一
其他地方	一、九六	二、七四二	四、七〇八
計	二、五二二	一〇、二四八	一二、七七〇

### 三 加州在住日本人の商業

大正元年十月の調査によればカリフォルニア州在住日本人の主なる營業種別及其戸數は左の如し

營業種別	戸數
新開社	一
同支社	四
計	五

加州在住日本人

更に之を州内各地方に於ける都市別として表示すれば左の如し

種別	計
雜貨店	一三
銀行	三
醫藥院	三二
齒科	一四
賣場	一一
食料品店	二〇七
美術雜貨店	六〇
畜産店	二一
和洋小間物店	三八
賣場	二六
時計店	三九
洋服店	一四五
洋服洗濯所	一〇八
精米所	七
印刷所	一三
日本料理店	一〇三
西洋料理店	一〇四
醸造所	二
酒販賣所	一六
旅館	三三九
下宿屋	八一
飲食店	一一三
切花販賣所	一六
計	三、三〇〇

一三



(15) 情 事 人 本 日

加州在往日本人

洗滌	射擊	玉	湯	理髮	豆	菓	魚	下	飲	麵	日	西	看	印	時	小	香	寫	賣	精	食	美		
櫃	服	桌	突	髮	店	子	野	宿	食	類	本	洋	板	刷	計	間	籍	真	藥	米	術	雜		
店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店		
六	八	二	三	三	三	三	八	四	二	二	七	七	二	二	四	一	二	五	五	一	二	四		
時	小	香	寫	賣	精	食	美	產	齒	病	新	計	雜	活	蓄	曹	通	銀	眼	大	製	運	家	桂
計	間	籍	真	藥	米	術	雜	業	院	聞	聞	計	業	動	音	通	通	治	科	工	靴	送	屋	屋
店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	社	社	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店
二	二	二	一	二	五	一	一	四	四	四	四	二	五	六	一	一	一	一	五	一	一	一	一	一
▲フレソノ市	計	雜	實	七	貯	命	大	製	運	桂	洗	洋	玉	湯	理	豆	菓	魚	旅	飲	日	西	計	計
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
一	〇	八	一	一	一	一	五	一	四	一	三	一	九	四	八	一	一	四	一	一	〇	五	三	二
射	玉	湯	理	豆	菓	魚	旅	飲	日	西	印	時	小	香	寫	賣	精	食	美	產	齒	病	新	計
的	突	髮	店	子	野	宿	食	類	本	洋	板	刷	計	間	籍	真	藥	米	術	雜	業	院	聞	計
場	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店
一	五	四	〇	一	二	四	二	三	九	五	六	一	五	二	二	二	四	四	一	一	一	一	一	一

旅	酒	飲	日	西	印	時	和	香	寫	竹	實	精	食	貨	美	產	齒	醫	銀	雜	同	新	宜	
館	販	食	本	洋	洋	計	洋	籍	真	細	藥	米	料	品	術	齒	科	院	行	社	支	支	支	
店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	
三	六	一	八	九	〇	四	一	一	七	六	二	三	七	四	二	一	六	二	六	三	二	一	八	一
計	雜	代	花	繪	印	大	製	運	家	桂	種	切	洗	洋	洋	射	玉	湯	理	豆	菓	魚	下	
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	
六	七	〇	三	一	五	五	五	六	六	一	五	七	八	一	六	一	六	七	四	三	五	一	九	三
▲オークランド市	理	豆	菓	魚	下	旅	酒	飲	日	西	看	印	時	香	寫	精	食	美	產	齒	病	新	計	
店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	
一	〇	一	一	一	五	九	一	二	一	六	六	一	二	二	二	一	一	三	四	三	二	四	三	
▲サクラメント市	產	齒	病	銀	雜	同	新	計	雜	野	劇	香	大	製	運	家	土	桂	切	洗	洋	洋	玉	湯
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
三	一	三	一	三	二	二	二	二	二	二	三	一	一	五	七	二	三	一	二	四	一	六	一	九



數は十七個にして、生徒總數五百三十三人なり、今之れを地方別に示せば左の如し

地方別	學校數	教員數	生徒數
桑 港	二	八	九三
アラメダ郡	三	六	五四
サクラメント	二	五	九四
スタクトン	一	二	三三
フレズノ	一	二	三三
南加州	二	七	一〇三
アツソンギル附近	二	五	二二
サンノセ附近	四	六	一〇三
計	一七	四一	五三三

尙桑港に三、アラメダ郡及びアツソンギル地方に各二、パカビル、サクラメント、スタクトン及びフレズノに各一個宛の幼稚園ありて百三十余名の兒童を教養しつゝあり

**六 加州在住日本人の宗教**

▲基督教 カリフォルニア州在住日本人基督教の教會堂は桑港以下二十有餘個所にありて其總數は講義所を合して四千八、教師數四十二人、信者及會員總數は二千五百有餘名なり

▲佛教 佛教會堂も同じく桑港以下九ヶ所にありて開教師數十四名、信徒總數は約五千名なり

ワイオミング州在住日本人

ワイオミング州在住日本人の調査したる處によれば、ワイオミング州在住日本人の口は一千八百六十二人、即ち男一千七百七十八人、女六十二人、兒童三十二人なり、之を前年に比較すれば總數に於て三十名の減少を示し、男に於ては百十四人を減せるも女に於て二十四人、兒童に於て二十人の増加を示せり、而して此等日本人の

ワイオミング州在住日本人

**七 加州在住日本人の團體**

カリフォルニア州在住日本人の公共團體としては各地に日本人會ありて之れが中樞機關たるは桑港の在米日本人會なり、而して此等團體の目的とせる處は在米日本人の權利を益を擁護伸張し併て日米間の親交を圖るにあり、之れがために昨年以來故國の各士數名を招待し、日本人事業の現狀を紹介し以て我國民の對米思想の開發に資せんとしつゝあるは大に多とすべき處なり

團體總數は五十四にして會員總數一萬四千四百余一ヶ年の經費約四萬七千余弗なり

尙他に慈善社交團體及び産業組合等ありて各堅實なる發達を遂げつゝあり

營業種別	月數	種別	月數
新 聞 社	五	精 米 所	一
同 支 社	三	清 酒 釀 造 所	一
雜 誌 社	二	賣 藥 商 店	三
病 院 及 醫 院	五	竹 類 工 商 店	一
齒 科 醫 生	三	寫 真 業	八
產 科 醫 生	五	香 菸 販 賣 店	五
美 術 雜 貨 商 店	五	雜 貨 小 間 物 店	一〇
貿 易 商 店	一	時 計 師 店	五
食 料 品 商 店	三	印 刷 業	四
		看 板 屋	三
		西 洋 料 理 店	二
		日 本 料 理 店	一
		煙 類 製 造 所	一
		飲 食 店	二
		酒 販 賣 店	六
		旅 宿 館	八
		下 宿 屋	〇
		魚 屋	〇
		菓 物 蔬 菜 店	五
		菓 子 店	〇
		豆 腐 屋	二
		理 髮 店	五
		湯 浴 場	二
		洋 服 店	三
		雜 貨 店	九

**四 加州在住日本人の雜業**

▲漁業 カリフォルニア州在住日本人の漁業地はモントレイ及ロスアンゼルス附近の二漁業區なり、現在新業に従事する漁夫は約二百五十名にして、其所有に係るギヤスリン、ボート數三十五隻、他の漁舟百十隻に達し、一ヶ年の捕魚斤數は六百萬斤以上に及び其價格は二十五萬弗余なり

▲雜種労働 カリフォルニア州在住日本人の雜勞動種別及其人員數を示せば左の如し

種別	人員
農 園 働 働	二二、二一四
家 内 勞 働	三、五四七
鐵 道 働 働	九三五
計	二九、二三三

▲加州在住日本人の教育

カリフォルニア州在住日本人兒童に補助教育として日本語を教授すべく日本人によりて經營せらるゝ小學校







アイタホ州在住日本人

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
廣島	向井卯一	借地	四八	砂糖大根、芋、* *ト、野菜、* *ト、野菜、* *ト、野菜、*
同	西岡 泰助	同	八	同
新潟	小林 源一	同	一八	同
同	屋野 計次	同	八〇	同
奈良	植松丑太郎	同	五〇	同
同	加藤 二名	同	一三	同
廣島	森田段次郎	借地	一八二	同
同	武田 義人	同	一四〇	同
同	古賀 兄弟	同	二四〇	同
和歌山	城 正藏	同	六七〇	同
同	坂下弘太郎	同	三三〇	同
青森	秋元 正規	借地	五五	同
同	佐賀 庄三	同	七〇	同
同	高橋源之助	同	六〇	同
同	菅野 平次	同	一四〇	同
群馬	飯野 健輔	同	三〇五	同
高知	山田興三吉	同	七五	同
同	佐藤繁右衛門	借地	二五	同
同	山田 清彦	歩合	九〇	同
廣島	山上淺太郎	借地	一〇	同
同	安藤 剛市	同	一〇	同
同	瀧元 三吉	同	一〇五	同
山口	龜谷 政市	同	三五	同
同	目黒 孝成	同	五〇	同
同	大槻 孝成	同	五〇	同
同	加藤吉五郎	同	四〇	同
同	桑名千之吉	同	四〇	同
同	笠井 博	歩合	一〇〇	同

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
同	山崎 秀吉	借地	二〇	同
同	谷口吉五郎	同	二五五	同
同	外 二名	同	三〇	同
同	武藤政太郎	同	一六〇	同
同	外 一名	同	一五	同
同	二見 長吉	同	一五	同
同	相良 丑吉	同	一四〇	同
同	高橋常二郎	同	一一〇	同
同	榎木 喜市	同	一八〇	同
同	吉宮 淳一	借地	三〇	同
同	二瓶 興市	同	四〇	同
同	榎木 代吉	同	六五	同
同	榎木 代吉	同	八〇	同
同	崎原 忠平	歩合	三〇	同
同	平田初四郎	借地	五〇	同
同	山崎 共六	同	五〇	同
同	大田 喜市	同	八〇	同
同	藤原 興隆	歩合	五〇	同
同	藤原 興隆	同	五〇	同
同	日下源三郎	借地	四〇	同
同	西村千太郎	同	四〇	同
同	同山 寛次	同	二五	同

二二

アイタホ州在住日本人

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
廣島	向井卯一	借地	四八	同
同	西岡 泰助	同	八	同
新潟	小林 源一	同	一八	同
同	屋野 計次	同	八〇	同
奈良	植松丑太郎	同	五〇	同
同	加藤 二名	同	一三	同
廣島	森田段次郎	借地	一八二	同
同	武田 義人	同	一四〇	同
同	古賀 兄弟	同	二四〇	同
和歌山	城 正藏	同	六七〇	同
同	坂下弘太郎	同	三三〇	同
青森	秋元 正規	借地	五五	同
同	佐賀 庄三	同	七〇	同
同	高橋源之助	同	六〇	同
同	菅野 平次	同	一四〇	同
群馬	飯野 健輔	同	三〇五	同
高知	山田興三吉	同	七五	同
同	佐藤繁右衛門	借地	二五	同
同	山田 清彦	歩合	九〇	同
廣島	山上淺太郎	借地	一〇	同
同	安藤 剛市	同	一〇	同
同	瀧元 三吉	同	一〇五	同
山口	龜谷 政市	同	三五	同
同	目黒 孝成	同	五〇	同
同	大槻 孝成	同	五〇	同
同	加藤吉五郎	同	四〇	同
同	桑名千之吉	同	四〇	同
同	笠井 博	歩合	一〇〇	同

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
同	山崎 秀吉	借地	二〇	同
同	谷口吉五郎	同	二五五	同
同	外 二名	同	三〇	同
同	武藤政太郎	同	一六〇	同
同	外 一名	同	一五	同
同	二見 長吉	同	一五	同
同	相良 丑吉	同	一四〇	同
同	高橋常二郎	同	一一〇	同
同	榎木 喜市	同	一八〇	同
同	吉宮 淳一	借地	三〇	同
同	二瓶 興市	同	四〇	同
同	榎木 代吉	同	六五	同
同	榎木 代吉	同	八〇	同
同	崎原 忠平	歩合	三〇	同
同	平田初四郎	借地	五〇	同
同	山崎 共六	同	五〇	同
同	大田 喜市	同	八〇	同
同	藤原 興隆	歩合	五〇	同
同	藤原 興隆	同	五〇	同
同	日下源三郎	借地	四〇	同
同	西村千太郎	同	四〇	同
同	同山 寛次	同	二五	同

二〇







▲オレゴン州の由來 オレゴン州が初めて合衆國の領土となりし時の面積は頗る廣大なる者にして、ロッキ山以西太平洋に至る北緯四十二度のバラレルより北に延び約三十方哩なりと云ふ、以下オレゴン州が如何にして發達し來しかを時代を逐ふて述べんに一千五百九十二年希臘人デーファカなる者水先案内者として西班牙政府の保護の下に來り去事ありまも何等記録をも殘さざりしが一千六百四十年に至りアドミラル、フオンテは部下を率ゐて來り北緯五十五度迄の地圖を作れり、一千七百九十二年に及びボストンの人キャプテン、ロバート、グレイ氏コロンビヤと呼べる船にて來り一大河を發見してグレースベイ迄廻り、其船名を取りてコロンビヤ河と稱せり、夫れより後一千八百三年に佛國よりルイジアナを買収したる合衆國はオレゴン州を其買収領内にある者と主張せり、之れが爲め一千八百四年にルイス及びクラークの二氏は探險隊を組織して未開のオレゴンに來りて見聞きたる結果、オレゴン州の富源の大なることを發表せり、斯くて一千八百十年にキャプテン、ウキンシブ(ニューイングランドの

オレゴン州

### オレゴン州

#### 一 オレゴン州概観

人)はコロムビヤ河畔に、オレゴンに於ける最初の家を建て其翌年にはニューヨークの人ジョン、ジャコブアスターなる者一貿易場をコロムビヤ河口より十四哩の河上に建設せり、是れ現在のアストリア市なり、此の時に當りオレゴンに關し英米間に一問題起り、英國も此土地をクレームする處ありたり、即ち一千五百五十八年に英國人ドレークは北緯四十八度迄一千七百七十八年にはクラーク、デ、フオーカ海峽迄の探險をなし、一千七百九十三年にバンクーバーは英國海軍省の命令により、西北部に通路を發見する爲めにコロムビヤ河を廻り、現今のバンクーバー市まで來りし事ありされど結局英國は條約に依りて米國に之れを讓渡せり壹千八百二十四年にはハドソンベイ會社の雇人たるフオート、ジョージなるものアストリアの附近に於て始めて植林及野菜類の栽培に従事し、壹千八百三十二年にはマサトエセットの人キャプテン、ワイズなるものセベリアアイランドにて始めて漁業に従事せり、一千八百三十四年美以派の牧師デュソン、デニエルの兩人はキャスケード山の東方に來りて布教に勉むる筈なりしもパドソンベイ會社監督の勸めによりてウキラメットの流域に來り布教勞々十二人の土人子弟を集めて手工學校を興せり、一千八百四十年彼等の家族は五十二

二五

大島組	借地	三五	砂糖大根
小島江藤組	同	四〇	同
同野組	同	四〇	同
▲ヤングスポイント地方	借地	六〇	同
川上熊次郎	同	四〇	同
丸林組	同	四〇	同
▲ブリヂヤ地方	借地	四〇	同
室常吉	同	四〇	同
野村勘兵衛	同	四〇	同
森本倉松	同	一六〇	ヘイ
坂本結吉	同	二〇	砂糖大根
白川長一郎	同	三〇	同
久保桂三	同	五五	同
坂本朝之	同	八〇	同
川内勝五郎	同	一五	同
北海道	同	六〇	同
▲ロックヴェール地方	借地	四二	同
宇部宮乘	同	一六〇	同
大越強	同	一六〇	同
▲プロムパーク地方	借地	三〇	同
邊藤之助	同	四〇	同
荒木兄弟組	同	四〇	同

二四

▲セリシヤ地方  
宮城(須崎五郎) 借地 四〇 同  
平塚東蒼  
▲ホワイトフキツシ地方  
大分 堀松太郎 借地 三三〇 同  
▲モンタナ州在住日本人の商業  
モンタナ州在住日本人の商業は未だ見るに足るものなし、大正元年十月本社の調査したる處により、州内各地日本人の經營せる營業種類と其戸數とを示せば左の如左

營業種類	戸數
旅館	八
飲食店	五
洋食店	六
洋服店	一
人夫請負業	五
洗濯屋	一
計	二六

四 モンタナ州在住日本人の雜種勞働  
モンタナ州在住日本人の雜種勞働の主なる種別及び其人員數を示せば左の如し

種別	男	女	計
農園働	二八九	一四	三〇三
鐵道働	一一二五	七	一一三二
家内働	一一一	五	一一六
計	一六二五	二六	一六五一



人の大人及二十の小兒を數ふるに至り一千八百四十七年に及び彼等は布教を第二とし主として土地開墾に従事せり、一千八百三十五年牧師サミュエル、パーカー及ドクターホイットマンがオレゴンに布教のため派遣せられてより毎年アメリカンフアール會社の探險隊相次げり、されど一千八百四十二年に至るもオレゴンに於ける白人は僅に二百四十人のみなりしがオレゴン開拓に熱心なるドクターホイットマンは自らワシントン政府に至りて運動し、一千人以上の移民を連れ來り翌一千八百四十四年に假行政機關をオレゴンに建設せり、而して從來米國と英領加奈太との境界確定せられざりしを一千八百四十六年に至りて北緯四十九度を以て兩國の境界となし、一千八百四十八年ゴングレツスはテリトリ政府をオレゴンに建設する事に決し、知事としてゼネラル、ジョセフ、レーンに任命せり、レーンは翌一千八百四十九年三月任地オレゴンに來り、後一千八百五十九年に至り、初めてオレゴン州なる名稱の下にユニオンに加盟を許されたり

人口既に六十七万に達せり、而も其面積より云へば人口甚だしく稀少なるが故に將來の發展は又一層目覚ましきものあるべし

▲オレゴン州の地勢 加州に隣れるオレゴン州は北緯四十二度を以て其境界線となし、夫れより北方に進みてワシントン州との間を流る、コロンビヤ河の中流に至り、同河の中流を東方に廻りてコロンビヤ河の河幅最も廣く三角洲によりて岐る、華州ワラワラに近き北緯四十六度の地點に達し、夫れより東方同緯度に依りてスネーク河の本流に到り同河より轉じて南方に進みオーヒー河の未流即ちスネーク河の合流域に達し、直線北緯四十二度に走る一帯にして更にオレゴン州海岸線より西方三哩迄を以て其面積地境界線となす、此面積陸地九万四千五百六十六方哩、水面一千四百七十七方哩計十萬五千三百三十三方哩にして我が新領土朝鮮の面積に相似たり、オレゴン州はマレットノマ郡以下三十二郡に區劃せられ、又西部中部東部南部の四部に分割せらるワシントン州より來るキャスケード山脈の西部は州中最も開けたる地方にしてプリュー山脈は州の東北より入り、スチーン山脈は州の東南部を扼す、州の沿海を走る山脈は海岸山脈にして直ちに太平洋に面せり

▲オレゴン州の人口 オレゴン州が未だ一州としてユ

日本人事情

(27)

ニオンに加盟せず且つ憲法を制定せざりし以前即一千八百五十年に於ける人口は僅かに一万三千餘人なりしが六十年後の今日に於ては著しく増加して六十倍以上の人口を包容するに至れり、其年表は左の如し

年度	人口	増加率
一八五〇年	一三、二九四	—
一八六〇年	五二、四六五	二九四、七
一八七〇年	九〇、九二三	七三、三
一八八〇年	一七四、七六八	九二、二
一八九〇年	三二七、七〇四	八一、八
一九〇〇年	四一三、五三六	三〇、二
一九一〇年	六七二、七六五	六二、七

▲オレゴン州の農業 合衆國々勢調査局の發表したる處により、過去十年間に於けるオレゴン州の農園數及び其面積の増加を示せば左の如し、但し單位は千英加とす

年度	農園數	農園面積	耕作面積
一九〇〇年	三五、〇〇〇	一〇、七、四〇四	三、三、八、八、五九
一九一〇年	四五、〇〇〇	二、六、八、五、一〇	四、二、七、四、八〇三

而して農園價格は一千九百年に於て一億七千二百七十六万二千弗なりしが現今に於ては地價暴騰し五億二千八百廿四万四千弗と評價せらるる

更に一千九百十一年に於ける農産物及び家畜類を時價にて表示すれば左の如し

オレゴン州

種別	價格	野菜類
家畜類	八七、八五、四七〇	七、三、五、〇〇〇
穀類	三〇、四、七、二〇〇	二、八、〇、〇〇〇
果實類	四、〇、四、五〇〇	一、六、六、七〇、三七九

▲農業者と地價平均額 オレゴン州に於ける白人の農業者は四万五千五百二人にして、土着の者三万五千八百十九人移住者九千六百八十三人なり、州内に於ける一英加の平均額を示せばマレットノマ郡並にフッドリッパ一兩郡の百廿五弗平均以上を算するあるも他郡に於ては未だ充分に發達せざる爲め全州の平均地價は一英加三十五弗内外なり

▲オレゴン州の灌漑 國勢調査局の發表せる處に依ればオレゴン州の灌漑狀況は左の如し

年度	灌漑地	灌漑地
一九〇〇年	三八、八三、一〇〇	一、八、四、三、七七一
一九一〇年	六八、六、二、二九	一、二、七、六、〇、二二四

にして可能灌漑地は二百五十二万七千二百八英加なれば既灌漑地は約其の四分の一に當れり

二 ポートランド市

▲市の面積 ポ市人口の激増に伴ひ市區も漸次に擴大せられ現今市の廣表は南端より北端に至る八哩、西端より東端に至る七哩五十六方哩の面積を有し太平洋沿岸中第二位に屬せり







大正元年九月本社が調査したる處に依りオレゴン州内に於ける日本人農業者及其作物等を地方別に表示すれば左の如し

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
熊本	安藤 末松	借地	四八	苺、野菜
同	大塚 新藏	所有	三〇三半	同
同	宮崎 勝馬	借地	四四	芋、果物、野菜
同	狩谷猪之助	同	一五	同
同	富山左馬吉	同	一五	同
同	片山 景源	同	八四	同
同	古益 林藏	所有	二四六	苺、芋、野菜
同	沖田辰五郎	借地	二四五	同
同	吉宮 助藏	同	三〇	苺、野菜
同	河本 彌吉	同	四〇	同
同	伊藤春治郎	同	六〇	同
同	伊藤春治郎	同	三五	同

▲モンタニラ地方

オレゴン州在住日本人

府縣	姓名	耕地種別	英加數	作物種別
三重	川口卯之助	同	二半	苺
長野	小田中丈平	借地	一七	苺、雜
同	代田 金吾	所有	一五五	苺、野菜
同	堀木 貞治	所有	二七〇	苺、芋
同	木村健之丞	所有	一〇	苺、野菜
同	小川三之丞	借地	一〇	同
同	小野半二郎	所有	一五五	同
同	新田 多吉	借地	八〇	同
同	須貝 久作	同	一四	同
同	松川 林作	同	二〇	同
同	清原重太郎	同	二〇	同
同	藤島松太郎	同	二〇	同
同	田島 春作	同	一〇	同
同	青木安太郎	同	五〇	同

▲クレオン地方

▲レンツ地方

更に之を其經營者の府縣別に表示すれば左の如し

府縣別	個數	所有地	借地	計
廣島	三二	六六八	九〇六半	一五七四半
岡山	五一	五六〇、四分一	九七六半	一五三六、四分三
福岡	一七	三七五	九六四	一、三三九
熊本	一一	一七半	二七八	二、七五半
山口	九	六二半	二八二半	三、四五
愛知	八	六五	九〇	一五五
和歌山	六	一〇	二二五	二三五
北海道	二	四八〇	一八〇	六六〇
長野	一五	一四〇	二六四半	四〇四半

府縣別	個數	所有地	借地	計
靜岡	四	一〇	八七半	九七半
新潟	三	一〇	三九	三九
滋賀	二	五四	六五	一一九
大坂	二	一八五	二六	二一一
石川	二	一八五	一八五	三七〇
愛媛	一	一八〇	一五	一九五
三重	三	一八〇	二半	一八二半
千葉	二	七半	二〇	二七半
奈良	二	二〇	二〇	四〇
鳥取	二	二〇	二〇	四〇
東京	一	一	八〇	八〇
佐賀	一	一	七〇	七〇
神奈川	一	一	七〇	七〇
群馬	二	一	三八	三九
長崎	二	五〇	六〇	一一〇
福島	二	二〇	二〇	四〇
福井	一	一〇	一〇	二〇
栃木	一	一〇	一〇	二〇
其會社	六	一、八四一	一八	一、九二九

右の表に依れば廣島、岡山、福岡の三縣は共に一千英加以上に上り北海道、長野、山口、熊本之れに亞げり

備考 右の表中には利益分配借地百七十五英加を含むクレオン地方なる國武氏の所有借地六百四十英加は所有地英加數に分別なりしを以て共に借地の部に編入せり

三 中央在日本人住農業者地方











\*\*\*\*\*

静岡	遠藤 省平	同	一〇	同
岡山	笠石 阪太郎	所有	一〇	林檎、葎
岡山	森岡 英彦	同	二〇	同
岡山	佐藤 四郎兵衛	同	一〇	同
岡山	登森 理三郎	同	一〇	同
岡山	武田 吉蔵	同	一〇	同
岡山	▲デー地方			
岡山	總貫 百市	所有	二〇	林檎、葎
岡山	金指 吾市	同	三〇	同
岡山	堀川 松太郎	同	二〇	同
岡山	今村 太市	同	三〇	果物、野菜
岡山	▲ゼ、ガラス地方			
岡山	三垣 保次郎	借地	一〇〇	果物、芋、野菜
岡山	森岡 英彦	利益分配	四〇	林檎
岡山	吉成 久八	同	四五	果物、野菜
岡山	▲ポイド地方			
岡山	コロムビア 殖産 會社	所有	三四〇〇	芋、麥、果物
岡山	牧野 伊三次	同	一二五	芋、麥、果物
岡山	森谷 貞次郎	同	一〇〇	芋、麥、果物
岡山	古井 榮次	同	五〇	芋、果物

長野	下村 眞助	同	五〇	芋、麥
石川	阪井 庄三	同	一三五	芋、果物
同	大坪 魁一	同	五〇	麥
岡山	▲メットフォード地			
岡山	平岡 順一	借地	一〇〇	野菜
岡山	▲ユニオン地方			
岡山	瀧田 文七	借地	一五	芋、野菜
岡山	浦田 吉	同		
岡山	▲ベンドルトン地方			
岡山	星野 勝之助	借地	八	果物、葎
岡山	▲ペーカー地方			
岡山	金四 房吉	所有	二九八	果物、芋、野菜、葎
岡山	▲インデペンデンス地方			
岡山	三吉 長太郎	所有	一六五	ハンプス、芋、葎
岡山	▲オスマゴ			
岡山	大野 万太郎	借地	二五	葎、野菜
岡山	▲ボーリング地方			
岡山	高尾 猪之助	所有	二四〇	ハイ、芋、森林
岡山	同 八 郎	借地	二〇〇	
北海道	▲ブル、ラン地方			
北海道	高尾 猪之助	所有	二四〇	ハイ、芋、森林
北海道	同 八 郎	借地	六〇〇	

\*\*\*\*\*

岡山	▲フー、リグアー地方			
岡山	橋高 國市郎	所有	二〇	林檎
岡山	中山 守平	同	二〇	林檎
岡山	片山 郡三	同	二〇	同
岡山	同 茂比知	同	二〇	同
岡山	竹中 小左衛門	同	一五	同
岡山	岩月 龜五郎	同	一五	同
岡山	菱川 壽一郎	同	二〇	同
岡山	渡邊 倉吉	同	一〇	同
岡山	更 井 亘	同	一〇	同
岡山	秋山 卯七	同	一〇	同
岡山	森 芳右衛門	同	一〇	同
岡山	堀 千代作	同	一〇	同
岡山	坪井 模次郎	借地	一〇	同
岡山	横田 壽善治	所有	一〇	同
岡山	伊丹 朝治	同	一〇	同
岡山	大岡 万吉	同	一〇	同
岡山	尾崎 榮二郎	同	一〇	同
岡山	平山 幸太郎	同	一〇	同
岡山	石川 健吾	同	一〇	同
岡山	同 末吉	同	一〇	同
岡山	山田 伊三郎	同	一〇	同
岡山	立石 甚左衛門	同	一〇	同
岡山	淺井 佐五郎	同	一〇	同
岡山	伊藤 福太郎	同	一〇	同

岡山	佐藤 彌三郎	同	一〇	同
岡山	宮田 智賢	同	一〇	同
岡山	木下 耕	同	一〇	同
岡山	柄澤 初太郎	同	一〇	同
岡山	小林 五郎	同	一〇	同
岡山	平澤 傑一	同	一〇	同
岡山	小川 茂次郎	同	一〇	同
岡山	小穴 治平	同	一〇	同
岡山	佐藤 忠雄	同	一〇	同
岡山	爲野 恒平	同	一〇	同
岡山	平澤 恒平	同	一〇	同
岡山	則松 龜松	同	一〇	同
岡山	白石 八十吉	同	一〇	同
岡山	弓部 字太郎	同	一〇	同
岡山	五家 伊太郎	同	一〇	同
岡山	中川 鶴吉	同	一〇	同
岡山	西岡 興吉	同	一〇	同
岡山	西本 乙一	同	一〇	同
岡山	川島 要蔵	同	一〇	同
岡山	那順 近治	同	一〇	同
岡山	岡村 善吉	同	一〇	同
岡山	岡重 喜市	同	一〇	同







エスモンド	チエスター	ワイオミング	オハ	モナス	ニユーホーソン	ニユーランド	シヨンドン	アイダホ	アイダホ	ニューエス	ターミネス	ワシントンホテル	ウフンチエスター	ボートラツチ	クレントホテル	染川旅館	紐育ホテル	パナマホテル	ミカドホテル	井上旅館	帝國旅館	峰谷旅館
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

オレゴン州在住日本人

大賀又助	吉田只五郎	藤田宇三郎	角田友七	清水廣吉	清水松次	中園谷藏	遠山吉之助	井田辰五郎	山根爲次郎	河内村宗吉	湯淺虎之助	前島操	二宮常吉	時枝重榮	齊藤治	染川憲策	海田兵衛	廣田光衛	米田辰次郎	赤松桂次郎	井上熊吉	仁熊長太郎	松川三郎	染川憲策	峰谷延吉	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

平松達三郎	中村大郎	田中仁六	畑中仁一	伊集院吉	松重岩吉	宮島真	小野真之進	森下吉	正田米一	澄田七次郎	海澄清一	前田只一	竹内兄弟	河本恒吉	佐藤恒太	小林元次郎	宮本権六	伊藤次郎	角田一太郎	海士金太郎	瀬戸金太郎	横手房吉	岩田信次郎	山下彦太郎	山下彦太郎	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

四一

イークルチャツプ	東京	マンサイド	アドルフ	ニユーアドルフ	ユニオン	スダ	アオ	オウケイチャツプ	東京	宮川	松浦	フレンチ洗濯所	前田洋服店
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

古谷三左衛門	若宮照太郎	内村幸吉	遠川徳太郎	廣田彦三郎	町田弘三	苗村清一	中島高	谷本高才	山本武行	鬼谷友次	廣田熊次郎	生田武幸	新田孫次郎	有田太次郎	武蔵純三郎	山本藤左衛門	永江密之助	同織田朝一人	宮川盛一	松浦政二	石崎福正	片岡太	前田卯三郎	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

四〇







▲メットフォード

新炭販賣	齊藤開作	群馬
同	荒尾梅二郎	愛知
同	古田善之助	和歌山
サンライズ	山下吉	同
同	忠次郎	同
下	山下勝太郎	廣島

六 央州在住日本人の雑種労働

オレゴン州在住日本人の雑種労働の主なるは農園労働、家内労働、鐵道労働、製材會社労働及伐木労働等なりとす。大正元年九月本社の調査したる處により、此等労働者の總人員及一人一ヶ年收得平均額を示せば左の如し

種別	總人員數	一人一ヶ年收得平均額
農園労働者	六一三	六〇〇
家内労働者	一〇〇七	六五〇
鐵道労働者	六五三	六〇〇
製材會社労働者	一四八	六五〇
伐木労働者	九二	七〇〇

右の外夏季には二百名内外のキャッチャー労働者あるも這は殆んど夏季のみに限られ其收得平均額は百七十八弗位なるが、秋季には何れも歸來して他の労働界に入るものなるを以て之を除けり

七 央州在住日本人の教育

▲日本人經營の小學校及幼稚園 若林開教師が其會堂内に日本人兒童を集め日本語の教育を施し始めたるは明治三十八年にして、爾後殆んど八年間其業を繼續し來りしが、本年一月に至り日本人會は別に教育贊助會なる者を起し、贊助員を募集して央州小學校を設立し別に教師を聘して授業の勞を採らしむるに至りたれば茲に若林氏の手を離れたる小學校の設立を見るに至りたり、現在同校の收容せる兒童は男十四名女八名計二十二名にして佛教青年會堂を假敷場に充て居れり、幼稚園も教育贊助會の維持する所にして、小學校と校舎を別にし保母一名を雇ひて保育の任に當らしむ、現在の園児は男九名女十一名計二十名なり

八 央州在住日本人の宗教

央州日本人の宗教は佛教と基督教との二派に分る佛教は西本願寺に屬し、基督教は美以派に屬せり  
▲佛教 央州日本人の佛教は基督教に比して稍優勢なりと謂ふ可く始めてポートランド市に佛教會堂を設立したるは明治卅六年十一月なりが、爾來漸次に其勢力を増し四十二年十月には二万余弗の巨額を投じて土

地を購入し、會堂を新築して茲に佛像を安置するに至れり、開教師は西本願寺の派する所にして若林性隨氏一人なるが目下の信徒及會員數は一千八百余名なり  
▲基督教 佛教と同じく其團體本部はポートランド市にありて美以派に屬し、明治廿五年十二月始めて會堂を設立せり、爾來一盛一衰ありて今日に及び目下信徒及會員數五百内外あり

九 央州在住日本人の團體

オレゴン州日本人の公共團體はオレゴン州日本人會のみなりと云可しポートランド市を中心とて日本人の團體が始めて成立したるは一千九百二年なりしが越て一千九百七年之を解散し、以來日本人の公共事務は零五會に於て取扱はれたりしに、翌一千九百八年に至り各個の小團體より代議員を選出してオレゴン州日本人協議會を組織し、公共の事務を議するに至れり、一千九百十年一月協議會を更めてオレゴン州日本人會となし半數の代議員を各個の小團體より選出したる者、半數を會員相互の投票に依る普通選出代議員とせしが、越えて一千九百十一年に至り更に此制を修正し、全然普通選出代議員のみを以て組織するに至れり、一千九百

十年度の會員總數は二千百十名にして一千九百十一年に至り、三百四十名の新入會者を見るに至れり、會員は毎年一弗の會費を納む、是れを以て會の經常費及基本金に充つ、而してオレゴン州を八區に區分し、各定規の代議員數を投票に依りて選舉するの制なり、尙他に縣人會等の團體あり

華盛頓州

一 華州 概観

▲華盛頓州の地位及面積 華盛頓州は北米合衆國本土の西北部に位し北緯四十五度三十二分より同四十九度に亘り、西經一百十六度五十七分より同二十四度四十八分に至り、北は英領コロンビヤ、南はオレゴン州、東はアイダホ州に接し、西は太平洋に面し、西北はジェアン、デ、フューカ海峡及ジョージヤ灣を隔て、グアンクラーグアイ島に對する長方形の州にして東西の最長部三百六十哩、南北の最廣部二百四十哩、面積六万九千一百二十七方哩（内二千二百九十一方哩は水面）なり

▲華盛頓州の地勢 地理上より之を見るに華州はキャ



スケード連山に依て東西に區分せらる、而して此連山の最廣部は一百哩に亘り、高點は南方にて一万四千五百呎のレニヤ、一万二千四百呎のアダムス及一万呎のセントヘレンスの三大火山の峯嶽、北方にては一万八千呎のベーカー山等にして其他に於ては平均五千呎に達す、キヤスケード連山の東、コロンビヤ河の大迂回を爲せる邊は廣漠たる廣原にして、海拔一千呎より二千呎に達し、同河と之に注げる流河并に俗にクレイと稱する往古の河床にして、今日にありては時として乾燥し時としては流水ある峡谷の其單調を破れるあるのみなれど、其西に於ては大小の山脈東西に走り、キヤスケード連山の支脈となれるが如し、更に去つて州の東北隅、スネーク河の南部に至ればブリュー山脈の起れるを見る、而して又之に對する地方即ち同河及コロンビヤ河の北に於ては山嶽起伏し其最高點は六千呎に及び遙かにロッキン山脈に連れり、西部華州はキヤスケード連山と海岸山脈との間に横たはる南北に長き地にして、其最も高き處と雖も海拔一百呎を超えず、ビューゼット、サウンドの各肢は其間に入出し、世界中稀れる港灣を形造れり、海岸山脈は南方に於ては起伏甚しきも最高點は二千呎に達せず、之に反して北部に於ては漸次上りてオチンピツタ山となり、高さ八

千五百呎に及ぶ、而して其麓とも云ふべき太平洋沿岸はグレース及ウイラツパの二灣を除けば殆んど直線をなせり  
華州に於ける最大河はコロンビヤ河にして、始めクマクフーオー一名ベンドロールの水を併せて州の東北隅より入り、大迂回をなして南に走り、スネーク河に合し、轉じて西に流れ、オレゴン州の境界線になり終に太平洋に注ぐ此河は合衆國中最も風景優美なるもの、一なると同時に魚族特に鮭類に富むを以て名あり、東部及南部華州の大小河流は盡くコロンビヤ河に入れども、西部に於けるものはビューゼット、サウンド及太平洋に注ぐ、内比較的大なるは北に在りてはスキヤジツト、南にてはネスクワリー、海岸山脈地方にてはチハリス河とす、又華州には數多の湖沼ありて、その有名なるものは東に於てはチーラン、西部にてはワシントン湖等なり  
▲華盛頓州の氣候 華州の地がキヤスケード連山に依りて區分せらるゝが如く、氣候も亦東西其度を異にす即ち東部に於ては極暑極寒の差甚しき様に見受られ、且雨量は一ヶ年平均十吋乃至十五吋に過ぎざるを以て常に乾燥せるが如き感あれども、灌溉の便宜なきが故に牧畜及農業に適せり、西部に在りては毎年十二月よ

り翌年二月の頃までは雨量百吋の多きに及ぶと雖も、太平洋暖流の影響を受け氣候温和なるが故に、濕氣の爲めに疾に罹る者なし、統計表の示す所によれば、一千人に對する一ヶ年の死亡數は僅に七人に過ぎず、以其健康地たるを知るべし、夏期に於ては冬期に反し六月より九月に至る間は殆んど降雨あらざるも、炎熱を感することなく、日中と雖も九十度以下なるは又太平洋の融合的影響に起因するや必せり  
▲華盛頓州の沿革 華盛頓州の歴史は其オレゴンの一部分たりし時代、オレゴンより分離して華盛頓テリトリーを樹てし時代及現代即ち合衆國の一州となりたる以來の時代の三つに別つを以て適當なりとす、而して第一の時代の歴史は云ふまでもなく、オレゴン州と同一なるが故に之を同州の部に譲り、本項に於ては専ら其以後の沿革を記述せん  
オレゴンの一部が分離して華盛頓テリトリーとなりたるは千八百十三年三月二日のことにして、當時の東境はロッキン山、南界線の東部は北緯四十六度西部はコロンビヤ河たりしを以て、今日のモンタナ州の一部を併にアイダホ州を包含せる頗る廣大なるものなりしが、其人口に至りては僅かに三千九百六十五人、内選舉權ある者一千六百八十二人を有するに過ぎざりき、

ワシントン州

然るに東部華盛頓に於て金鑛發見さるゝや、俄然移民の數を増加したるが故に印度人は大に恐れて、白人を殺戮せんと計り、遂に彼の千八百五十五年より同五十六年に亘る華盛頓オレゴン印度人戰爭を惹き起すに至り、之に次いで千八百五十七年英領コロンビヤに於て金鑛の見出さるゝや、人口の増進と共に屢々印度人の衝突を生じたるに拘らず、千八百六十年鮭河金鑛の發見後は移民の數益々多きを加へたり、斯の如く東部人民の華盛頓に入り來りし結果、合衆國政府は華盛頓と英領コロンビヤとの境界線に關し、英國と爭議を生ずるに至れり、抑も英米兩國政府が千八百四十六年の條約に於て此境界線を定むるや、先づ北緯四十九度に從つてヴァンクグーア島と本土との間の海峡に至り更に同海峡に沿ふて太平洋に達するものとせしが、右の紛糾の點は此海峡は何れのものかを意味するかに在りて存す、換言すればサンジュアン島を包含せるヘイロー群島は英米の何れに屬するやの問題にして、之が爲め兩國は干戈を交ふるに至らんとしたるも、千八百七十二年十月獨逸皇帝の仲裁に依り、此群島は合衆國の有となりて局を結びぬ  
華盛頓テリトリーが州とならんとすの運動を開始したるは千八百七十六年のことなるが、尙ほ早計に失したる



を以て當時は好果を収むる能はざりしと雖も、後千八百八十九年二月二十二日に及び時の大統領は兩ダクタ及モンタナと共に州を設立する法律案(所謂オムニバスペル)に署名したるが故に、同年七月四日憲法起草會を開き、十月一日之が批准を経ると同時に諸官吏を撰舉し、十一月十一日に至り事實上一州を形成せ、爾來華盛頓は急速なる進歩をなせり

▲華盛頓州の人口 華盛頓州は人口の増加最も著しき州の一なり、未だテリトリ時代なりし一千八百五十二年には僅かに三千九百六十五人なりしものが七年後の一千八百六十年には一万一千五百九十四人、一千八百七十年には二万三千九百五十五人、一千九百八十年には七万五千百六十六人に増加し、更に州となりたる翌年即ち一千八百九十年には俄然激増して三十四万九千三百九十人となり、一千九百十年には五十一万八千八百三人に増加したり、而して一千九百十年に於ける米國々勢調査の結果によれば同年華盛頓州の人口は實に一百四十四万一千九百九十八人なり、斯くの如く華盛頓州の人口は一千八百八十年より同九十年に至る十年間に著しき激増をなしたるは、一千八百八十四年大北鐵道の竣成して富源の開墾せらるゝに至れるが爲にして、其後一千八百九十六年には、アラスカのクロナダイの

金鑛發見せられたると、同年日本郵船會社が航路を開始して東洋貿易を増加したるに依れり  
▲華盛頓州の農業 華盛頓州は地方に依て其氣候の差異あるのみならず、土壤も亦各部之を異にするを以て勢ひ農産物にも數多の種類を有す、今土壤に就て觀察するに、東部の中央に位する高原は概して火山石の粉末、腐植土とより成り、穀類の耕作に多くの水を要せず、東部森林の附近及州の北境に接する地帯に東北湖は粘土質を帯ぶるが故に牧畜と果園とに適す、又以前耕作には到底不可能なりと信せられたる乾燥地即ちチャキヤ、ウキナツチ、エンチアット、メソ、チーラ、オカソガンの諸平原は今や澆灌法によりて面目を一新し、多くは果樹園となりたり、西部に於ける高地は多く粘土質にして、牧草、穀類の耕作及牧畜、果園に適し、河畔の地は州内第一の肥土を存するが故に總しての農作物に適當なり、又西部の特徴とも云ふべきは森林中よりファー及シダーの大木を伐り出したる跡の地にして各所に散らされり、此地の開墾せられたるものは殆んど總ての耕、果園、牧畜に用ふるに最良なりと稱せらる  
合衆國々勢調査局の發表せる處によれば、華州に於け

る農園數は一千九百年に於て五万六千九百九十二個なりしものが一千九百年には十二万三千二百二個を數へ過去十ヶ年間に約二倍の數に達せり、而して其耕地總英加數も一千九百年に於ては八百四十九万九千二百九十七英加なりしに、一千九百十年には一千一百七十一万二千二百三十五英加に達し、農園總價額も一千九百十年には一億四千四百五十四万七千七百九十一十ヶ年間に約三十四割三分の大増額をなせり、之れを一英加に就て見るに一千九百年には一英加の平均價格僅かに十一弗六十八仙なりしが、一千九百十年には四十四弗十八仙に騰貴せる堪定なり  
更に農産物の總額を見るに、一千九百年には一千七百七十四万七千六百四十八弗なりしが、一千九百十年には七千八百九十二万七千五百三十三弗に昇騰せり、而して州内農産物の主なるは小麦、ヘイ、オート麥、大麥、馬鈴薯、ハツプス、玉蜀黍等なり、此等主要農作物の一千九百十年に於ける收穫額を示せば左の如し

種別 價格 種別 價格

小麦	三五、二〇〇、〇〇〇	馬鈴薯	二、九九四、〇〇〇
ヘイ	一七、一四八、〇〇〇	ハツプス	六六五、〇〇〇
大麥	三、三三二、〇〇〇	玉蜀黍	四〇四、〇〇〇
野麥類	二、九八九、〇〇〇	オート麥	五、八七一、〇〇〇

ワシントン州在住日本人

華 類 九四一、〇〇〇 花卉類 一、〇四五、〇〇〇  
果實類 四、二七四、〇〇〇  
而して更に華盛頓州に於ける灌漑状態如何を見るに一千九百十年に於て、之れが恩恵に浴せる農園總數は五万六千九百九十二個、其總英加數三十三万四千三百七十八に達せり

### 華盛頓州在住日本人

一 華州在住日本人の沿革  
華盛頓州に日本人の始めて移住したるは、明治十六年頃なるが如し、現今ワシントン州住留同胞の元老として先づ指を屈せらるゝ荒井達彌氏が明治十九年に桑港よりシアトルに移りたる時、日本人の在住せし者は水夫上りのもの八九名に過ぎざりしと云へば以て當時を推察するを得べし、而して現今人口三十万を有するシアトルも當時は僅かに五六千の人口を有するに過ぎざりしなり、是より先きシアトル、タコマの二市は共に甚だ激烈に支那人排斥運動を行ひ、現にタコマ市民の如きは一千八百八十四年八月十六日、大暴して支那人を襲ひ、特に一隻の汽船を仕立て數百の支那人を強制的に之に乗らしめて太平洋に追放し、爲に米國政府は後年八十五万弗の損害を賠償したるが如き珍事ありた



三 華州在住日本人の農業

華盛頓州に於て日本人が農業に着手したるは、極めて最近のことにして未だ甚だ盛大なりと云ふを得ざれども、シアトル市附近、ベルビュー、サウスパーク、グエーション、レントン、オブライン、ケント、オルリア、タマス、フアーフ等、主としてシアトル、タコマ两市間に於ける白河流域の畔、四五十哩の平原に集れるもの多く、之に次げるはコロンピヤ河の支流に沿へるヤキマ地方にして、スポケーン及オリムピア二市附近並にシアトル市對岸の諸島にも亦散在せり、此等各地の農園はシアトル、タコマの二大市場を控へ、海、馬鈴薯及野菜の栽培大に見るべきものあるのみならず灌漑事業の進捗に連れて果物栽培業の著しく發達すべきは言を俟たざる所なりと雖も、ワシントン州に於ける日本人の農業經營上に横はれる一大障礙は外國人の土地所有禁止にあり、ワシントン州が外國人の土地所有を禁止したるは、英領コロンピヤ州と境を接するを以て、加奈太人の土地買収を妨止するの目的に出でたるものなれども、之れが爲に日本人も當然制限を蒙るを以て、農業に従事する日本人は借地耕作をなすの外なく其方法の如きも小農組織なり、從て日本人農業の發展運々たるを免れず、されど其耕作地面積は一千九

ワシントン州在住日本人

百七七年に於て約三千七百英加なりしものが翌一千九百八年には五千五百英加となり、現今に於ては一万六千五百英加に達せり、而して耕作物の主要なるものは馬鈴薯にして、野菜之れに次げり、果物は林檎を第一とし、主としてヤキマ平野に産す、又牧畜業中最も多きは酪農即ち牧牛にして、尙他に養鶏養豚の業に従事せるものも少からず、而して日本人の經營に係る農牧一ケ年の收得總價格は百萬余弗に上れり

大正元年十月本社が調査したる處によれば、華盛頓州在住日本人農業者の總數は七百余人にして、其農園總數五百九十一個耕地總英加數は一萬六千、百五十六英加なり、而して中所有農園英加總數は、百餘英加に過ぎず、他は悉く借地たり、今日日本人農業者の耕作英加及農園數を主なる地方別に表示すれば左の如し

地方別	農園數	所有	借地	計
オブライン	三〇	三〇	七三三	七六三
オリシア	二一	二一	一、〇九五	一、〇七六
オリバン	四三	四三	一、〇〇九	一、〇五二
トーマス	三三	三三	九三三	九六六
クリストファー	一六	一六	八三三	八四九
オーテン	一一	一一	九七〇	九八一
サムナー	一一	一一	三三四	三四五
フアーフ	六三	六三	一、二七八	一、三四一
計	五一	五一	一、二七八	一、三二九

り、從つて日本人に對しても亦人氣宜しからず、只だ支那人の如くに在住者の多からざりしを以て、支那人に對するが如くに反對運動の甚だしからざりしのみ、而して當時已に故知事マグロー氏、前判事パーク氏等の諸識者深く東洋貿易に注目し、シアトル將來の盛衰は一に東洋貿易の消長にありとなし、連夜街上に立ち東洋人に對して迫害を加ふるの非を説きたり、斯くして明治二十年頃に至り桑港方面より移住し來りたるもの二百名の上に出で、洋食店及旅館業を開始する者あるに至れり、之れより年々日本人の人口を増し、明治三十二年前後にはワシントン各地に散在せる同胞數四千人内外に達し、其後は著しく其數を増加し三十九年には約一万五千人を數ふるに及び、爾來著しき増減なく以て今日に至れり

二 華州在住日本人人口

大正元年十月本社が調査したる處によれば、華州在住日本人人口は一万五千八百七十五人にして、中男一万二千百十九人、女一千九百八十三人、兒童一千七百七十三人なり、而して總人口の約四割はシアトル市を中心として在住し、他はタコマ、ノースヤキマ、スポケーン諸市を始めとして州内各地に散在せり、今之れを郡別に表示すれば左の如し

▲華盛頓州：住日本人の出生及死亡 在シアトル帝國領事館の調査により、過去六ケ年間に於ける華盛頓州(モンタナ州、アラスカ一圓及アイダホ州五郡を含む)在住日本人の出生及び死亡者數を表示すれば左の如し

年次	出生		死亡	
	男	女	男	女
一九〇七年	七三	七三	一四〇	一三
一九〇八年	一一〇	一〇〇	一〇六	一六
一九〇九年	一二七	一四八	八三	二一
一九一〇年	一三〇	一二六	七九	一三
一九一一年	一五六	一七四	五九	二一
一九一二年八月まで	一六二	一三一	五五	一九
計	二二一九	二二一九	一、四〇三	一、一七七











全 廣 島	香 川	福 島	滋 賀	山 口	和 歌 山	全 國	滋 賀	全 國	全 國	全 國	全 國	廣 島	滋 賀	同 井	同 井	熊 本
▲サムナー地方 猪尾作次郎 會井松吉	新井久米吉	塚田清	寺島房次郎	明石兵士	順田竹松	中島豊松	前田竹次郎	永井多郎	久保田達太郎	吉見謙市	新田喜市	森尾淳	鳴戸辰吉	武田定八	塚本竹次	齋藤小一
全 借地	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	借地	同	同	同	同
八〇 七五	一五〇〇	七五	一〇〇	五〇	七〇	一五	一〇〇	七五	十〇	五〇	九〇	七〇五	二〇〇	二五	七五	六〇
全 乳牛	ハツナス 乳牛四〇	全ニ、 乳牛三〇	乳牛一八、 雞三〇	乳牛	乳牛一八、 雞三〇	乳牛	雞三〇、 豚一〇	全五〇、 雞五〇	全	全	全	ハツナス 乳牛	同	同	同	同
五〇 四〇	二〇	三〇	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一〇〇	二五	二五	二五

ワシントン州在住日本人



(オーレン、鳴門辰吉氏經營のハツナス畑)

完 同	同	同	山 口	同	愛 知	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	廣 島	熊 本	東 京	滋 賀	福 島	同 岡	同 岡	和 歌 山	東 京
野村雄吉	白片初治	村本三代吉	内藤友太郎	宗像真人	伊藤治兵衛	石川久五郎	入谷菊太郎	寺岡字之助	新迫峰助	山本兼吉	服部武平次	田中芳松	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡	同 岡
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一五	一三	一五	一五	一五	二〇	二〇	六〇	八〇	一〇	二五	一七〇	二八〇	六五	五〇	五〇	二二	五〇	一〇	五〇	五〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
坂上又治郎	内片惣太郎	杜師 柳道	同 善之助	有馬喜太郎	小田茂六	同 完一	同 政一	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎	同 三郎
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一五	四〇	六〇	九〇	一四〇	八〇	八五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同







同	熊	同	山	奈	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	廣							
本	本	口	口	口	岡	森	川	賀	賀	本	本	本	本	本	島							
原田柳太郎	古澤泰造	安田市太郎	外河田一智	外富田三吉	伊藤省次	田中久兵衛	藤井善雄	藤井昌平	井上定吉	池田儀之助	市橋太造	馬場野太郎	吉田松太郎	外上田二鶴	外松岡三正	小林正人	藤田繁市	西本三郎	秋元福三郎	風間友市	大下直吉	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一〇	一五	一〇	一六〇	一五	一五〇	一五	一五	四〇	五〇	八〇	三〇〇	二〇〇	二四〇	二八	二五	四〇	八〇	二〇	二〇	二〇	一五	
同	同	同	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン

アムント州在住日本人

六一

愛媛	廣島	宮崎	宮崎	同	同	熊本	同	和歌山	長野	新潟	同	愛媛	島取	茨城	福島	静岡	同	同	同	同	岩手		
媛	島	崎	城	城	同	本	同	山	野	海	同	媛	取	木	島	岡	岡	岡	岡	岡	手		
村上利平	山本喜一郎	日高平藏	水口大正	落合正雄	江井中七	吉岡十藏	前田勲一	外野二名	石山芳之助	木下万吉	平原元吉	藤島定吉	外森一文	同彦一	井上寛吉	健代三郎	横濱二郎	濱名廣海	鈴木周蔵	同善吉	同正太郎	同精彦	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二二	一一八	一七九	四〇	一〇八	八〇	八五	一五	四〇	二五	一〇	二〇	一五	八〇	二〇	八〇	八〇	一一	四〇	一〇	一〇	一〇	一三	
果樹	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン	メロン



ワバト、松下立太郎氏經營のワバト畑

兵庫	同	同	同	廣島	熊本	岡山	愛媛	奈良	福井	山口	滋賀	群馬	神奈川	岡山	滋賀							
庫	同	同	同	島	本	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山							
外松二名	中川倍次郎	橋本米吉	高橋一登	谷口與八	小林爲次郎	石川信吉	山崎豊吉	米村軍記	松村文太郎	松風音一	藤田源太郎	石田虎吉	小野龜市	鎌田倉之助	寺本二三	小笠原一才助	高橋宗太郎	石川君太郎	鈴木佐和之丞	上井和三郎	戸田喜代松	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一五〇	四〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト	ワバト

六〇















ロンドン州在住日本人

▲ベリンダム	桂料魚玉豆洗理洋運請寫醫旅菓雜會同新	▲スポケーン市	魚理
館	理 腐濯髮食服送頁眞 子 社支社	店	店
六	一五 一四 一六 六二 五一一	一四 一	一一

時族通商醫雜會社及食料品商	▲タクマ市	洗理寫	料料玉	▲ナシヨナル	クシロ	洗理風請	ダイウ	洋服	雜貨
計 辨 科 院 部 社 社	屋 店 屋	屋 店 屋	店 店 店	店 店 店	店 店 店	店 店 店	店 店 店	店 店 店	店 店 店
一五 二 二 二 九 二 三	一 一 一	一 一 一	一 三 三 一 四 三	一 一 一 三 三 二					

美術雜貨商店	▲シアトル市	サ	靴運魚寫料玉湯理及洗洋洋
店 庫 院 醫 社 社 社 行 廳	屋 業 店 屋 屋 店 店 店 店 店 店	屋 業 店 屋 屋 店 店 店 店 店 店	屋 店 店 店 店 店 店 店 店 店 店
一五 三 三 五 一 二 九 三 〇 三 一	一 一 三 一 一 五 八 三 五 四 七 六		

六九

古洗グ洋玉湯理豆菓グ魚下族日西サ印時保書寫賣精食貿	▲バスコ	▲タベツニシ	▲サンニサイド	▲フバト	運
物濯イ服突髮窩子サ等屋屋屋	店業場屋店店屋館店	屋屋店店店	屋屋	屋	業
六 一八 二二 三七 二四 一 五八 二四 三九 三七 七二 三三 三三 二四 一 六二 四四 五八 三					

▲オーバン	▲ケント	▲トーマス	▲ポートブラクレ	▲エズレット	▲フアイフ	▲オーテング	▲ウキンスロー	▲ノースヤキマ	▲バスコ	▲タベツニシ	▲サンニサイド	▲フバト	運			
業種別	米店	魚店	洋店	野店	雜店	洗店	大店	湯店	豆店	族店	グ店	靴店	理店	洋店	寫店	雜店
月計																
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

▲オーバン	▲ケント	▲トーマス	▲ポートブラクレ	▲エズレット	▲フアイフ	▲オーテング	▲ウキンスロー	▲ノースヤキマ	▲バスコ	▲タベツニシ	▲サンニサイド	▲フバト	運			
業種別	米店	魚店	洋店	野店	雜店	洗店	大店	湯店	豆店	族店	グ店	靴店	理店	洋店	寫店	雜店
月計																
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

▲オーバン	▲ケント	▲トーマス	▲ポートブラクレ	▲エズレット	▲フアイフ	▲オーテング	▲ウキンスロー	▲ノースヤキマ	▲バスコ	▲タベツニシ	▲サンニサイド	▲フバト	運			
業種別	米店	魚店	洋店	野店	雜店	洗店	大店	湯店	豆店	族店	グ店	靴店	理店	洋店	寫店	雜店
月計																
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

▲オーバン	▲ケント	▲トーマス	▲ポートブラクレ	▲エズレット	▲フアイフ	▲オーテング	▲ウキンスロー	▲ノースヤキマ	▲バスコ	▲タベツニシ	▲サンニサイド	▲フバト	運			
業種別	米店	魚店	洋店	野店	雜店	洗店	大店	湯店	豆店	族店	グ店	靴店	理店	洋店	寫店	雜店
月計																
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

六八



日 本 人 事 情 (71)

ユイ	ア	バ	エ	バ	旭	都	シ	ス	サ	カ	エ	シ	エ	シ	池	ホ	日	た	玉	し
ビ	レ	レ	レ	レ	マ	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
旅	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
館	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
業	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
春	吉	大	崎	長	石	茨	森	水	濱	大	中	六	三	佐	上	池	井	上	日	竹
田	永	沼	村	井	川	木	川	元	田	沼	山	川	津	々	野	山	山	山	中	井
千	仙	治	政	又	井	元	共	敬	富	沼	山	保	田	井	野	山	山	山	中	井
之	藏	久	一	藏	太	助	之	次	士	治	長	男	二	大	大	文	上	上	中	井
熊	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
本	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

ワシントン州在住日本人

モ	博	共	シ	オ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
洋	内	外	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	木	坂	河	中	大	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西
口	村	井	村	島	四	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
長	伊	吉	千	富	良	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳
野	作	郎	代	太	治	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
同	熊	神	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本

七一

北 米 年 鑑 (70)

ア	ラ	マ	リ	職	製	靴	及	修	繕	業
家	具	店	大	工	職	一	二	三	四	五
通	商	小	出	九	七	山	口	山	口	山
桂	業	米	澤	惣	七	山	口	山	口	山
請	業	米	澤	惣	七	山	口	山	口	山
運	業	米	澤	惣	七	山	口	山	口	山

六 華州在住日本人營業者地方別  
大正元年十一月本社の調査したる處により、華州在住日本人營業者の府縣、營業課目等を地方別にして表示すれば左の如し

▲オーレング	洗	濯	業	中	川	盈	平	山	口
▲ファイフ	同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲エブレット	同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲ポトブラクレ	同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲ブルマン	同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲ウキンスロー	同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲ノースヤキマ	同	同	同	同	同	同	同	同	同

七〇







アメリカン	ニユー・タコマ	リ・ン・コール	ア・ウ・アル	エム・ハイ・アイ	ク・ラ・ンド	ホ・イ・ラ・ド	サン・ライ・ス	岡田洋服店	兒玉洋服店	スター洋服店	熊倉洋服店	野村洋服店	野村洋服店	原婦人服調進所	ユ・ニ・オ・ン	イ・イ・ケ・ル	パシフ・井ツク	カリフォルニア	ノ・イ・ザ・ン	シヤフ・ア・ン	旭	ス・ニ・ア		
同	同	同	同	同	同	同	同	洋	同	同	同	同	同	同	洗	同	同	同	同	同	同	同		
岡木逸蔵	大沼定吉	川井徳平	大家經太郎	松本住之進	山口住之進	野村俊松	兵頭勘左衛門	岡田新次郎	兒玉吾市	松澤常作	熊倉幸悦	野村春吉	森下壽雄	原垣太郎	武田平吉	岡本清次郎	光井清次郎	高木順次郎	山中野八	山崎正人	濱根吉松	板橋三郎	杉山健二郎	
廣島	静岡	山梨	愛媛	同	同	同	同	廣島	同	高知	高知	高知	高知	高知	大分	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡

マシントン州在住日本人

七五

ミルウ・カキ	エ・イ・ビ	パ・イ・ク	ラ・ツ・キ	ク・ラ・ウ・ン	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
魚類販賣	坂田勤七	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山
千守吉	山手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手

大坂商船會社	タコマ勸業社	太平洋貿易會社	日米用達會社	東洋苗木會社	エスピー・沖買社	農園拓植會社	タコマ便利社	古屋商店支店	岡九商店	原兄弟商會	新山美術時計店	タコマ農物	タコマ農物	農産物商會
海運	土地賣買、白人	雜貨食料品	仲介者	苗木販賣	諸沖買業	請負業	諸周旋業	雜貨及食料品	同	同	美術及時計	藥物、香物	同	同
内田次茂	川井徳平	古川常吉	宇根和一郎	松尾益晴	岡田静雄	青木自祐之助	藤本吉三郎	森中繁太郎	岡丸米太郎	原恒太郎	種山種藏	有田兼吉	和歌山	和歌山
大阪	山梨	廣島	長崎	愛知	愛知	鹿兒島	鹿兒島	三重	廣島	佐賀	山口	和歌山	和歌山	和歌山

タコマ市

エム、エム魚店	日の出雜貨店	木村農産物商會	ホテト、チツア	山中商會	伊藤醫院	三科醫院	伊藤醫院	柴垣通事事務所	吉田事務所	ニニ、ソシ	太平洋	太北館	レニ、ソシ	常盤館	エニ、ソシ	旭	コンモンス	マンサ、ソシ	廣島	エニ、ソシ	フオー、ソシ	
魚類販賣	雜貨及食料品	果物及香物	雜貨及食料品	内外科	内科	内科	内科	通事事務所	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
坂田勤七	島越金五郎	木村種吉	吉見雪夫	山中善勝	伊藤新七	三科	伊藤新七	柴垣清太郎	吉田直巳	岡丸露三	川添渡太郎	森安善七郎	池尻勝三郎	森友造	飯田十馬	飯田十馬	松尾益晴	平木伊平	中島兵吾	河合宗助	近藤重太郎	
和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山

七四















